

# ゴールドマン・サックス 大学受験給付型奨学金

## 2024年度 報告書



NPO法人キッズドア基金

認定NPO法人キッズドア



2025年7月

## はじめに

ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、子どもの貧困問題を長く支援しているゴールドマン・サックス社の、「経済的理由で進学をあきらめないでほしい」という強い思いから、2022年度～2024年度の3年間の計画でスタートし、その後協議の上、2025年までの1年間延長を決定しました。

3年目となる2024年度は、前年度の余剰金を活用し、550名に受験応援金5万円、468名に入学準備金10万円を支給しました。進学前の経済的支援と受験伴走支援により、経済的に困難なご家庭からの進学を後押しすることができました。

また、受験生・保護者へのアンケート調査を通じ、低所得家庭からの進学の実態・課題を把握・分析しました。多くの感謝の声が寄せられた一方で、支援が得られず進学を断念したり、将来への前向きな気持ちを失ったままの子ども達の声も寄せられました。

さらに、2023年度受給生(2期生)への進学1年後の追跡調査を実施しました。大学生活が充実しているとする一方で、物価高騰で食事に影響がある、学費や留学費用等の工面が難しい、アルバイトと学業の両立が難しい、など経済的な不安が強いこともわかりました。

今後とも、当奨学金を通じて、社会全体での支援の必要性を訴えていきたいと思えます。

NPO法人キッズドア基金・認定NPO法人キッズドア GS奨学金チーム一同

### 【目次】

P3～4	応募・支給の概要、受給家庭の状況
P5～7	審査・伴走支援の概要
P8～9	受給生・保護者からの声(抜粋)
P10	会計報告
P11～15	進学実績
添付資料(1)	2024年度受給生アンケート分析・報告 保護者編
添付資料(2)	2024年度受給生アンケート分析・報告 子ども編
添付資料(3)	2023年度受給生追跡調査・報告

## 事業概要

○募集人数：500名

○対象：大学・短大の進学を目指す、高3生・浪人生(1浪まで)

○応募要件：

児童扶養手当受給世帯住民税非課税世帯、生活保護世帯、緊急小口資金貸付または住居確保給付金受給世帯、社会的養護、その他特別な事情がある世帯(実質ひとり親等)

○支援内容：受験応援金5万円、入学準備金10万円、受験伴走支援

○スケジュール

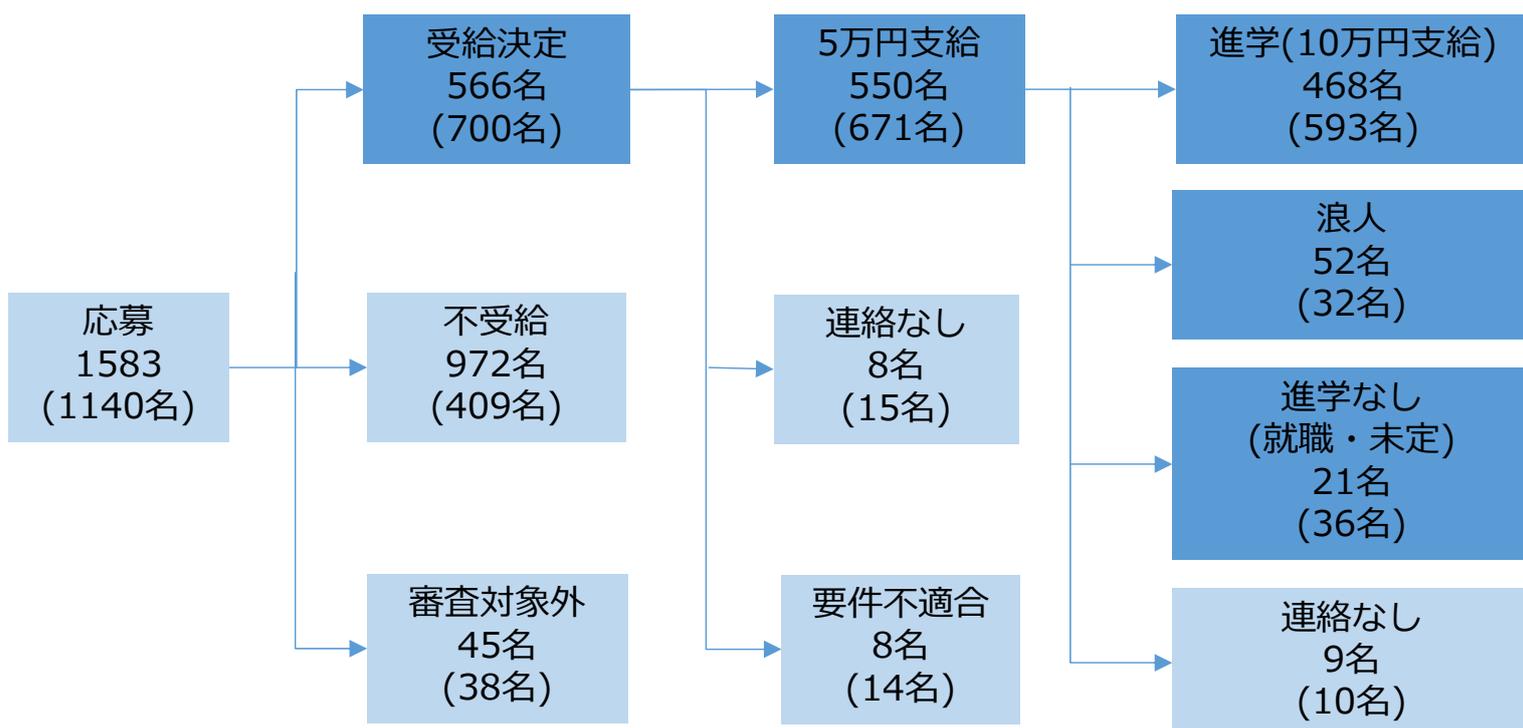
2024年4月3日～5月15日：募集

2024年7月：受験応援金5万円支給

2024年7月～2025年2月：受験伴走支援

2024年11月～2025年4月：入学準備金10万円支給(合格確認後)

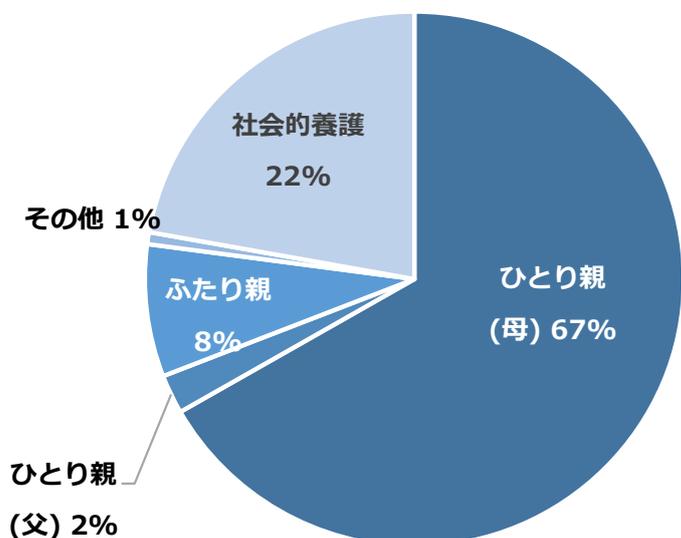
## 応募者数と受給者数



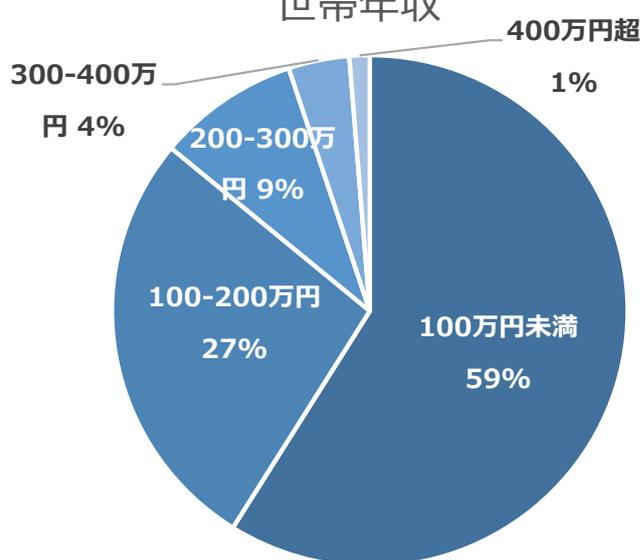
注：（）内の数字は2023年度

# 受給家庭(550名)の状況

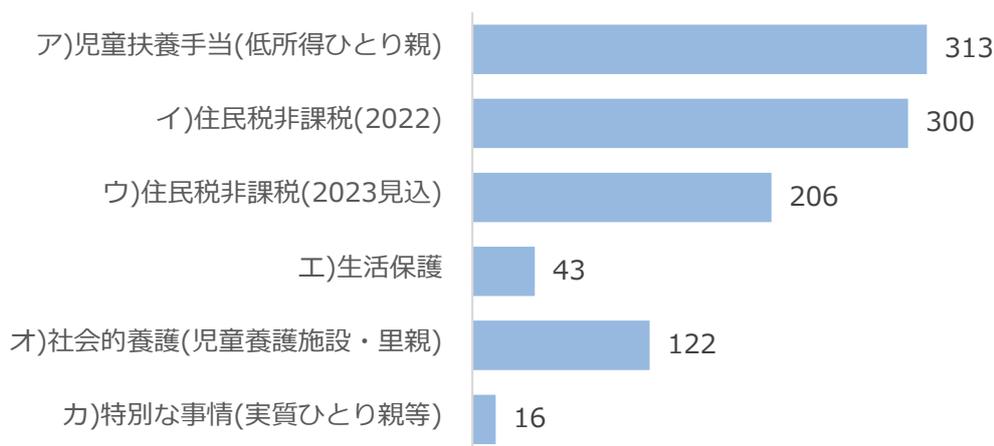
## 家族構成



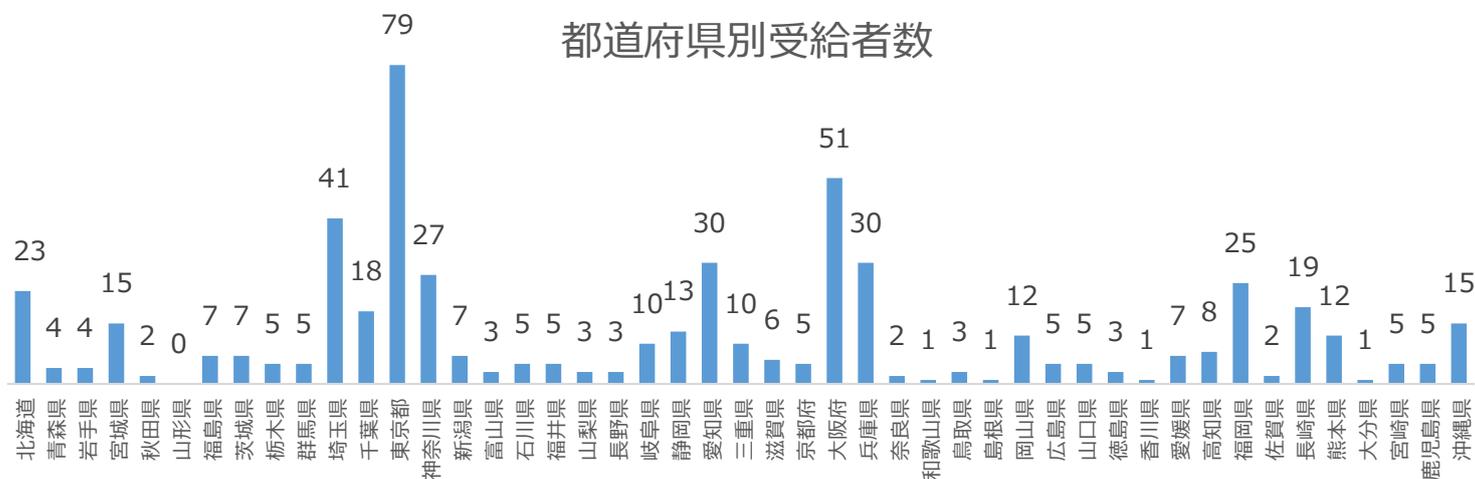
## 世帯年収



## 応募要件別受給者(複数回答可)



## 都道府県別受給者数



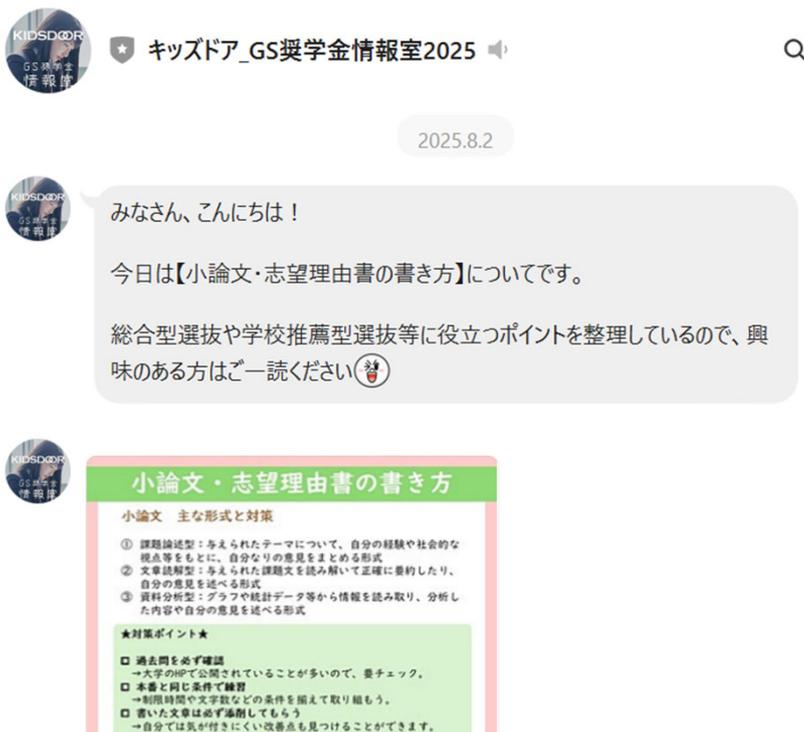
# 応募者審査・選考

- ① **定量審査**：世帯収入や家庭の状況による定量審査。
- ② **作文審査**：進学意志、奨学金の必要性について、GS社ボランティア(GSCTW)、キッズドア理事・担当者により審査。
- ③ **最終審査会にて審議、受給者を決定**  
 <審査委員> GS社会貢献担当、認定NPOキッズドア理事、NPOキッズドア基金理事

## 【GS社ボランティア(GSCTW) による作文審査】



# 伴走支援① LINE情報支援



### 共通テスト直前準備

**試験直前～当日の過ごし方**

- **よく寝ましょう。**
  - ・ 前日はしっかりと休むことが大切。
  - ・ 緊張して眠れなくとも気にしすぎずに。横になって目を閉じるだけでも休息になります。
- **一夜漬けはNG。慣れた参考書で復習を。**
  - ・ 新しい参考書に手を出すのは避け、試験会場に持ち込むなら普段使っている教材がおすすめです。
- **試験会場到着は1時間前を目安に。**
  - ・ 前日までに交通経路を確認。
  - ・ 特に英語リスニングは遅刻すると入室できないので、時間に余裕をもって行動を。

**【試験前日の持ち物チェック】**

- 受験票（マイページから各自で印刷）
- 身分証明書（学生証、マイナンバーカード等）
- 筆記用具（シャーペンだけでなく鉛筆も。消しゴムも忘れずに）
- 時計（必ず持参。会場によっては時計が見えないことも）
- 交通費（少し余裕を持った金額を準備）
- 軽食（試験の合間に食べられるものがあると安心）

**【試験中に気をつけること】**

- 氏名・科目のマークは正しくできているか。
- 自己採点用に問題用紙に回答を転記することも忘れずに。
- マークずれ防止には、大問ごとに先頭をランダムに確認するのも有効。

★自己採点後の出願検討には、河合塾「バンザイシステム」、東進「共通テスト判定システム」（要事前登録）がおすすめです。

これまでの努力を発揮することができるよう、心から応援しています！ 🐾

## 伴走支援② 応援パック

### ◆第一弾(7月)：進学ガイドと文具



### ◆GS社ボランティアによるパッキング GSCTW@キッズドアオフィス



### ◆第二弾(11月)：進学ガイドと文具



## 伴走支援③ イベント・他の奨学金案内

#### 【DAISO財団 給付型奨学金】

- 給付期間：2026年4月～、最長4年間
- 給付金額：月5万円（年額60万円）
- 対象者：2026年4月に日本国内の大学に入学する新1年生（2026年4月1日時点で20歳以下。4年制の学部・学科に限る）
- 募集人数：55名程度
- 募集期間：2025年8/15～10/15

#### ■ 募集要項詳細・申込方法：

申込は財団HPから。

📄 詳細については財団の募集要項を必ずご確認ください。

↓↓ 募集要項 ↓↓

<https://daiso-zaidan.or.jp/recruiting/>

募集要項 | DAISO財団 (ダイソー財団) | 返済義務のない大...

DAISO財団奨学金の募集要項を掲載しております。当財団ホームページ上で必要情報の入力、申請書類の登録を行ってください。...



## 伴走支援④ フェアウェルパーティー

受験を終えた受給生50名が参加し、進学のお祝いと新生活を励ますフェアウェル・パーティーを都内会場で開催しました。

GS奨学金1期生の大学生が司会進行し、お祝いのメッセージ、進学後の奨学金の探し方/申請についての説明、食事と懇談、最後は将来の夢をボードに貼って記念撮影をし、楽しい時間を過ごしました。



外部転載不可

新大学1年生のための  
奨学金情報

2024年度卒業生向け

キッズドア高校生情報室

Copyright(c)2024 NPO KidsDoor

外部転載不可

奨学金論文 書き方のポイント

2025年3月18日

Copyright(c)2024 NPO KidsDoor

## コメント抜粋・保護者

この奨学金は本当に神様からの贈り物だと言っても過言ではないくらいに助けられました。2度に分けてご支援頂いたことで、受験費用とそれに伴う宿泊費、交通費に充てることができて救われました。

受験準備の奨学金はあまりないので、母子家庭にとってはたいへん有難い奨学金です。受験には多くの費用が掛かりますし、私立大学の入学金は家計にとって大きな負担となりますが、貴社の奨学金をいただけたことで、負担を軽くすることができたのでとても助かりました。

大学進学か公務員受験か、と本人が悩んだとき、気持ちに余裕を持って、自分の進みたい道へ、と応援することができました。また、LINEや文房具の支援、届く度に元気をもらいました



ファミリーホームの里親としてこれまで実親からの経済的支援を得られない何名もの子供を進学させていますが、以前と比べて企業様や団体の奨学金が増え、とてもありがたいことと思っております。

「児童養護施設の児童はお金がないから大学進学できない」という時代もありましたが、多くの支援によりたくさんの児童にチャンスを与えて頂けることとても感謝しております。

社会的養護下の子ども達は受験費用のほとんどを自分で用意しなければならないので募集人数が多い奨学金は大変ありがたいです。また募集時期が早いので進路を考える良いきっかけになりました。

入学するまでの資金が莫大で驚きました。入学前に受け取れる奨学金があると本当に助かりますが、なかなか無く、今でも必死です。経済的に厳しい世帯でも、子どもが安心して学べる手だてがある社会になってほしいと切に願います

共通テストの日にいただいた文房具を使い、休憩時間にキットカットを食べました。合格祈願カイロも忘れず持っていきました。元気に受験会場に向ってくれた姿をみたら本当にありがたい支援だったと気持ち的な支援にも感謝しました。

勉強ですぐ使える文房具や合格グッズはとても喜んでいました。なかなか誰かから目に見える形でこのような温かい応援をもらう機会がなく、合格カイロは受験まで机の上に、本番はお守りと共にポケットに入れていました。

いずれ、娘が頑張りゴールドマン・サックスの方々のようなサポートができる側になれるように今後も自身のリハビリに励み、できる限り応援していきたいと考えています。

大学に行きたいなら自分でできる範囲は何とかしろと言ったため、本人は大学受験にかかる費用を私に請求することの心理的ハードルが高いうでしたが、娘の口座にキッズドア基金の方からお金を振り込んでいただいたおかげで、受験前のピリピリした時期にお金に関するやりとりをせず済み、娘が受験勉強に没頭できたようなので本当に有難く思っています。

## コメント抜粋・受験生

高校3年の早い時期から支援をしてもらって、安心感を得ながら勉強できて嬉しかったです。夏に支援金をもらって、早くから模試を受けられたのでモチベーションも保てて良かった。

文房具やカイロといった物だけでなく、受験における心構えや学習のアドバイスなどの情報など様々なご支援をいただけたことで、1年を通して受験勉強に集中することができました。

奨学金をいただけたことにより、悩んでいた大学のオープンキャンパスに東京まで行かことができ、自分のしたいことがある大学、自分に合った大学を選ぶことができました。

今はこれだけの応援を受けて大学に進むことができたので今度は次の世代や社会に還元できるようにしなければならぬという思いです。

自分は施設で育って大学に進学するため、お金が足りないことがすごく不安でした。それでも御企業からの支援で出来ることの幅が広がり助かりました。

共通テストの対策と並行して面接練習や書類作成をする日々は、思っていたより辛かったです。1日だけ、忙しさとそれについていけない自分の情けなさに泣きながら下校した日がありました。その日にちょうど応援パックが届いていて、自分を応援してくれる存在がたくさんいるのだという事に気づき、持ち直すことができました。

奨学金をいただけたおかげで、追加で講習を受けることができ、合格につながったと思っています。支えてくださった恩返しができるよう一生懸命学業に励みます！

奨学金がなければ勇気を持って私立大受験に臨めなかったと思います。

僕も大学を卒業し、社会人になったら、ゴールドマンの様に困っている学生を支援できる様な大人になりたいです。

受験したどちらの大学でも、入学後にはノートパソコンを購入しなければいけなかったもので、合格後にいただける奨学金はとても心強かったです。



## 保護者・受験生より要望

出来れば給付金額を増やしてくれたら嬉しいですが、それだったらより多くの人にいくようにした方が良いでしょうね。

【誰かが応援してくれている】というのは大変心強いものです。今後もこのようなご支援の輪が途切れない事を切に願います。

祝賀会の参加はZoomとかニコ動みたいにライブ配信されてる会場を見ながら、コメント入れていくとかどうでしょうか。遠い人も参加しやすいと思います。

入学してからも多額のお金がかかるのでこの先も大変です。対象を大学生まで拡大した支援があればと切に願います。

私大の入学金を国立合格発表まで待ってもらえる施策に対して働きかけができるようならぜひぜひお願いしたいです。

交流会の必要性に疑問を抱きました。時期が時期なだけあって、全落ちしてる人にとってはその人の後期へのモチベを削ぎかねないと思います。



**アンケート調査分析・報告**

**保護者編**

**子ども編**

**追跡調査**

# 認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート 保護者編

2025 年 5 月 14 日 認定 NPO 法人キッズドア

2024 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生の保護者を対象に、2025 年 4 月以降の子どもの進路、受験期間の経験や保護者自身の気持ち、奨学金や伴走支援についての感想等についてアンケート調査を実施した。調査の結果について、以下のとおり報告する。

なおゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、22 年度に第 1 期生の支給を開始し、24 年度が 3 期目となる。以下の 2 点においてユニークかつ貴重な奨学金制度である。

- 受験期間と進学前の 2 回に分けて支援金を拠出し、大学進学に向けた学習と受験を支援（受験応援金：5 万円、入学準備金：10 万円）
- 文房具等の応援パックや、学習支援・受験支援につながる情報及びメッセージを定期的にお届け

## 1. 調査概要

- 目的：困窮家庭の高校生の進路や進学における課題、奨学金や伴走支援の効果等を把握し、奨学金事業をはじめとする支援策の改善・充実につなげること。
- 対象：2024 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生の保護者
- 調査期間：2025 年 3 月 14 日～4 月 9 日
- 回答数：496 件（回収率 90%）

## 2. 調査結果まとめ

本奨学金を受給する家庭の多くが、非常に厳しい経済状況に置かれている。回答者のうち、約 8 割が世帯年収 200 万円未満、約 9 割が 300 万円未満であり、受験や進学にかかる費用の負担は大きい。実際に回答の中には、「大学に進学したい本人の気持ちは前から知っていたので、日々節約し少しでも進学費用を貯金してきましたが、予想外の出費や価格高騰、なかなか全てを準備できなかった」といった声も見られた。また、経済的な理由から「受験学校数を減らした」「予備校・塾に通わなかった」という家庭も多く、経済的困難が進路選択に与える影響は深刻である。

そうした中で、ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、保護者にとっても極めて重要な支援となっている。入学前から給付が開始されることで、受験料や教材費、入学金など多岐にわたる初期費用に充てることができ、子どもが進学を諦めずに受験することができたと感謝する声が多い。

本奨学金の存在は、資金援助にとどまらず、子どもの自己肯定感の向上や成長、家庭全体の希望につながっていることが伺える。今後もこのような支援が維持・拡充されることは、困難な状況にある家庭にとって意義深いと言える。

- アンケート回答者の家庭は、年収 200 万円未満が約 8 割を占める。
  - 世帯年収は「100 万円未満」が 44%、「100～200 万円」が 33%、「200～300 万円」が 16%。
- 受験や進学費用の負担は大きい。
  - 43%の家庭が、自費で有料の塾や予備校を利用している。年間費用は、「10-30 万円」が 25%と最も多く、「50-100 万円」が 23%、「30-50 万円」が 21%と続く。

- 進学準備にかかった費用は「10-30万円」が33%で最多。
- 入学金の調達方法は、「親が準備した自己資金（預貯金等）」が47%と最も多く、「子どもが準備した自己資金（アルバイト等）」が16%で2番目に多かった。
- 85%の保護者が、家庭の経済状況が子どもの進学に影響を与えたと認識している。
  - 家庭の経済状況により、「受験学校数を減らした」という回答が39%、「塾・予備校に通わなかった、減らした」が34%。
  - 受験した学校数は、「1校（推薦含む）」が52%と最多であった。
- ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、想定通り受験料や学習教材、入学金等に活用されている。
  - 受験応援金（5万円）は、53%が「受験料」、29%が「参考書、テキスト」に使用されている。
  - 入学準備金（10万円）は、52%が「進学先の入学金・学費」に使用。
- 93%の保護者が、子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答。
  - 「子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか」という問いに対し、69%が「とてもそう思う」、24%が「まあそう思う」と回答。
  - 「子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことが減った」という保護者が66%、「自身や家庭によい影響があった」という保護者は91%にのぼった。
- 支援企業のゴールドマン・サックスへは、本奨学金のおかげで受験や進学ができたことへの感謝の気持ちが多く寄せられている。
  - 「娘の未来の道を広げ可能性の選択肢を増やして下さった事は一生忘れないと思います」、「一人じゃないんだと思うととても心強かったです。精神的にも金銭的にも安心することができました」といったメッセージが見られる。
  - 今後も子ども達のために支援を続けてほしいという声も複数見られた。

### 3. アンケート結果概要

#### 3.1 家庭の状況

2024年の世帯年収は、「100万円未満」（44%）、「100～200万円」（33%）が多く、年収200万円未満が約8割を占める。さらに、「200～300万円」（16%）も合わせると、年収300万円未満が約9割となっている。自身と子どもを含む同居人数は、「3人」（27%）が最も多く、「社会的養護」は18%であった。

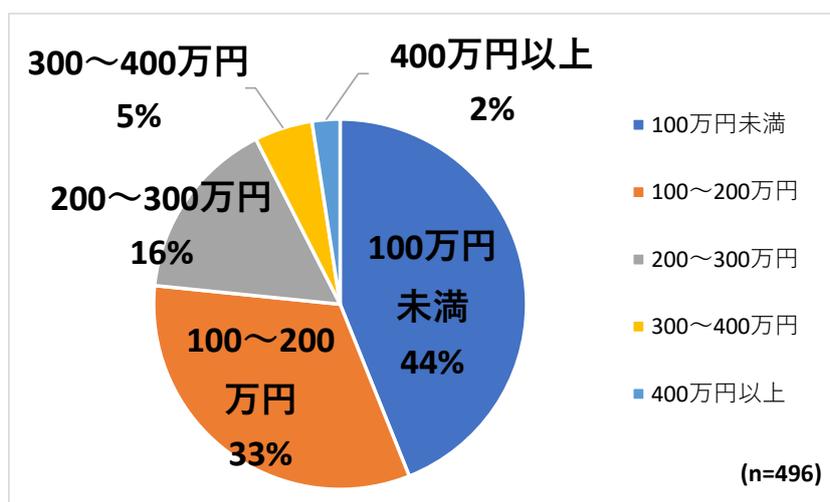


図 1 2024年の世帯年収

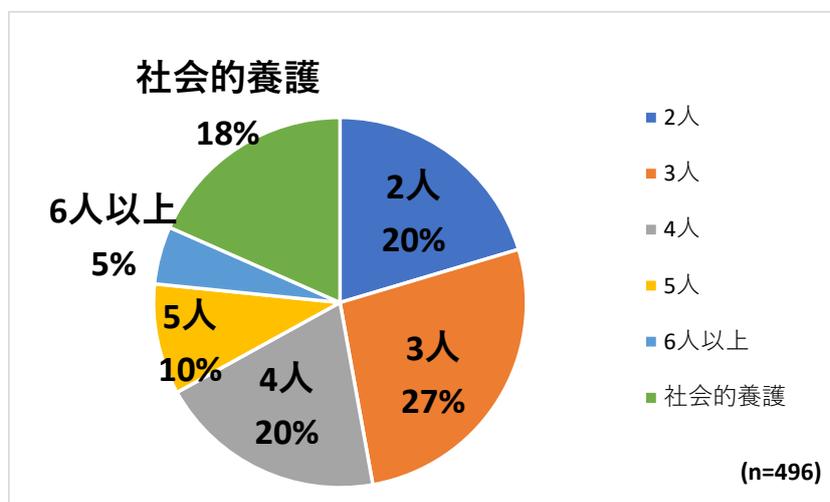


図 2 自身と子どもを含む同居人数

#### 3.2 受験と2025年4月以降の進路

「子どもが受験をしたか」との質問には95%が「はい」と回答している。「いいえ」（5%）を選択した回答者の子どもが受験をしなかった理由としては、受験費用や進学後に必要な費用を準備できなかったこと、進学より就職が合っていると判断したことなどが挙げられている。

2025年4月以降の子どもの進路としては、「大学」（78%）が約8割を占め、「短大・3年制大」（4%）・「専門学校」（6%）と合わせると約9割が進学という結果となった。決定した進学先の受験方法では、「一

般選抜」が41%と最も多く、「学校推薦型」(24%)、「総合型選抜(AO入試)」(22%)が続いている。受験した学校数は「1校(推薦含む)」(52%)が約半数と最多である。

経済的理由による子どもの進学への影響としては、「受験学校数を減らした」(39%)、「塾・予備校に通わなかった、減らした」(34%)が上位に挙げられた。「進学のために子どもがアルバイトを始めたり、増やしたりした」(23%)との回答も約2割あった。「影響はない」との回答は15%であった。

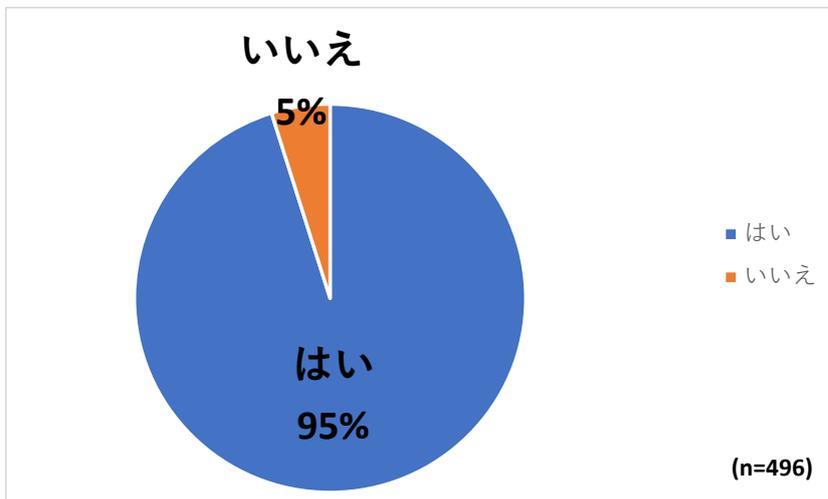


図3 子どもが受験をしたか

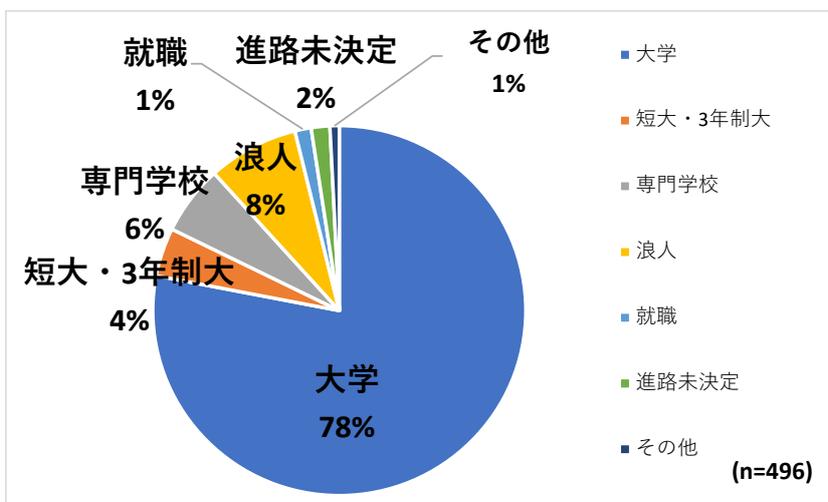


図4 2025年4月以降の子どもの進路

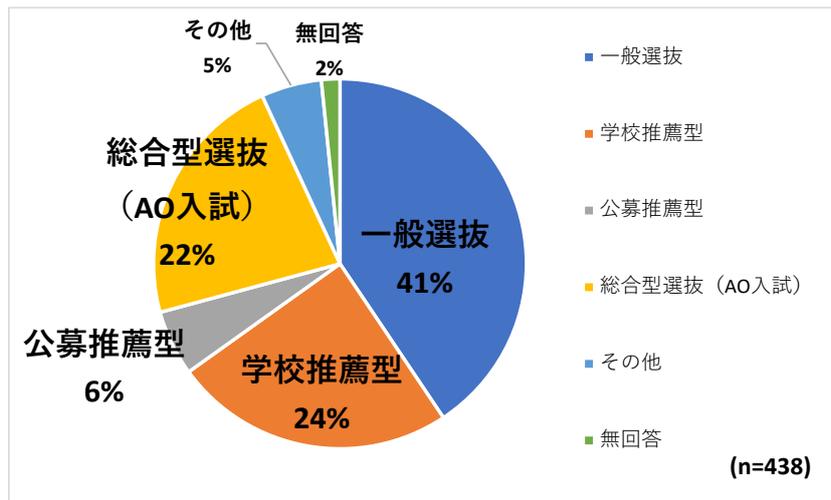


図 5 決定した進学先の受験方法<sup>1</sup>

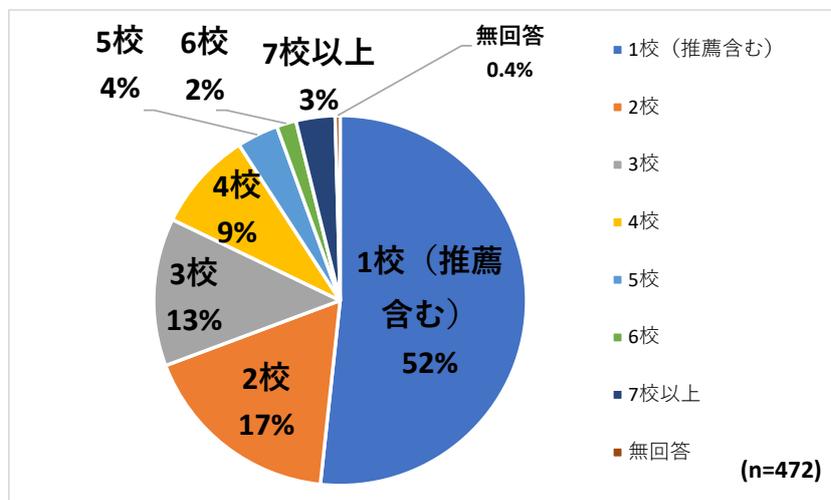


図 6 受験した学校数<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 2025 年度の子どもの進路として「大学」・「短大・3 年制大」・「専門学校」を選択した回答者が対象。

<sup>2</sup> 2024 年度に子どもが受験をした回答者が対象。

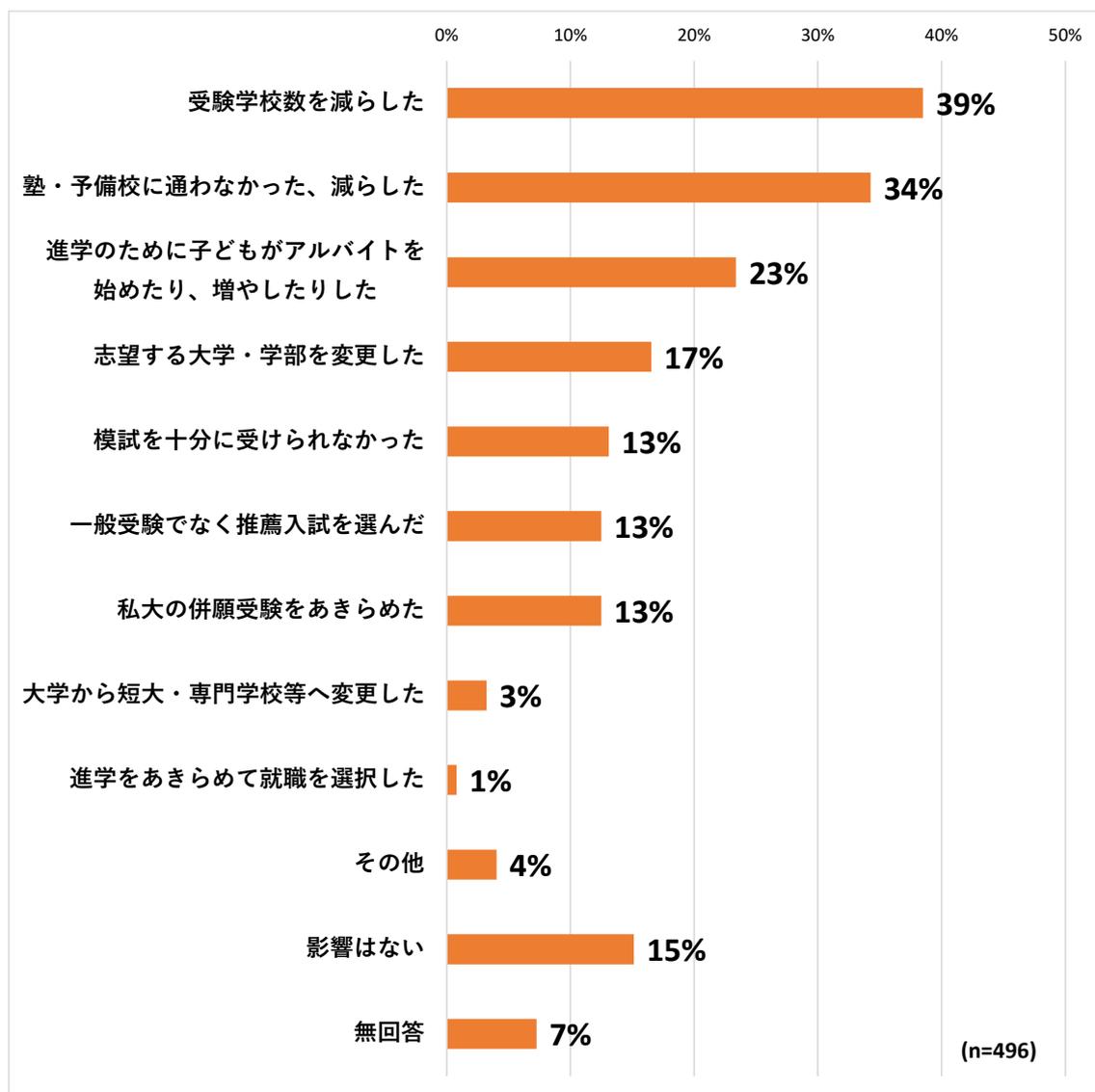


図 7 経済的理由による子どもの進学への影響（複数回答）

### 3.3 受験や進学にかかるお金

受験のために有料の塾や予備校を自費で利用した回答者は43%であり、その年間費用は、「10-30万円」が25%と最も多く、「50-100万円」（23%）、「30-50万円」（21%）が続いている。

進学準備にかかった費用は「10-30万円」（33%）が最多であった。入学金の調達方法として最も多く挙げられたのは「親が準備した自己資金（預貯金等）」（47%）であり、半数程度が選択した。次に多かったのは「子どもが準備した自己資金（アルバイト等）」（16%）となっている。「その他」の具体的な内容としては、奨学金や、入学金の免除が多く見られた。

進学後に利用予定の奨学金では、「日本学生支援機構の給付型奨学金（高等教育修学支援制度）」（87%）が特に多く、約9割の回答者が挙げている。2位以降は、「日本学生支援機構の貸与型奨学金第一種（無利子）」（23%）、「日本学生支援機構の貸与型奨学金第一種（有利子）」（18%）、「民間の給付型奨学金」（16%）などが続く。「奨学金は利用しない」との回答は、わずか1%に止まる。

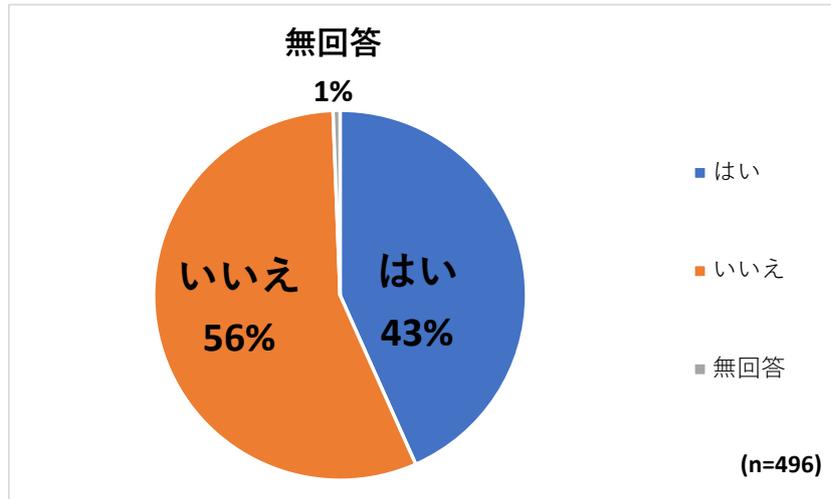


図 8 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用したか

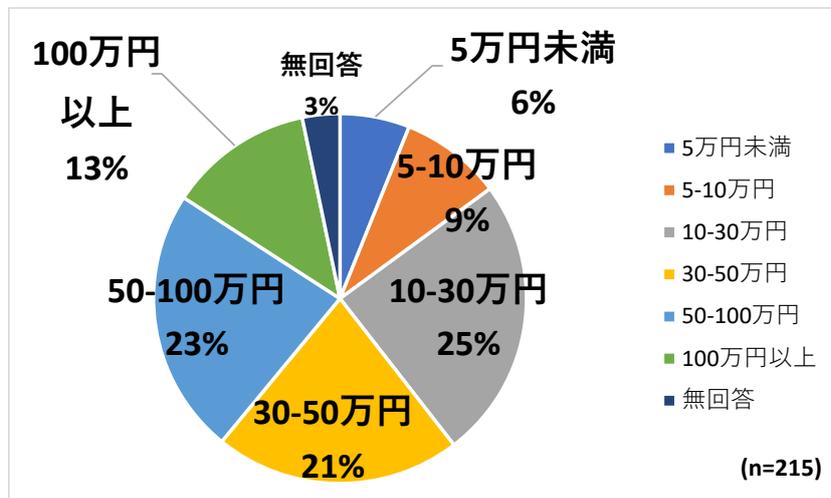


図 9 塾や予備校の年間費用<sup>3</sup>

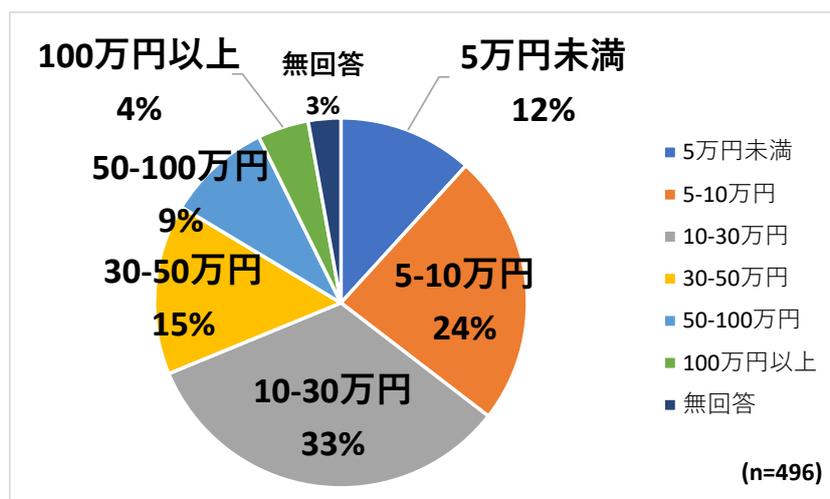


図 10 進学準備にかかった費用

<sup>3</sup> 受験のために有料の塾や予備校を自費で利用した回答者が対象。

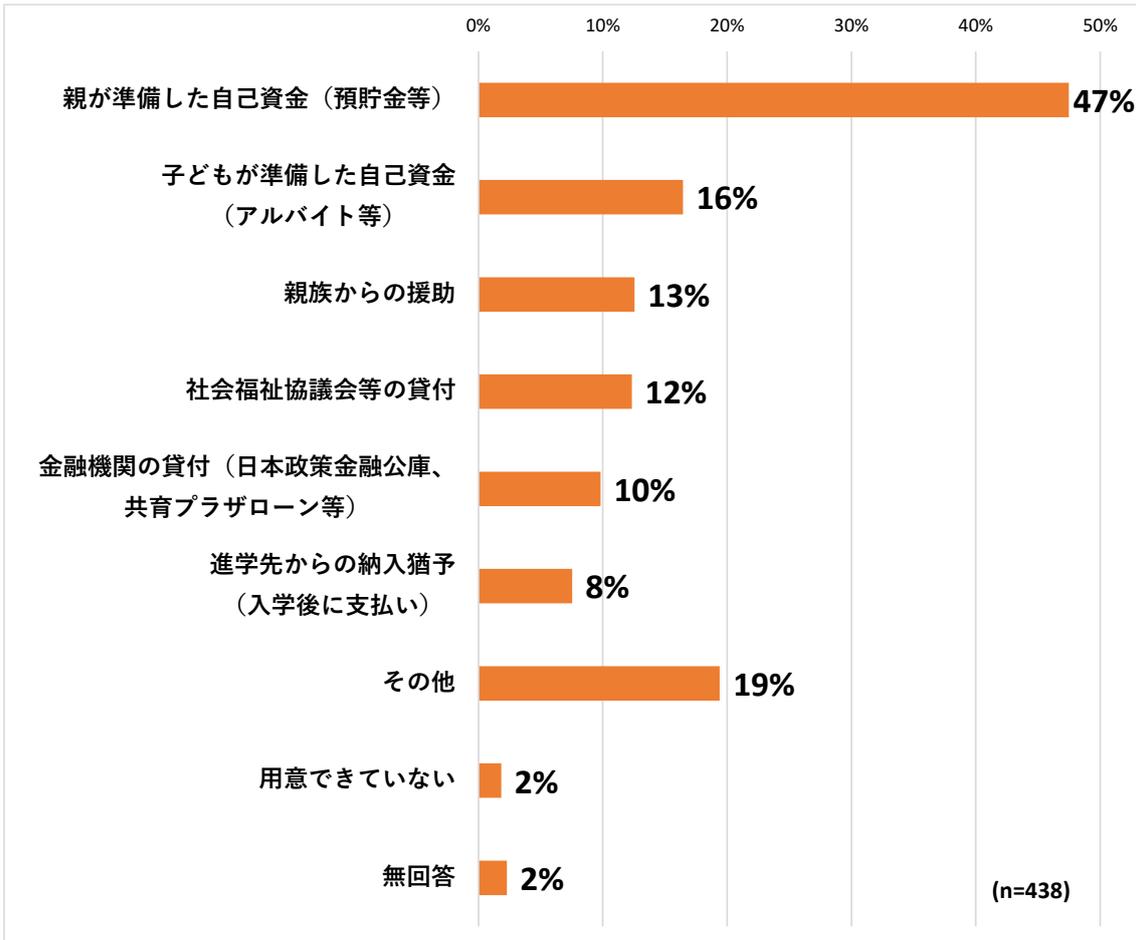


図 11 入学金の調達方法（複数回答）<sup>4</sup>

<sup>4</sup> 2025 年度の子どもの進路として「大学」・「短大・3 年制大」・「専門学校」を選択した回答者が対象。

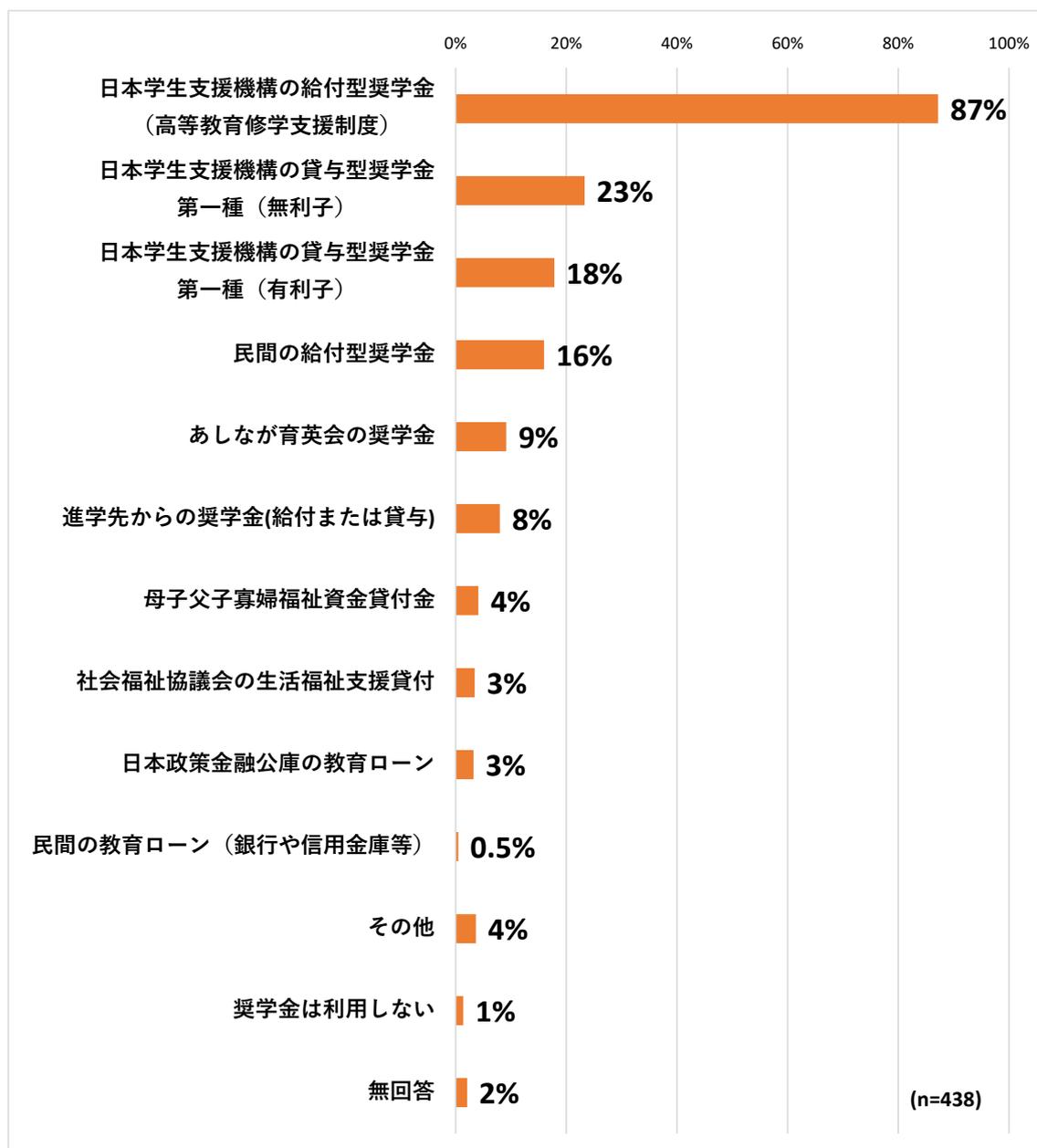


図 12 進学後に利用予定の奨学金 (複数回答)<sup>5</sup>

### 3.4 GS 奨学金の使い道

受給決定後すぐに給付される受験応援金 (5 万円) の使い道は、「受験料」(53%) が最も多く、「参考書、テキスト」(29%) が続いている。

入学準備金 (10 万円) の使い道では、約半数が「進学先の入学金・学費」(52%) を挙げた。「その他」(6%) の中には、大学等で使用するパソコン、入学式用のスーツといった回答が多くあった。

GS 奨学金の他に受給した進学支援関連の給付金・奨学金としては、「高校生等奨学給付金」(33%) との回答が約 3 割、「その他民間の進学支援給付金・奨学金」(22%) が約 2 割であった。

<sup>5</sup> 2025 年度の子どもの進路として「大学」・「短大・3 年制大」・「専門学校」を選択した回答者が対象。

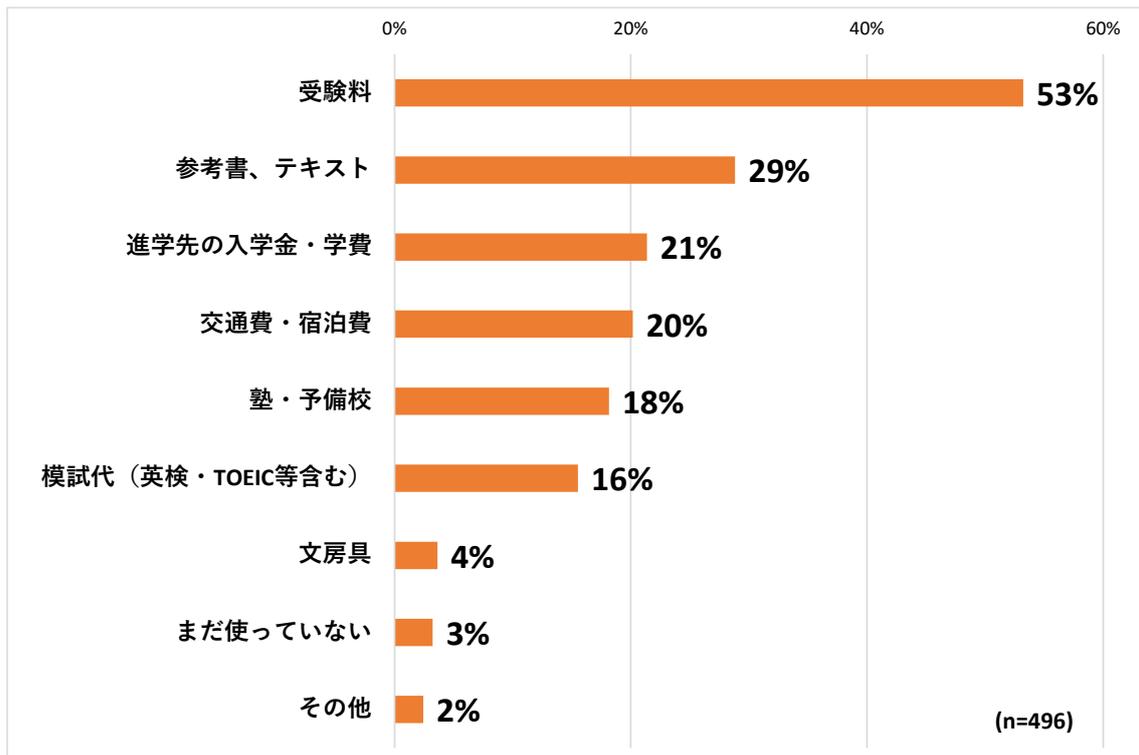


図 13 受験応援金（5万円）の使い道（複数回答）

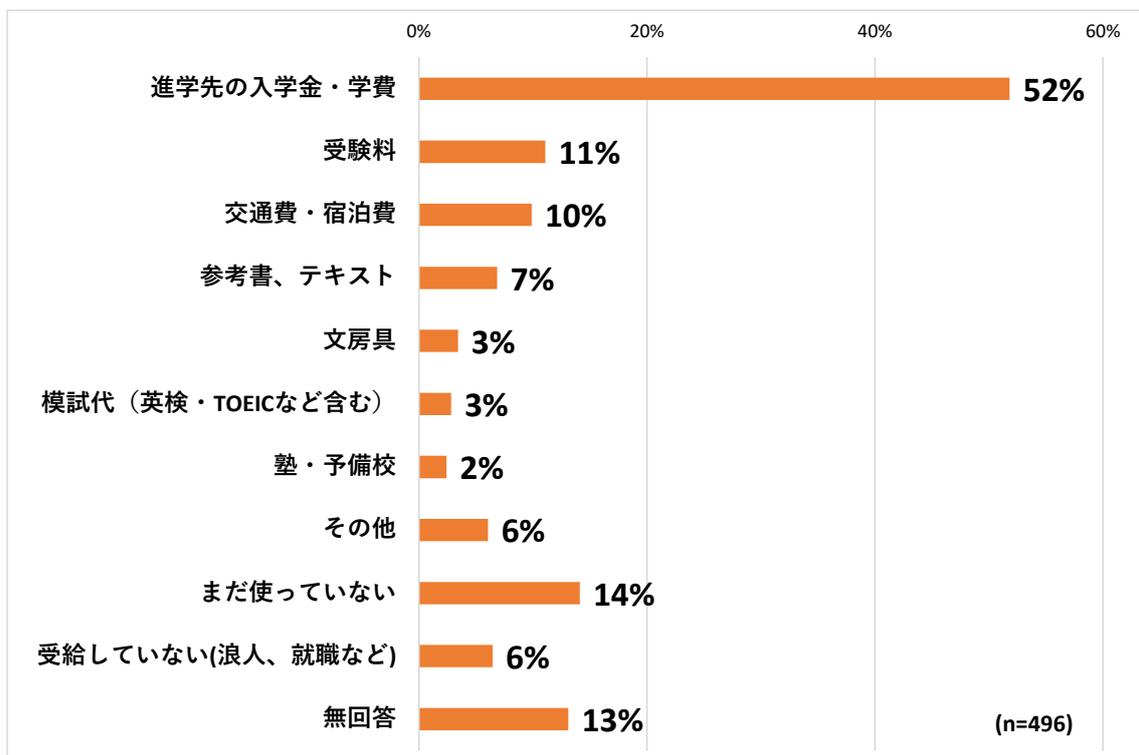


図 14 入学準備金（10万円）の使い道（複数回答）

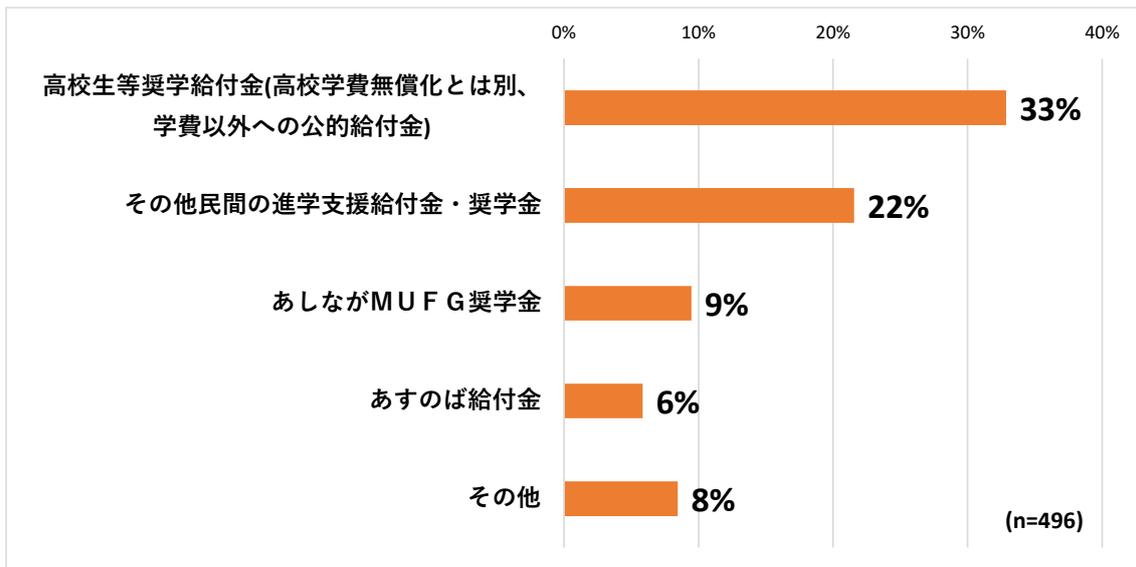


図 15 他に受給した進学支援関連の給付金・奨学金（複数回答）

### 3.5 進学に関して必要な支援

進学に関して必要な支援では、「受験料に対する免除、補助」(69%)が最も多く、「奨学金支給時期の早期化」(51%)、「高校生への児童手当の支給」(48%)、「塾・予備校費用に対する補助」(43%)、「進学未定の私大入学金の納入猶予」・「共通テストの無償化」(いずれも41%)が続いている。

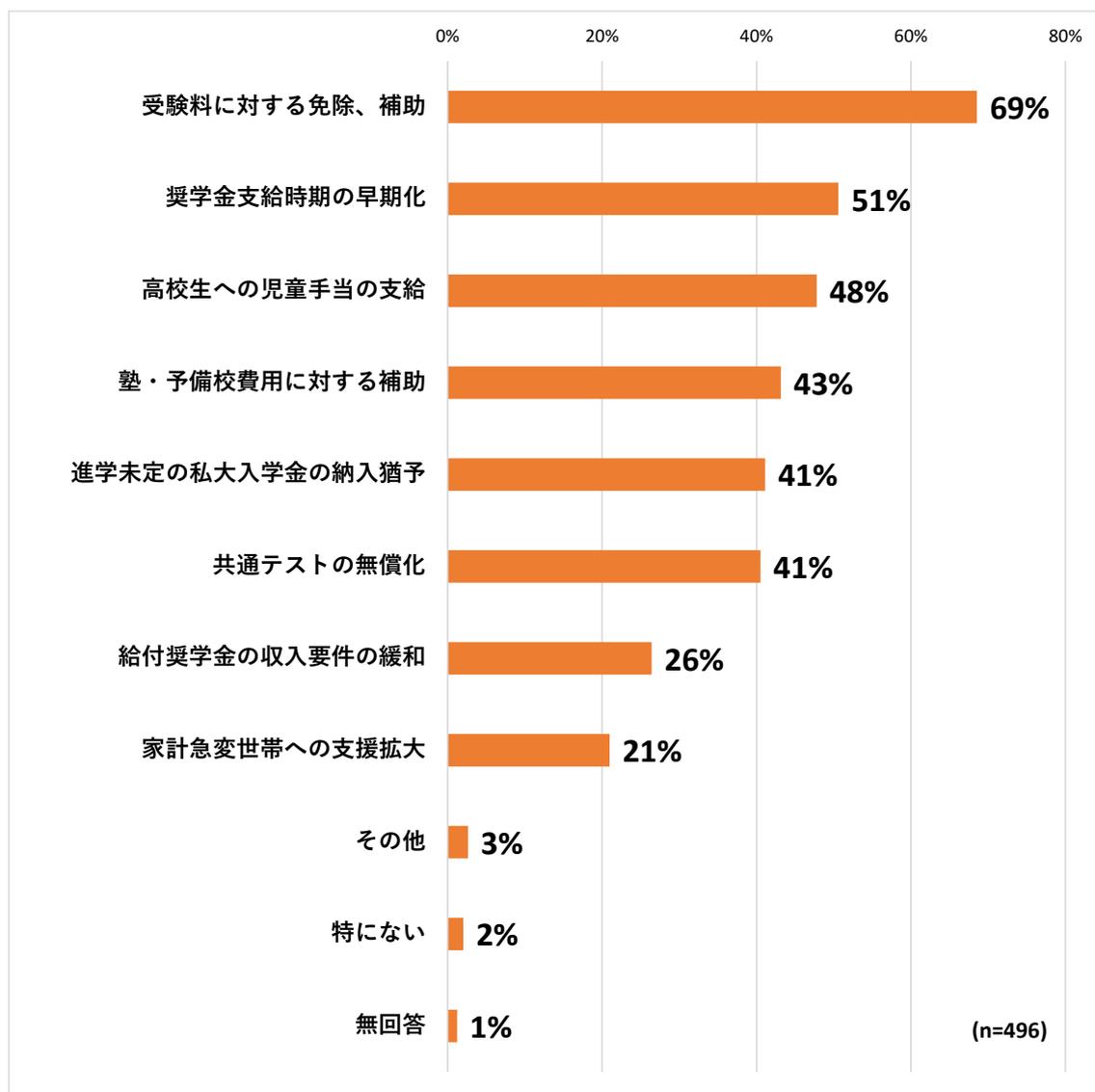


図 16 進学に関して必要な支援（複数回答）

### 3.6 奨学金受給や子どもの受験が保護者自身や家庭に与えた影響

「子どもが奨学金をもらったことで、困ったときに人に相談しようと思うようになったか」という質問に対しては、「いつもそう思う」が 32%、「ときどきそう思う」が 54%であり、約 9 割の回答者が困ったときに人に相談しようと思うようになったという結果が得られた。

「子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか」については、「とてもそう思う」（69%）が約 7 割であり、「まあそう思う」（24%）と合わせると、全体の 93%が子どもの受験によって前向きな気持ちになったと回答している。「子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことは減ったか」では、「とてもそう思う」が 29%、「まあそう思う」が 37%となっている。

「子どもが受験をしたことで、自身や家庭にいい影響があったか」との質問には、約半数が「とてもそう思う」（53%）と回答した。「まあそう思う」（38%）も合わせると全体の約 9 割であり、多くの保護者が子どもの受験によって何らかの良い影響があったと感じていることが明らかとなった。

受験をして子どもが変わったと思うことでは、子どもの様々な成長を伝える回答が寄せられた。努力すれば希望が叶うという大きな成功体験ができたこと、不合格だったが「もう一度頑張らせてほしい」と強

い意志を見せたこと、ヤングケアラーで進学を考えられない状況からの頑張りなど、受験を通した大きな成長が報告されている。「自分で決めたことに対し、自分で考えて行動できるようになった」、「これからの自分に対してしっかりとしたビジョンを持ち、先を見据えた考え方ができるようになった」など、自立に向けた子どもの主体的な行動を伝える保護者もいた。周囲への感謝の気持ちを持つようになったことも良い変化として挙げられており、『自分の力だけでなくみんなの支えがあったから無事に大学合格できた』と伝えてくれた」というエピソードも寄せられた。この他に、金銭感覚を持つようになった、相談してくれるようになったといった変化を伝える回答もあった。

子どもが受験して良かったと思った場面や内容としては、子どもが将来の夢の実現に近づけたことを挙げる回答が多かった。また、経済的に苦しい中でも受験に挑戦できたことを挙げる保護者も多い。「頑張れば夢は叶うことを経験できた、諦めさせなくてよかった」、「自身は母子家庭で育ち大学を諦めたが、子どもには大学へ行くための奨学金や支援があることに感謝している」、「児童養護施設からでも志望の大学に挑戦できたことが本人の励みとなった」などが伝えられている。さらに、子どもの受験は、子ども自身だけでなく、家族にも良い影響を及ぼしている。「子どもの頑張る姿を見て、前を向いて頑張っている姿を見れば何とかなる、誰かの助けを借りることもいいことだと思った」、「下の子どもも夢を持てるようになり、将来やりたいことを話してくれる」、「児童養護施設の子どもたちに進学を選択する姿を見ることができた」といった回答が寄せられた。

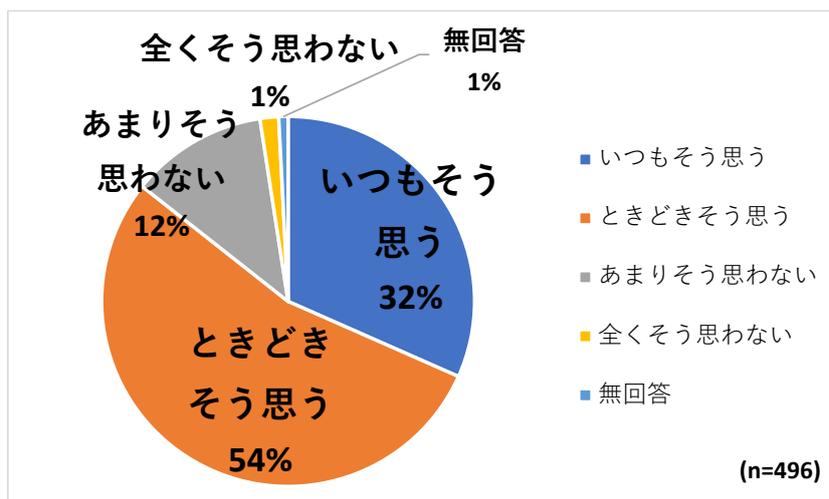


図 17 子どもが奨学金をもらったことで、困ったときに人に相談しようと思うようになったか

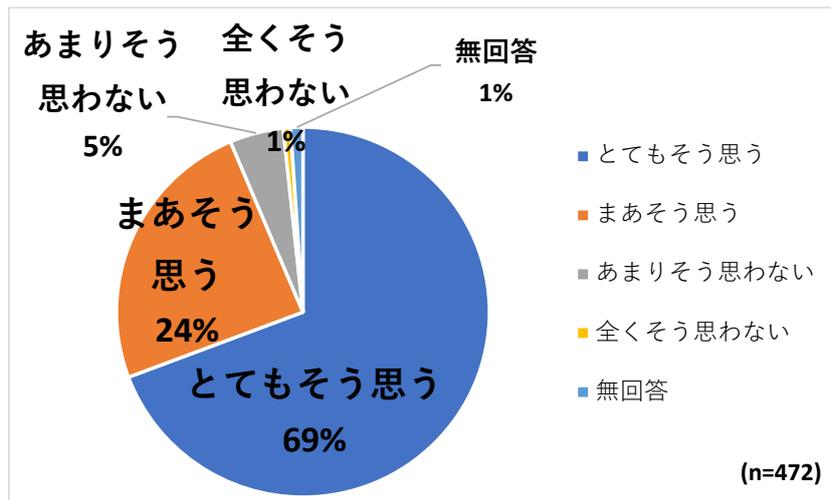


図 18 子どもが受験をしたことで前向きな気持ちになったか<sup>6</sup>

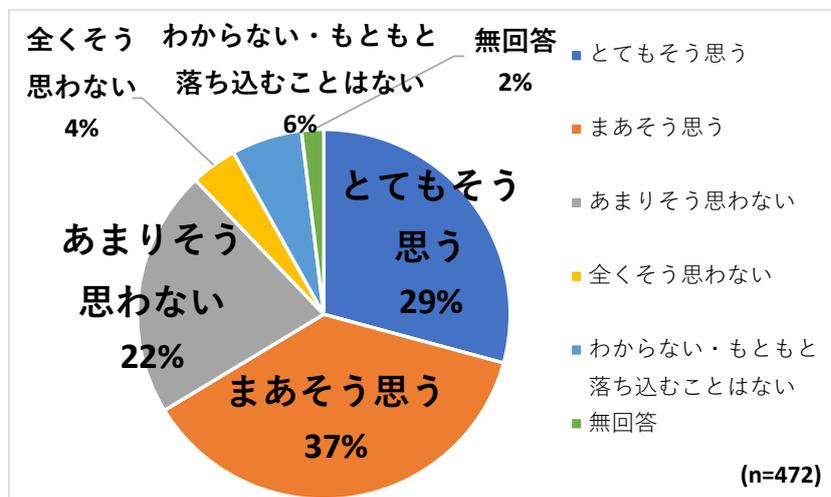


図 19 子どもが受験をしたことで、不安を感じたり気持ちが落ち込むことは減ったか<sup>7</sup>

<sup>6</sup> 子どもが受験をした回答者が対象。

<sup>7</sup> 子どもが受験をした回答者が対象。

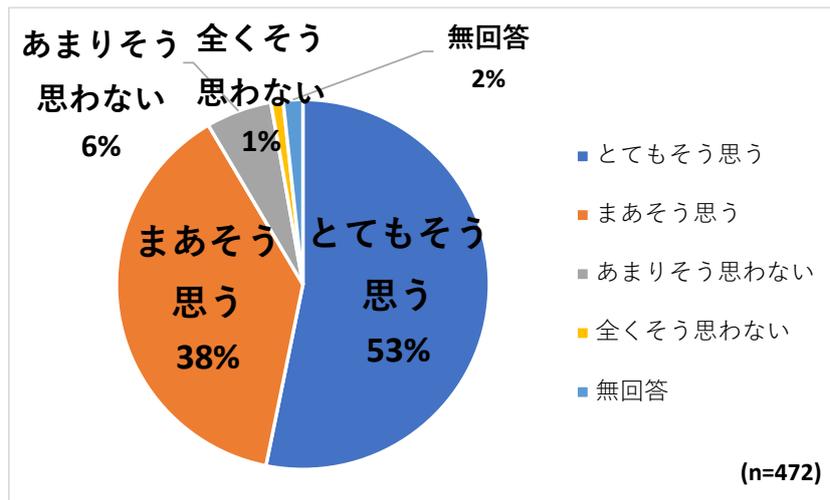


図 20 子どもが受験をしたことで、自身や家庭により影響があったか<sup>8</sup>

表 1 受験をして子どもが変わったと思うこと  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ 全般的に成長した

- ・ 模試の結果に一喜一憂し、不安になったりやる気を出したり、そんな日々から入試を迎え、できなかったと落ち込み、でもまた次のテストに向かい、そんな中でとても気持ちが強く、精神的に成長できたのではないかと思います。無事合格し、これから先の大学生活に希望を抱き、あれをしようこれもしようと思いついている子供を見ていると、とても嬉しい気持ちになります。
- ・ 今回の受験は自分の性格や克服すべきところを身をもって知る機会になったように思います。浪人となり前向きになれるまで辛い時期もありましたが将来この経験が息子の強みになってくれると思います。今は勉強が楽しみだ！と希望に燃えていて本当に成長したなと感じています。
- ・ 今回は不合格でした。家族で落ち込み、経済的なことも話し合い、それでも『もう一度頑張らせてほしい』と強い意思があり感動し心がふるえました。
- ・ 推薦に落ちたり挫折しながらも、目標大学合格を目指して最後まで頑張り抜く姿を見せてくれた事です。志望校を変えるように担任に言われても、「変えません。」と言い切った意志の強さは、親としては不安に思いながらもすごいなと思いました。結果、意志を貫き合格を手に入れました。可否もですが、受験する事により目標の為に辛くても負けずに乗り越えようとする力を養えたように思います。
- ・ 塾も行かず、自分自身で計画を立てながら自分にあった方法で学習が進められ、第1希望の大学へ行けたこと。毎日、10時間勉強を頑張り、努力すれば希望が叶うという大きな成功体験ができたこと。自分は努力ができる人だと自己肯定感が上がったこと。今回、受験をしたことでこのような経験ができ、今後の人生でつまづくことがあっても乗り越えられるのではないかと思います。受験をしたことで、自律心が芽生えたように思う。
- ・ 保護された直後は、高校卒業後どうしたいかなども考えられない状況だったと思いますが、小さな声で「小学校の先生」といった一言が、この短い期間に実現していくであろうスタートラインに来られました。自分の考えも定まらなかった当初からどんどん変わってきていると思います。徐々に自信もつき、活動的になっていっています。

<sup>8</sup> 子どもが受験をした回答者が対象。

- ・ 保護される前は、女子でありながら工場ではたらく勤労学生のヤングケアラーとして、とても進学を考えられる状況ではなかったが、里親家庭に委託され進学を決めてから準備をし、合格することができました。本人も今充実感いっぱい、4月からの大学生活を楽しみにしています。本人の今までの頑張りを見てきて、こちらも本当にうれしい気持ちです。
- ・ 大きな挫折を経験したことがなかったので、今はかなり精神的に参っているが、だんだんと受け入れ、前向きさを取り戻してきているのがわかる。これを機によりタフになり、多少の逆境には負けない強さを身につけてくれることを願っている。

#### ➤ 自信を持つようになった

- ・ 今まで、不登校を繰り返し、自分自身に自信が持てなく、いつも消極的でしたが、大学を受験することにより、自信がついて、モチベーションも上がり、笑顔になりました。
- ・ 自信に満ち溢れて、いろいろなことに積極的になりました。友人関係も、勉強も、前より取り組む姿勢が良くなったと感じます。
- ・ 志望大学に合格できたことで自分に自信を持てるようになったようです。笑顔が増えて、とてもよかったですと思います。
- ・ 息子が大学受験して変わったことは、自分に自信を持ってくれたことです。学業の成果だけではなく、自律した行動ができるようになりました。今では何をやるにも「できるかな?」と不安がっていましたが、「できるかも」から「できる!」と徐々に変わっていく姿は、精神的に大きな成長を感じました。
- ・ 以前は漠然と将来への不安があったようですが、この経験を通して自分に自信がついたようで、ポジティブ思考に変わりました。未来の話を進んでしてくれる様になり、顔つきも明るくなりました。
- ・ 合格が決まった後、自信がついて明るくなった。進学の前大学の課題に前向きに取り組んでいるようだった。進学の決まった友達と一緒に話す機会が増えたり、社会人の友達と会う機会が増えて楽しそうに過ごしている。家族とよく話すようになった。

#### ➤ 前向きになった

- ・ 気持ち的に前向きになった様に思います。不登校から少しずつ前に進み、諦めざるを得ない状況から目標だった学科選択出来た事で今後の頑張る気持ちにも繋がった様には感じます。
- ・ 施設で生活しているコンプレックスは変わらずとも、施設生活で出会った人間関係やこれまでの人生を好意的に捉えられるようになったこと。
- ・ 奨学金を借りながらですが、大学に進学して、とても楽しみにしているようで、前向きになり生き生きとしています。
- ・ 将来の話や大学の話を良くする様になりました。また、とても前向きになった様に感じております。本当に大学で勉強したいという気持ちが伝わってきます。早く心理の勉強がしたいと希望に満ちていると思います。
- ・ 他の同級生達と同じように受験し進学できる事で劣等感などが消え自信が付き、前向きに明るくなったと思います。

#### ➤ 自分で考えて行動するようになった

- ・ 自分で考え、決断できる力がついたと思います。
- ・ 自分で計画的に様々な事を考えるようになった。残念な結果であっても次を考えて前向きな思考になった。
- ・ 自立心が高まったと思います。塾選びや勉強法、参考書選び、受験手続きや会場への行き方

など、親に頼らず全て自分で調べていました。

- ・ 親に頼り切りでなく、自分で決めたことに対して、そのために自分で何ができるのか率先して考え、行動できるようになりました。
- ・ 親や周りの意見に惑わされることなく、自分の夢に向かって強い意思を持って動く事が出来るようになったと思います。
- ・ 他人が決める未来ではなく自分で決めようと考えようになった。
- ・ 自分という芯をしっかりと持つようになり、勉学を通して様々なことに自分の考えを確立させるようになったなど感じています。
- ・ アパートを借り一人で生活するための準備を自分から積極的に進めていることに感心させられています。
- ・ 親元を離れ一人でしっかりと生活していく心構えが少しずつできてきていると思う。
- ・ アルバイトを増やしたり社会への積極的な参加を試みるようになったと思います。今までは人影、人に目につかない場所にいる事を選んでいたような気がするのです。

➤ **将来について考えるようになった**

- ・ それまでは、将来に対して漠然としたイメージしか持っていなかったものの、進路が決まることで、具体的にどんな未来が待っているのかが見えてきたようです。その結果、これからの自分に対してしっかりとしたビジョンを持つようになり、自然と先を見据えた考え方ができるようになってきたと感じています。
- ・ 将来について、いくつかの選択がありましたが、就職のことなどを考え、地道に資格が取れる大学を選びました。迷いはあったと思いますが、それだけ真剣に将来のことについて考えられたのは、良い時間だったと思います。
- ・ 将来について前向きに、以前より具体的かつ柔軟に考えられるようになったと思います。
- ・ 自分の将来について考える時間が持てたこと。いろいろな人と出会い、いろいろな経験をすることで自身の人間形成されること。とても大きな財産になると思います。
- ・ 自分の将来の仕事（職業人として自立し生きていく）のイメージを強く持ちながら日々前向きに楽しみに過ごせている事。また、その事で学費を工面する為に今からアルバイトにやる気になり目標ややりがいを持ち少しずつ自立しようとしている姿に成長と安堵を感じています。
- ・ 自分の適性をふまえ、将来について真剣に考えることが出来たのは子供にとって良い経験となりました。また、その際に目標が見つかったのは幸運だったと思います。高校3年間の間の2年間は、怪我や病気が続き、学校へ行けなくてもオンラインで真剣に授業に取り組む姿や、課題をしっかりと提出するなど、普段の生活態度を評価して頂き推薦を貰うことが出来ました。真面目な子なので、推薦だからと気を抜くことなく、最後まで徹夜で頑張っていました。本人の努力が実ったことを、嬉しく思っています。大学生でも、目標に向かって頑張ってくれると信じています。

➤ **周囲に感謝するようになった**

- ・ 感謝の気持ちをストレートに家族に伝えることが増えた。
- ・ 支えてくれた周りの人に感謝の気持ちを伝えるようになった。
- ・ 元々職員に対して敬意を持っていてくれた子であったが、さらに小さなことでも感謝の言葉を伝えてくれるようになった。
- ・ 普段はあまりきれいな言葉を使いませんし、尖っていましたが最後の受験の日の朝、中学から6年間ありがとうございました、とわたしに言葉にして受験会場に向かいました。

- ・ 大学受験を決めてから、経済的負担を考え、率先して色々な奨学金のパンフレットを持って帰ってきたり、その手続きや、奨学金の面談をしたり、自分で進めてきました。本人から、一コマだけでいいから塾に行かせてもらいたいと言われ、入塾しましたが、自習室をフル活用し、毎日毎日通い詰め、塾が終わる時間まで勉強に励んでいました。家族のサポートもあり、無事に大学合格でき、本人も、自分の力だけでなくみんなの支えがあったから無事に大学合格できたと伝えてくれました。大学受験は、将来のためにとっても良い経験になったと感じます。

➤ **その他**

- ・ アルバイト代を貯金するという意識が身に付いた。
- ・ 進学費用をはじめ、金銭的な話をすることが増えたため、現実的な資金繰りについて考えるようになった。
- ・ 大学生になってからの生活費や学費等をどうしていくかお金の事を真剣に考え計画出来るようになった。
- ・ 不安や心配事をきちんと相談してくれるようになったこと。
- ・ 母子家庭なのを気にして将来についての相談をしてもらえなかったが、奨学金の話から相談してくれる様になった。
- ・ 今回、1年浪人をして第一志望校に向けて頑張り抜き、残念な結果に終わりましたが、気持ちの切り替えが早く出来るようになった事がとても大きな変化でした。周りの大人に相談しながら、将来の事も考え進学先を決められるようになっていた所も、以前なら1人で悩んで決めていたので変わりました。

表 2 子どもが受験して良かったと思った場面や内容  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **子どもが将来の夢に近づくことができた**

- ・ とても考え方が前向きになり、不安もあるが、それ以上に救急救命士になり消防官となる夢のスタートラインに立てたことに対してとても喜んでいる。
- ・ 管理栄養士になりたいという夢の一步を踏み出した。国家試験に受かるかはわからないが、人生設計が少し出来ていることはとても良いことだと思う。
- ・ 今後奨学金の返済が重くのしかかるが小さい頃からの夢である助産師に向けてスタートすることができた。国家資格取得後は安定した収入が得られることはとても良いことである。経済的な理由で何かを諦めることは避けたかった。
- ・ 子ども本人が医師になるという夢を諦めず、第一志望の大学に合格して喜んでいてくれたこと。
- ・ 将来保育士さんになりたいという進路をイキイキと話していた。
- ・ 自分の将来を楽しみにしていること。小学校の教員免許だけでなく、中高社会科の免許もとると意気込んでいます。子ども食堂でボランティア活動をしておりませんが、今度は自分ができることをもっと探す、いい先生になると言ってくれました。
- ・ 海外への交換留学制度や将来の夢の現実ができるであろう希望の大学へ進学することができて良かったと思っています。
- ・ 小学校からやっていたスポーツでの経験と知識で、将来の夢がありそれに向かって部活や勉強を頑張っていました。大学の経営を学ぶ事で更に夢に近づいて行くんだと思い受験して良かったと思います。

➤ **経済的に苦しくても受験に挑戦することができた**

- ・ 「児童養護施設で生活しているから」難しいではなく、志望する大学に挑戦することが出来たことで、限りなく一般家庭と変わらない支援が出来たこと。それが本人にとって大きな励みになったこと。他の子どもにとっても良い影響となったこと。
- ・ 本人は自分のため、家族のために国立を選び、見事合格してくれたことに感謝です。私自身も幼少期から母子家庭で一生懸命勉強していたのですが、大学を諦めた苦い思い出があるので、長男には大学に行かせてあげられる奨学金やご支援がある今の時代に本当に感謝です。
- ・ とても大学に行かせられる家庭状況ではないのですが、本人が本当に勉強したいと思う学校のように、バイトを探して少しでも生活のたしにと、自ら考え行動したことがびっくりしました。なので応援しようと思いました。
- ・ 経済的苦労があっても、頑張っていれば救ってもらえることがある…ということ、母娘ともに強く感じた。
- ・ 母子家庭でも、夢を諦めずにチャレンジ出来るんだと、親子共に思いました。
- ・ 浪人することになりましたが、私たちのような家庭環境でも大学進学を目指すことができたことに安堵しています。母子家庭なので家計への負担を気にかけていろいろ頑張ってくれました。成長を感じました。
- ・ 県の無料塾に通わせていただき、企業からの支援、給付奨学金や社会福祉協議会などを利用させていただき、子どもの夢を諦めなくていいと感じました。子どもにとっても目標を持ち、支援を通じ色々な先生にアドバイスをいただきモチベーションを高めることができて本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・ とても親の気持ちを考えられる子だった為、なるべくお金をかけないように気を遣わせてしまっていたけど、こういう制度があることで挑戦する気持ちが増え、その結果、希望の進路へ進めました。頑張れば夢は叶うということを経験できて本当に良かったです。諦めさせなくてよかったです。
- ・ 進学先にもよると思いますが、低所得層の家庭で育つと、子供も低所得層になりやすいと言う悪循環を本人の努力で脱却出来る可能性を掴む事が出来、今後も努力し続ける力になったのはとても良かったです。
- ・ 友人達と目標に向かって切磋琢磨しながら受験に向けて頑張っている姿を見てチャレンジさせてあげて良かったと思いました。

#### ➤ 家族に良い影響があった

- ・ 子供が必死に頑張っている姿を見て自分ももっと頑張らなければいけないと思った。前を向いて頑張っていればどんな困難も何とかなる！誰かの助けを借りることもいいことなんだ、助けを求めて良かったと思えました。
- ・ 子供が受験して将来の目標が定まったことで明るくなったので応援したいと思い、私自身も前向きになれた。
- ・ 数年前からの夢があり、叶えるには大学での学習が必須であるため、夢を叶える為のスタートラインに立つことが出来た。頑張る子どもを見て、私自身、もっと頑張れると思えるようになった。
- ・ 大学を探す過程において、将来の職業についてじっくり話し合う時間が持てたこと、その話を聞いていた弟妹が自身の将来の職業について考えるようになってくれたことです。
- ・ 将来の話がたくさんできるようになりました。姉の姿を見て、下の子達も進学に夢を持てるようになり、将来やりたいことを話してくれます。家族で話す時間がもっと幸せになり、仕事頑張ろうと思えます。
- ・ 父子家庭で子供も多いので、本人も進学に躊躇するところがあったのですが、将来のことを

家族みんなで考えて大学に進学すると決めました。合格した事で、本人にも自信が付きまた他の兄弟達にも進学して良いんだという気持ちの変化も出てきました。家庭環境は一般家庭ではないですが、受験という事柄を経て、家族の絆がまた強くなったかなと思いました。

- 対象が児童養護施設入所児童であり、下の子たちに進学を選択するという姿を見せることができた。退所後の選択肢として進学を選択するケースがさらに増えていくことを期待したい。

➤ **その他**

- 頑張って勉強してきた事がむくわれた時の子供の顔は、子供の頃の素直な笑顔でした。
- 合格発表の時、番号を見て大喜びした時！最高の笑顔でした！さらに、今まで、ありがとうございましたと言われた時は、頑張って良かった！と心から思いました。
- 厳しい経済状況でも、大学に進学したいと頑張る子供を応援し、一緒に喜び落ち込み、色々な思いをしながら辿り着いた合格でした。親子で頑張ったと思える、プライスレスな経験であったと思います。
- 周りの友達は何校も受験していたが費用の関係で自分は1校しか受験ができないと思っていたようでチャレンジの幅が減り、申し訳なく思った。

### 3.7 ゴールドマン・サックスへのメッセージ

支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージでは、GS奨学金のおかげで受験や進学ができたことへの感謝の気持ちが多く寄せられた。感謝のメッセージとともに、早い時期に奨学金を受け取れることが受験や進学の費用を確保する上で非常に有用だったとする回答、今後も支援を続けてほしいとの回答も目立つ結果となっている。

表 3 支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージ  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- あと少しが払えない、子どもに諦めさせなければならなかったところだったのですが、ありがたいことにご支援いただいととても感謝しています。
- 障害者である1人親での双子育児の最終段階での大学進学。経済的なことだけを考えると無理な話でした。賢明な娘たちには大学進学してもらって今後さらに活躍していく人物になってもらいたいという思いを、叶えてくださったこと、感謝しております。
- 本当に神様っているんだな！って思うような暖かいご支援で私達のような母子家庭には無縁のゴールドマン・サックスと言う名前を初めて知りました。また、そのスタッフの皆様の暖かい応援によって無事に大学より合格をいただきました。娘の未来の道を広げ可能性の選択肢を増やして下さった事は一生忘れないと思います。
- 奨学金をいただいたことで、金銭的にも精神的にもどれほど助けられていたか、感謝の気持ちでいっぱいです。受験応援金は、塾の費用や模試費用として有り難く活用しました。いただいた入学準備金も大切にに使わせていただきます。
- この1年間、精神的な支援、金銭的な支援を頂きまして、ありがとうございます。おかげさまで、息子は自分の夢をあきらめたり、妥協せず、受験勉強に取り組んできたと思います。これからの自分の道は、親の離婚や収入減なんか関係なく、自分でどうにでも切り開けると感じたことでしょう。次は、自分の力を社会に返せる人になってほしいと思います。親子で、成長できる時間や経済的支援をありがとうございました。
- 低所得母子家庭は受験を諦めなければならぬ雰囲気の中、見守って下さる方々に頼らせていた

だき将来子供のやりたい事に向けての第一歩を踏み出せました。感謝でしかないです！

- この度は大きな額を支援していただき、受験しよう、大学で学びたいことをのびのびやってみよう、という子供の背中を押すことができました。
- 大学推奨のパソコンを購入しないといけなかったので、10万円はそこにあてさせていただきました。学校を通す補助金などはみんなの前で封筒をもらったり支援室へ提出しなければいけなかったりと、お友達の目も気になっていたと思います。今回はみんなの手前ではなかったので素直にパソコン代助かるね。と話していました。親がいないからということが理由で進路を狭くしてしまいそうでしたが本当に良かったです。LINEでの入試情報なども学校よりも分かりやすく親しみやすく良かったです。
- この度は娘の受験のためにお力をいただき、ありがとうございました。いただいた奨学金で受験校を増やし、トライさせていただきました。第二志望校から早い段階で合格をいただけたので、最後まで受験を続けられたと思います。最終受験の日の朝、『後悔したくないから、最後までがんばるよ。』と言って家を出て試験にのぞみ、そして合格をいただき、娘の未来が広がった思いがしました。次は大学で使用するPCの購入資金に充てさせていただきます。
- ご支援がなかったら、赤本、参考書を買うのも大変でした。これから引越し準備に入ります。10万円を大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。感謝でいっぱいです。
- 金額ではなく、困難にある子どもたちを支援してくれる社会の存在を、子ども本人が感じられることの意義が大きいと思います。ありがとうございました。
- 私どもにとってこの奨学金は本当に神様からの贈り物だと言っても過言ではないくらいに助けられました。2度に分けてご支援頂いたことで、受験費用とそれに伴う宿泊費、交通費に充てることができ救われました。学費を確保することばかりを考える毎日の中でこのようにご支援頂けることに心より感謝申し上げます。
- 正社員で仕事をしております。子供の数も多く、男の子の食費が右肩上がりなので、ご支援を頂いていなければ、受験料がネックで足を踏み出せませんでした。子供の人生を左右するご支援本当にありがとうございました。
- 社会的養護下の子ども達は受験費用のほとんどを自分で用意しなければならないので募集人数が多い奨学金は大変ありがたいです。また募集時期が早いので進路を考える良いきっかけになりました。
- 浪人生になると遺族年金や公的給付金もない中で勉強しないといけなくなり、正直不安はあり悩みました。こちらの奨学生は一浪まで応募できるとの事で本当にありがたく思います。
- この度はご支援ありがとうございました。支援金を貰える時期が早く子どもが受験の準備をする費用に充てることが出来ました。また貴奨学金を受給出来たことで子どもにとっては努力が結果につながったという気持ちになり、他の奨学金を申し込むための良いきっかけになりました。
- 大学入学後の奨学金はありますが、受験準備の奨学金はあまりないので、母子家庭にとってはたいへん有難い奨学金です。受験には多くの費用が掛かりますし、私立大学の入学金は家計にとって大きな負担となりますが、貴社の奨学金をいただけたことで、負担を軽くすることができたのでとても助かりました。
- 奨学金や学費等の免除制度は拡充され進学を選択する児童が増えてはいますが、進学後に実際に給付される6月頃までは自己資金で生活していく必要があるので、入学前のある程度まとまったご支援が頂けるのはとても助かります。
- 他の受験応援助成金よりも早い段階で5万円の給付があり、本人の気持ちも安心感が芽生えたと思います。そして、進学先が決まればすぐに10万円を給付してくださり、入学金の工面がとても大変だったので有難かったです。
- これからも未来に希望が持てる制度を子供達やそれを支える保護者に与えて欲しいです。

- 金銭面で不安でしたが、寛大な援助により本当に救われました。また、随所で応援のメッセージやプレゼントに心が温かくなりました。ご支援頂けたことで人生が変わるきっかけになると私は感じます。もちろん金銭的な援助は容易ではないと思いますが、何より子供達の状況や目線に寄り添ってのきめ細やかな支援に感動致しました。素晴らしい企業様だとご支援の度に感じていました。どうか今後も少しでも多くの子供達の夢への橋渡しになって頂ける事を願っております。私達も繋いで頂いた道を大事にしていきたいと思えます。
- 今回奨学金を受け取りましたが、オープンキャンパス2ヶ所分の往復の新幹線代、入学金の一部に充てることができてとても助かりました。ありがとうございました。これからも次世代の子どもたちのために是非続けて欲しいです。
- この度、ご支援いただき、我が子が進学を諦めることなく、叶えることができました。ありがとうございます。今後もこのような奨学金制度を利用できる子どもたちが増えることを祈っております。
- 社会的擁護が必要な子供、収入が少ない家庭の子供が、自分を諦めないで、これからも未来に向かって行くための手助けをして下さっていることに、感銘を受けております。これからも、すべての子供が同じスタートラインに立てるよう、支援を続けて頂きたいです。
- とても温かなご支援の数々に親子で驚き、息子のやる気へと繋がりました。【誰かが応援してくれている】というのは大変心強いものです。今後もこのようなご支援の輪が途切れない事を切に願います。
- これからも企業の支援で助かる子供達が増えることを願っています。そんな企業に子供を就職させたいです。
- たくさんの子どもたちが夢をあきらめずにすむように、活動が続いて行けばいいなと心から思います。
- ひとり親家庭は一樣に困窮が続いています。若者の学習意欲を絶やさぬよう今後もこの活動を、続けていただきたいと思っております。
- またこれからの子供達を助けてあげて下さい。受験料だけでも貧しい家庭では夢をあきらめなくてはならない子がいるかと思えます。
- 金銭的に受験が難しい人が、1人でも多く受験を受けられるように、支援を続けて頂けたら嬉しいです。
- 私たちと同じ境遇の方のためにもまた来年もご支援をいただけたらと思えます。
- 金銭面はもちろんのこと、受験に関する情報や、子供への応援グッズを頂いたことも、大変ありがたかったです。貴社のように、次世代を応援する企業がもっと増えてくれることを願っています。
- 二度にわたる奨学金のみならず、文房具やカイロといった心温まるご支援がまた嬉しく、受験への活力となりました。お陰様で4月から大学生。勉強に部活に夢を膨らませております。今こうしてご支援を受けて未来へと繋がった息子を今後も周りの方々に支えられながらサポートしていきます。息子のみならず私も救われました。
- スムーズなご支援感謝いたします。無事、大学に合格できました。ノートなどのプレゼントまでいただき、応援してくれる企業があるんだと安心感で受験の支えとなりました。
- 支援金の他に 子供に直接お届けしていただいたカイロや文房具などはとても心が温まるものでした。受験の当日にカイロとチョコレートを試験会場に持参し、応援していただいていることを実感しながら試験に臨むことができました。温かさが伝わるご支援をいただきまして本当にありがとうございました。
- 明日の生活も不安な中でご支援を頂けてとても感謝しております。また、現金のみでなく文房具や支えのメッセージ等を頂き、とても心強く、子と共に非常に感謝しております。

- 受験でピリピリしているなか、カイロやチョコレートに癒され励みになりました。本当にありがとうございました。感謝しています。これから、医療を通じて、社会貢献できる大人になりたいと子供も意欲に満ち溢れています。
- 勉強ですぐ使える文房具や合格グッズはとても喜んでいました。なかなか誰かから目に見える形でこのような温かい応援をもらう機会がなく、合格カイロは受験まで机の上に、本番はお守りと共にポケットに入れていました。
- たくさん助けていただき誠にありがとうございました。一人じゃないんだと思うととても心強かったです。精神的にも金銭的にも安心することができました。無事に娘も進学先が決まり本当に今は嬉しい気持ちでいっぱいです。
- こちらの支援で進路の選択肢が増えとても助かりました。子供達が明るく前向きに未来について考えるようになり、私の不安も軽くなったように思います。
- 4年前に、主人が脳梗塞で倒れ、半身不随になりました。これからどうやって生きていけばいいのか、すべてが不安でした。あれから4年が経ち、なんとか息子も浪人して大学進学しました。今回、娘も大学進学をどうするかについて、よく話し合いましたが、悩んだ末、大学進学することになりました。このような機会がなければ諦めていたかもしれません。応援して下さる方がいるということが、気持ちの支えになりました。
- 父親を亡くした息子にとって大学進学というのは大人が思う以上に高い壁だったと思います。その中で支援して頂けることの重みも感じて、しっかり勉強して社会に役立つ人になってほしいと思います。
- 大学進学したい本人の気持ちは前から知っていたので、日々節約し少しでも進学費用を貯金してきましたが、予想外の出費や価格高騰、なかなか全てを準備できなかったのも、とても助かりました。支援を受けられることがわかった時には本当にホッとしました。本人は沢山の人の支えられているのだと実感し、その分、私のできることで社会に恩返ししていきたい。と言っていました。
- 塾代、参考書代、模試代、受験代、入学金、授業料、引越し代など、飛ぶようにお金がかかりとても不安な日々を過ごしていますが、そんな時の奨学金 15 万円はとても有難く助かりました。いつか私も困っている人の役に立てる人間になりたいと思います。息子にも周りの援助があり大学に行ける事、いつか恩返しができるように大学4年間を頑張ってもらいたいと伝えています。
- 子供が世の中に見捨てられてない気持ちになりました。とても感謝しています。大学入学前のPCなど必須で、まずひとつ心配が減りました。ありがとうございます。感謝しかありません。次は子供が恩送り社会貢献します。
- 子供も自身も、応援してもらえることに感謝し励みになりました。「模試受けられる！」と喜んでた顔が忘れられません。とても嬉しいことでした。感謝です。子供も自分が社会貢献出来るように頑張ると言っていました。
- 大学受験に向けて、経済的にも余裕がない中で、奨学金をいただくことができ、本当に感謝しています。子どもも将来は御恩返しができるよう社会に役立つ人へ成長してほしいと思います。

表 4 その他の意見・要望等  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- 入学するまでの資金が莫大で驚きました。入学前に受け取れる奨学金があると本当に助かりますが、なかなか無く、今でも必死です。経済的に厳しい世帯でも、子どもが安心して学べる手だてがある社会になってほしいと切に願います。
- 経済的理由で進学を諦めないような世の中はなってもらいたいです。将来の日本を支える子どもたちが前向きになれる政策があって、ほしいです。

- 経済的理由に進学を諦めたり、変更しなければならない家庭はたくさんいらっしゃると思います。是非このような情報がたくさんのご家庭に広まる事を願っています。
- 大学進学を断念した理由の一つは、入学金の高さでした。受験費用もちろんではありますが、国公立大学に進学できたならば、その後奨学金の支援は充実しております。しかし、大学に合格しても入学できないということの方が、辛いです。入学金に対する支援を必要としている方は多いかと思います。
- 我が家のように、貧困家庭での双子の場合は今回のようにサポートしていただけて、感謝しています。しかし、貧困家庭ではないけれど一般的な友人宅は、双子の進学に際して非常に苦労していました。双子や三つ子家庭への支援もあつたらよいと思います。

以上

## 認定 NPO 法人キッズドア

### ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 受給生アンケート 受給生編

2025 年 5 月 14 日 認定 NPO 法人キッズドア

2024 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生を対象に、2025 年 4 月以降の進路、受験や進学後の不安、受験期間を終えての自身の気持ち、奨学金や伴走支援についての感想等についてアンケート調査を実施した。調査結果について、以下のとおり報告する。

なおゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金は、22 年度に第 1 期生の支給を開始し、24 年度が 3 期目となる。以下の 2 点においてユニークかつ貴重な奨学金制度である。

- 受験期間と進学前の 2 回に分けて支援金を拠出し、大学進学に向けた学習と受験を支援（受験応援金：5 万円、入学準備金：10 万円）
- 文房具等の応援パックや、学習支援・受験支援につながる情報及びメッセージを定期的にお届け

#### 1. アンケート調査について（概要）

- 目的：困窮家庭の高校生の進路や進学における課題、奨学金や伴走支援の効果等を把握し、奨学金事業をはじめとする支援策の改善・充実につなげること。
- 対象：2024 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生
- 調査期間：2025 年 3 月 14 日～4 月 6 日
- 回答数：315 件（回収率 57%）

#### 2. 調査結果まとめ

今回のアンケートを通じて、ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の存在が、進学を実現させるだけでなく、将来への希望や社会貢献意識を育む重要な役割を果たしていることが確認できた。本奨学金の受給生は、家庭の経済的な事情という大きな壁に直面しながらも、自分の夢や将来の目標に向かって懸命に努力を重ねてきた。進学を希望しても、受験勉強の費用や大学の受験料、入学金の支出に不安を抱え、進路の選択や受験校の数を制限せざるを得ない状況も少なくない。それでもなお、自分の可能性を信じて一歩ずつ前へ進もうとしている彼らにとって、奨学金制度は単なる金銭的支援にとどまらず、「自分には応援してくれる人がいる」という心の支えにもなっていると考えられる。

また今回の調査では、大学進学後の経済的な不安や学生生活への悩みなど、継続的な支援の必要性も浮き彫りとなった。今後も子どもたちの声に丁寧に耳を傾け、よりよい支援体制の構築を目指していく必要がある。

- アンケート回答者の 98%が実際に大学等を受験し、80%が大学へ進学する。
  - 4 月以降の進路は、「大学」が 80%、「短大・3 年制大学」が 3%、「専門学校」が 4%で、約 9 割が進学する。
- 9 割が「進学費用に関して保護者に気を遣った」と回答。
  - 経済的理由により、47%が「受験する学校の数を減らした」と回答。「予備校・塾に通えなかった」・「受験・進学を諦めようと思ったことがある」・「進学費用のためにアルバイト等をした」と回答した受給生もそれぞれ 3 割程度存在する。
  - 家庭の経済的な状況について、苦しいと感じている回答者が約 8 割であり、受給決定時の調

査よりもわずかに増加。

- 受験・進学を諦めようと思った回答者のうち約9割が、理由として「入学金や学費を用意できるか不安になった」を選択。
- ほぼ全員が、「受験してよかった」と回答。受験経験が進学のためだけではなく、将来への前向きな一歩であり、自身の成長を実感できた機会であったことが読み取れる。
  - 「受験をしてよかったと思うか」という問いに対し、78%が「とてもそう思う」、さらに21%が「まあそう思う」と回答し、99%が肯定的な意見を示した。
  - 自由記述では、将来の選択肢が広がった、自分に自信が持てるようになった、周囲への感謝の気持ちが生まれた、という声が見られた。
- ほぼ全ての回答者にとって、GS奨学金が受験の後押しになっていた。
  - 「GS奨学金は受験の後押しとなったか」という問いに、99%が「はい」と回答した。
  - 受給生に文房具等を送る応援パックや、受験関連情報の配信といった伴走支援に対しても、9割以上が満足したと回答。
  - ゴールドマン・サックス社に対しては、「ご支援のおかげで、将来を真剣に考え、本気で夢を叶えにいこうと思えるようになりました」という感謝の気持ちや、「今後も、経済的に苦しい子どもたちのために奨学金を続けてほしい」、「将来は、受けた支援を社会に還元したい」といったメッセージが多数寄せられている。
- 7割が、学費の負担に耐えられず退学することへの不安を抱えている。
  - 進学後に学費が払えず退学してしまうことに対し、「とても不安」が20%、「少し不安」が52%と、不安を抱えている回答者が7割を超える。
  - 自由記述では学費に加えて、教材やパソコン、通学費、生活費等の負担に関する不安や、学業とアルバイトの両立への心配の声も多数見られた。
- 奨学金の受給決定時より、自身の将来や社会に対する前向きな回答の割合が低下している。受験時に経済的に苦労したことや、進学後の負担が現実的になってきたことが影響している可能性がある。
  - 「自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもある」「大人になるのが楽しみ」といった項目に対し、ポジティブな回答が10%程度低下。昨年（2期生）も同様の傾向であった。
  - 一方で、自身や気持ちの変化を直接尋ねた質問では、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」という回答が61%にのぼった。

### 3. アンケート結果概要

#### 3.1 受験期間の経験と 2025 年 4 月以降の進路

本アンケートに回答した受給生の 98%が大学等を受験している。高校での評定平均は「平均 4.5 - 5.0 未満」(27%) が最も多く、平均 4.0 以上が全体の約半数を占めている。2025 年 4 月以降の進路としては、「大学」(80%) が 8 割を占め、「短大・3 年制大学」(3%) と「専門学校」(4%) を合わせると約 9 割の進路は進学であり、「浪人」は 9%であった。

進学費用で保護者に気を遣ったかという質問に対しては「はい」(89%) が約 9 割と圧倒的多数を占めた。経済的理由による進学への影響では、「受験する学校の数を減らした」(47%) が最も多く、約半数が選択している。このほか、「予備校・塾に通えなかった」(35%) ・「受験・進学を諦めようと思ったことがある」(29%) ・「進学費用のためにアルバイト等をした」(26%) も 3 割程度となっている。受験・進学を諦めようと思った理由としては、「入学金や学費を用意できるか不安になった」(87%) が約 9 割とトップであったほか、「受験料を用意できるか不安になった」(55%) との回答も多かった。

受験期間の悩みでは、家庭の経済状況に端を発する様々な悩みが寄せられた。受験や進学後にかかるお金について不安を感じていた回答者が多い中、奨学金や公的支援の情報を得ることで不安が軽減されたとの声もあった。また、経済状況を理由に、塾や予備校に通えない、参考書が買えない、受験校が制限されるといった悩みも多く寄せられた。塾や予備校に通えないことで、勉強法から勉強計画、モチベーション維持まで全て自分自身で行わなければならないと苦勞したとの声があった。自分一人で解決できない時には、学校の先生や友達に聞いたり、YouTube や生成 AI を活用したりしたという回答者もいた。参考書も十分には購入できないため、回答者は、学校のワークを何周も解き直した、フリマサイトで探した、学校の貸出を活用したといった工夫をしていた。私立大学を受けられない中での一発勝負のプレッシャーを伝える回答も複数あった。受験期間中、アルバイト、家事や介護等と受験勉強との両立に葛藤を抱えていた回答者もいた。成績の伸び悩み、面接や小論文の対策について悩んでいたとの回答も多くあった。親や先生、友人に相談する、地道に努力する、自分なりに目標設定や休憩方法を工夫するなど、不安や悩みの乗り越え方を伝えてくれる回答者もいた。

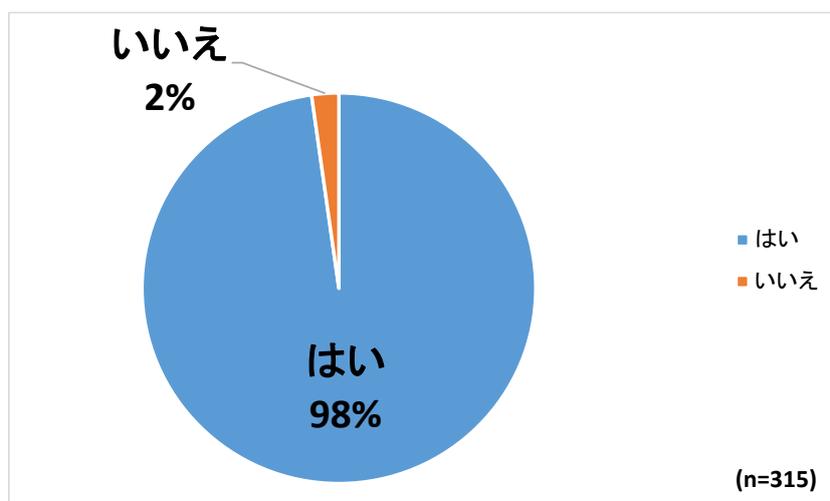


図 1 受験をしたかどうか

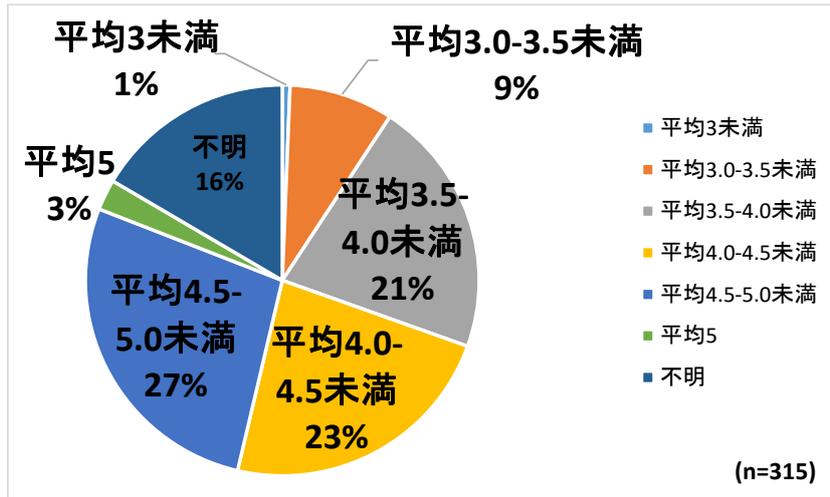


図 2 高校での評定平均

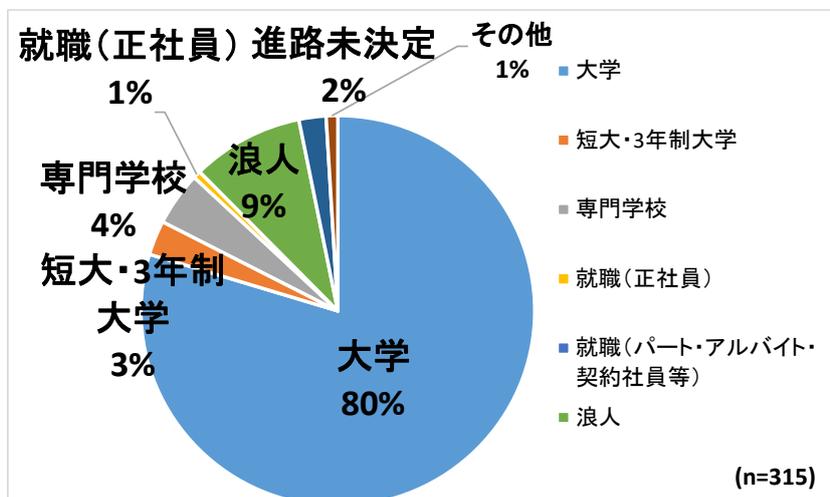


図 3 2025年4月以降の進路

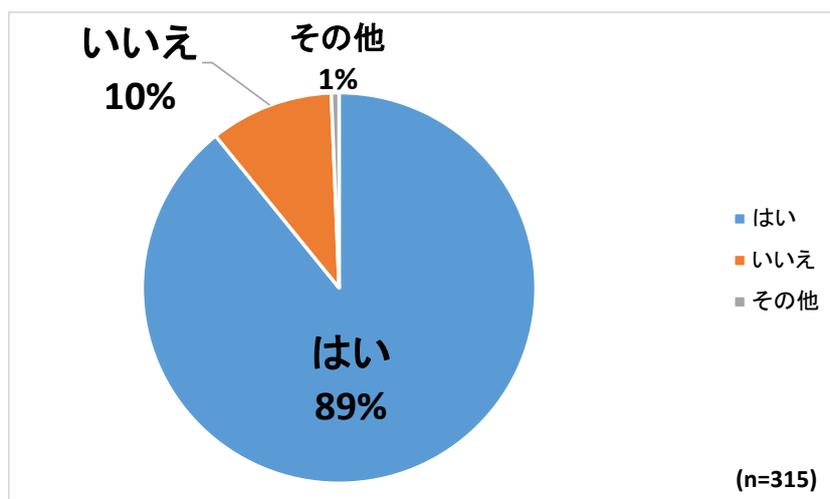


図 4 進学費用で保護者に気を遣ったか

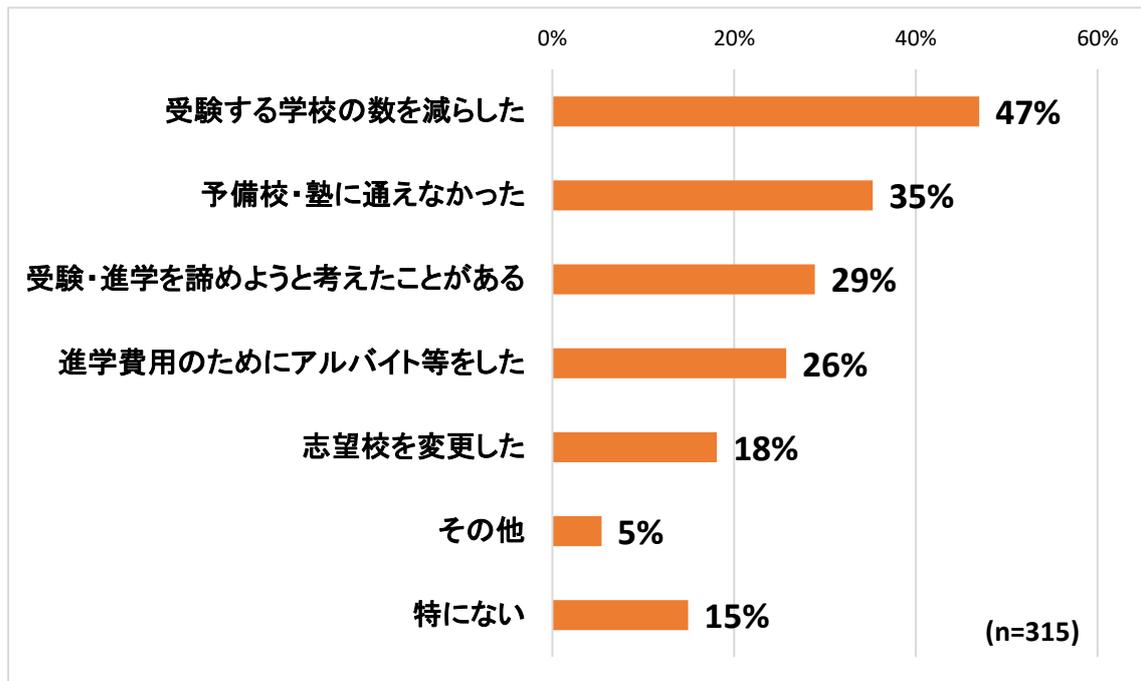


図 5 経済的理由による進学への影響（複数回答）

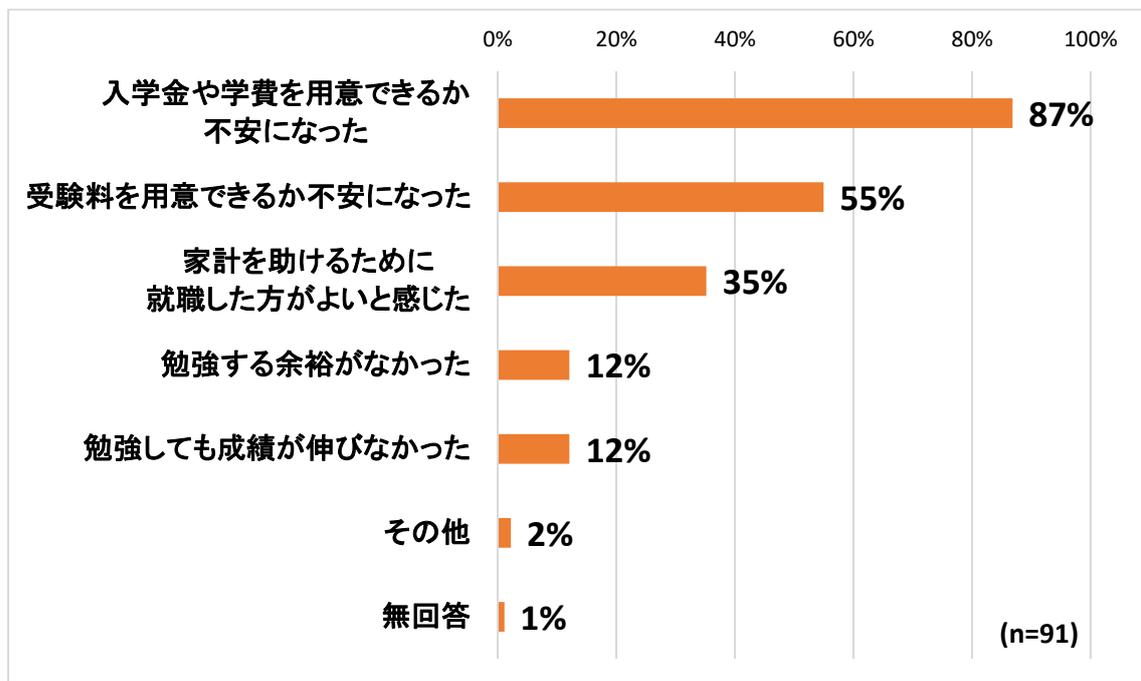


図 6 受験・進学を諦めようと思った理由（複数回答）<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 経済的理由による進学への影響で、「受験・進学を諦めようと思ったことがある」を選択した方が対象。

表 1 受験期間の悩みや乗り越え方  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **経済的な不安と乗り越え方**

- 行きたい大学があったけれども、親が障がい者で、職員から、あなたの工賃では、子どもに大学を断念させて就職するように親子での話し合いが必要と言われ、泣いた日々だった。
- 一生懸命勉強しても、入学金が払えなかったらどうしようと不安になっていた。
- 勉強を頑張っていたけど、その最中、受かったとしても授業料をしっかりと払えるかどうかずっと不安だった。
- 家族に進学資金を頼れないことで不安になってしまい、精神的な面で調子を崩して思い通りに受験勉強が進まなかったことが苦しかったです。よく食べ、よく眠り、体調を戻しながら無理せず勉強に取り組むことを意識しました。
- 私は国立大学に受かる自信がなく、私立も受けたいと考えていたため受験料など費用がかさむ不安がすごくありました。しかし、何回も親と相談して受験方式を決めました。この過程があったからこそ自分が持っていた不安を軽減することが出来たし、今とも良かったと思っています。
- 大学に落ちてしまった際に親に金銭面でも精神面でも負担をかけてしまう事が不安であったが、それをモチベーションの維持に繋げることで不安の解消とやる気の維持に繋げることができた。
- 金銭面が1番大変で何度も悩んだのですが色々な奨学金を調べたおかげで余裕がもてました。
- 学校推薦だったので勉強はそれほど苦労はなかったのですが、学費など大学へ入ってからのお金が心配でした。学費や奨学金をしらべ、給付型奨学金や3人以上子供を扶養していると授業料無料に該当すると分かって、それなら大学へ行けるなと思いました。
- 家庭の経済事情がよくないのに進学を希望したことに少し罪悪感を感じていたけど奨学金など様々な方面からの支援のおかげで思ったより費用がかからなかった。
- 受験は勉学的な心配だけでなく、金銭的な心配もあったが奨学金のおかげで心配などが減り受験に力を入れることができた。
- 薬学部を受かるかどうか分からない中、奨学金のおかげで多くの併願校を受験することが出来て、無事受験を終えることが出来た。
- 自分が学校や周りの人達と違う環境で生活しているため、みんなと同じように進学できるか不安だったが、施設の先生等に相談してさまざまな奨学金があることを知り、自分が行きたい大学を受験し無事合格することができた。
- 奨学金を探し、スケジュールを組むこと。様々な奨学金への申請（長い文章を書くものが多かったり、必要書類が多いところもあり集めるのに苦労した）。

➤ **塾・予備校に通えない不安と乗り越え方**

- やはり予備校や塾に行けなかったので勉強法が大丈夫なのか心配になった。
- 塾に通っていなかったため、人との関わりが絶たれたような気分になって必要以上に不安になることが頻繁にあった。
- 学力判定は足りていたが模試成績が安定しなくて悩んでおり、学校だけでなく塾に通いたかった。
- 周りが塾にいて、話を聞くと焦っていた。過去問もあまり手に入らず、学校からの貸出を順番待ちして焦っていた。

- 予備校に通ったが、夏季講習や冬季講習など追加料金がかかるものは、気を遣ってあまり取れなかった。
- 予備校の授業料や受験料が多くかかってしまったため、生活がより一層圧迫されました。
- 夏休みや冬休みなどの長期休暇時に塾に行っていなかったため先生などに質問ができず、自分一人で結論を導き出す必要があったことです。そして、参考書や回答を見るだけでは解決できなかったものもあったため友達と市営図書館にある自習室で数日に一度勉強をし、わからないところを教えてもらいました。
- 塾に通えなかったので、情報をとるのに苦労しました。YouTube や、いただいた情報、学校がくれる情報に耳を向け必死に聞きました。
- 塾に通えなかったので自分で勉強するのが大変だった。休み時間に学校の先生に質問して解決した。
- 塾に行っていなかったため、学校の先生などに質問しても求めていたような回答が得られず、ずっとモヤモヤしたままになってしまったことが最も苦労した点ですが、chatGPT の出現とその進化により逐一疑問点を解消できるようになってからそのようなことで苦労することが減りました。
- 塾に通うことが金銭的にできない状況だったことから誰かに頼ることなく勉強法や参考書の模索、勉強計画の作成、モチベーションの維持などを全て自分自身で行わなければならなかったため苦労した。定期的に目標から逆算した勉強計画の見直しや勉強方法の見直しをする時間を意識的に作り、またモチベーションが保てない場合でも自動的に勉強できるような図書館等を利用する習慣作りに時間をかけたことである程度効率的に進めることができたと思う。

#### ➤ 参考書が買えない悩みと乗り越え方

- 中々成績が伸びない時、参考書を厳選する必要がある、必要最低限しか学習できなかった。
- 教材を十分に買うことが経済的に厳しかったため、学校のワークや今までに買った問題集を何周も解き直してました。
- 去年の春、不得意科目を重点的に基礎からやり直すことにしました。参考書 1 から GMARCH レベルまでしました。参考書を買う経費を減らすため、メルカリなどで探しました。
- 過去問やテキストを購入したかったが、受験の費用や入学金が多くかかると思い、買うことができなかった。その際、自身の高校が貸し出している過去問などを活用した。
- 3 年の秋から塾に通わせて貰えるようお願いしたり、参考書はあるもので間に合わせるようにした。学校の先生に相談し、問題集を貸してもらうことが出来た。

#### ➤ 勉強場所がないことと乗り越え方

- 私には小学生の妹もいるので、勉強に集中できる静かな環境を常に確保することが難しかったり、モチベーションの維持に苦労しました。
- 家ではなかなか勉強に集中できなかったので自習室に通っていた。
- 家が狭く、兄弟が多いので、勉強に集中できる環境を探すことに苦労しました。休日は図書館に出かけたり、スーパーのフードコートの端っこで勉強したり、平日はできるだけ学校に残るなどしました。

#### ➤ 受験校が制限される不安と乗り越え方

- 県外の私立大学は進学候補に入れられなかった。浪人しても予備校に通うお金が無い

ので現役しか出来なかった。塾が合わなかったが、その時生活保護を受けていたため先払いしたコースの払い戻しが収入とみなされた。

- 私立は絶対ダメだと言われたため、国公立に合格できるか不安だった。
- 私立大学を受けられなかったので、一発勝負の感覚だった。とても緊張した。
- 時間やお金の関係から国立 1 本に絞りそれに向けて勉強しました。それに全力を注ぐことが出来たおかげで何とか国立大学に合格することが出来ました。
- 高額な授業料のため、私立大学への進学を断念せざるを得なかった。国立大学に合格するために、必死で受験勉強に励んだ。

#### ➤ 学業に専念できない葛藤

- 受験が近くなるのと同時にアルバイトの時間もあり、受験に集中できなかったが、生活リズムと環境を整え受験へと進むことができました。
- 部活との両立が大変だった。休み時間や昼休みなどに部活のことを終わらせ帰宅したら受験勉強だけをしていた。
- 部活やアルバイトと勉強を並行して頑張り続けること。1 つずつやることを自分で考えて解決していった。
- 母が働きに出てくれているので学業をしながら家事をするということは大変でしたが、計画的に対策したので合格出来て良かったです。
- 母が病気になり、家庭内の状況が大変になり、学習に専念出来ない時期があったが、将来の夢に向かって、家族や友達に支えられて受験を諦めずに頑張ることができました。
- 母子家庭のため、家の手伝いをおろそかにすることができず、おもうように受験勉強ができないこともありました。しかし、家の手伝いをする時間を決め、母が忙しくない時は受験勉強を優先することにしました。
- 母親と祖母の老いが目に見えて、親孝行したい、介護の手伝いをしたい気持ちと自分自身の夢、目標に向かって勉強に当てたい時間の葛藤がありました。

#### ➤ 成績の伸び悩みと乗り越え方

- 成績が悪化するたびに親から就職を迫られることがあった。
- なかなか伸びない時期は辛かった。現役生は必ず伸びるという言葉信じて頑張りました。
- なかなか目標点に届かなかった。苦手なところをひたすら解いた。
- リスニングが苦手だったので、毎日寝る前に必ず 30 分リスニングの練習をするようにした。
- 英語がとても苦手な勉強を始めるのも遅かったので特に苦労しました。共通テストでは特に英語を頑張ったのですが、失敗してしまいとても落ち込みました。しかし、2 次試験に向けて、学校の先生と塾の先生に英作文の添削や分からない所を率先して聞いたりなどして一般試験を乗り切ることが出来ました。
- 三年生の春から夏にかけて模試の成績が著しく下がり、どれだけやっても成績が上がらなくなりました。しかし、これはいわゆるスランプというやつだろうと割り切り、結果に一喜一憂せず、自分を信じて今までやってきたことを継続した結果次第に成績は回復し、最終的には自己最高点を取ることができました。
- 思う様に模試の成績が伸びなかったことです。しかし最後の模試の結果を見て危機感を覚え、共通テストまでの期間 1 日中勉強したことで、本番は自分の中で過去最高の点数を取る事が出来ました。

- 浪人の1年間は常に自分の成績の伸びとの戦いで、特に共通テスト型模試で成績が伸びない時期はかなり辛かったが、その度に自分に何が足りないかを分析することで本番では直前の模試から140点以上伸ばして目標点を取ることができた。

#### ➤ 面接・小論文の対策方法

- 学校型推薦で受験したため、主に小論文と面接の練習に力を入れました。小論文の書き方の流れをつかむということが難しく、苦労しましたが、何度も何度もいろいろなテーマで小論文を書き、流れを少しずつつかんでいきました。
- 思うように面接練習で言葉が出せず、苦労した。それを乗り越えるためにたくさん自分の考えを文字に起こして、発想を広げることで言葉のレパートリーを増やした。
- 小論文を書く際に学校での対策だけでは不十分だと感じたので、テキストを購入し、自分の考えを書けるように何度も練習した。
- 小論文を書くのが苦戦したけれども、とりあえず思ったことを書くようにしたら文字数が増やせた。
- 共通テスト後に燃え尽きてしまったうえに、二次試験が面接だけだったため、明確なゴールが分からずやる気をなくしてしまった。10人以上の先生に面接練習を頼んで様々な視点からのアドバイスをもらうことで少しでもやる気を継続させられるようにした。
- 指定校推薦で受験したのですが、人に何かをアピールすることが苦手なので受験前に不安になりました。何度も面接練習を先生に頼んでやってもらったり友達にもやってもらったりして練習を重ねて何とか本番も話すことが出来ました。
- 受験内容にあった面接が初めてで、とても不安でした。学校で行われていた面接指導をたくさん行い、とにかく経験を積んで緊張感や不安をなくして当日に臨めるよう努めました。

#### ➤ 周囲の支えによって乗り越えた

- 思うように伸びずに勉強するのが辛い時期があったが、そういうときは親や先生に励ましてもらい、最後までやりきることができた。
- 受験によるストレスが大きく心身共に潰されそうになった。クラスメイトの明るい雰囲気、気持ちのリフレッシュができ乗り越えることが出来た。
- 周りの進学先が決まっていく中で不安になっていくことがあったけれど、最後まで一緒に切磋琢磨できる仲間と勉強を教え合うことで乗り越えることができました。
- 僕は勉強が出来る方ではなかったので、成績を上げるために勉強苦勞しました。わからないことが多く、その時は学校の先生だったり、友人、そして両親に相談しサポートしてもらったおかげで今があると思っています。周りの方々には本当に感謝しています。
- 悩みがあったら友人や先生に話を聞いてもらったりするなどしてなるべく1人で抱え込まないようにしました。
- 不安はあったが担当の先生に吐き出すことで安心できた。
- 浪人生ということで、後がもうない不安は1年間ずっとありました。ですが、その度に親や友人の応援があり最後まで頑張れました。
- 高校に入るまでまともな勉強をしてこなかったので基礎的な部分がすごく抜けていました。なので、里親さんと一緒に勉強したり、大学生の人に教えてもらったりしました。

#### ➤ 自分なりの工夫で乗り越えた

- 共通テスト直前1週間くらいはずっとプレッシャーで何も出来なかった。勉強したいけ

ど自分をコントロール出来なくて辛かった。気分が乗らないときは思い切って休んだり寝ることが大切だと思った。

- 合格という目標に向かって勉強するが、受験日が1年先とか10ヶ月先とか遠いとやる気が出ないため、小さな目標を立てコツコツ勉強した。
- 生活と勉強のバランスを取ることが苦勞しました。健康を害してしまえば勉強にも悪影響を及ぼしてしまうと思い、睡眠時間を一定に決め、守るようにしました。
- 受験中は精神的に不安定になることが多かったですが、散歩をすることで気分を紛らわせました。
- 勉強中、疲れて集中力が切れて中途半端な勉強をしていたせいで、学習できてない部分がありましたが、一定時間ごとに5~10分の休憩を入れたことで、改善できました。

### 3.2 受験に必要な支援

今後実施してほしい受験関連支援について最大3項目までの複数回答形式で質問した結果、最も多くの回答者が選んだのは「受験料の免除」(59%)であった。「給付型奨学金の対象者拡大・増額」・「ひとり親家庭への支援」(いずれも47%)も半数程度が選択している。

自らの受験期間にほしかった支援としては、受験料や模試代の減免、遠方の受験での交通費・宿泊費の支援、受験費用に対応した奨学金などが挙げられた。また、塾費用の補助のほか、塾に通うことができないことによる学習指導や受験関連情報の不足をカバーするような支援を求める声もあった。

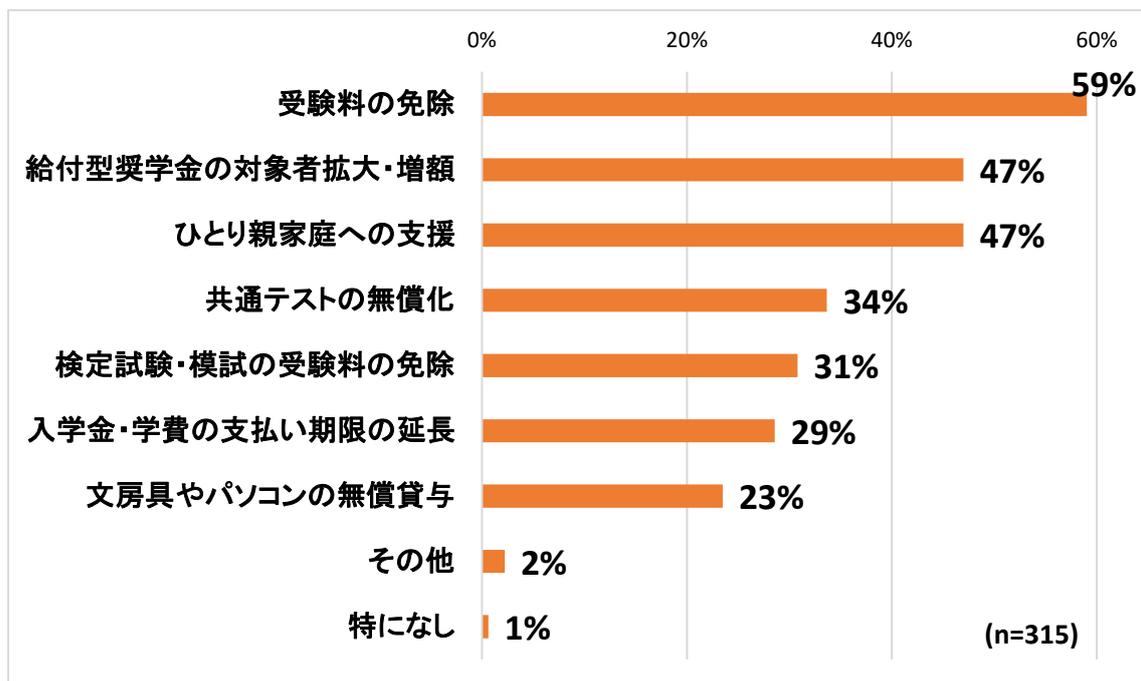


図7 今後実施してほしい受験関連支援（最大3つまでの複数回答）

表 2 受験期間にほしかった支援  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- **受験料や模試代の支援**
  - ・ 大学受験料の免除・減額。
  - ・ 受けた大学の受験料の分の給付を受けたかった。
  - ・ 何度も受験する模試の受験料が負担だったので、補助がいただければ助かると思います。
  - ・ 受験終盤になってくると月に 3 回ほど模試が続いて、勉強のこともお金のことも考えていて母親に申し訳ない気持ちになりました。
  
- **交通費・宿泊費**
  - ・ 受験当日の受験校までの新幹線代や宿泊費の支援。
  - ・ 受験生向けの交通費の割引があるとちょっと進路の幅を広げられるのではないかなと思いました。
  - ・ 私は学びたい大学が都会にあったため、自宅から受験場所までの交通費が受験料よりもかかってしんどかったので、交通費支援があればいいと思った。
  - ・ 地方からの受験生が泊まれるドミトリーのようなものがあればとても便利で助かるだろうと考えた。
  
- **受験費用に対応した奨学金**
  - ・ 高校在学中の進学に向けた奨学金。
  - ・ 社会的養護下の人たちへ高校在学中から進学に向けた奨学金があるといい。
  - ・ 入学金や入学後の費用に対する奨学金に加えて、受験期の塾の授業料や参考書にかかる費用に対する奨学金制度があればいいなと思いました。
  - ・ 手続き上仕方の無いことだとは思いますが、複数の奨学金を申し込む際に手続きが煩雑で受験勉強の時間が少なくなってしまったので、もう少しやり易くなれば良いなと感じました。
  
- **塾・参考書に係る支援**
  - ・ 塾費用の支援。
  - ・ 塾の費用の一部免除。
  - ・ テキストを買うお金が欲しかった。自分の学力と受験状況に合わせた本に切り替えたかった。
  - ・ 赤本を買うための 2000 円の図書カードが貰えれば本当に嬉しかったと思います。
  
- **学習支援、受験関連情報の提供**
  - ・ 塾に通わなくても学校の先生以外からわからないところを教えてもらえる環境。
  - ・ 無料で勉強をおしえてくれる支援があればよいとおもいました。
  - ・ 面接対策の講座など。
  - ・ 学びたいことが学べる大学のリスト。
  - ・ 学習支援の充実や志望校選び、奨学金の相談ができる場所があると嬉しかったです。
  - ・ 志望大、志望学部の推薦対策のために、医学部の在學生や卒業生に相談したり、アドバイスを貰いたかった。
  - ・ 総合型選抜では面接があり、私は面接がとても苦手なので、様々な受験を経験された先輩からお話を聞けるような場を設けていただけるような支援があると、とても心強かつ

たかと思います。

➤ その他

- 併願私立の入学金の支払期限延長。
- 兄弟が多いので、勉強スペースを得られる支援があれば嬉しいです。
- 出願する際の簡易書留や速達のお金の手助け。
- 勉強しながら手軽に食べれるものがあればと思う。
- Wi-Fi 環境、パソコン。

### 3.3 2025年4月以降の生活

回答者の多くは、進学後の経済的な面について不安を感じている。進学後に学費が支払えずに退学してしまうという点については約7割が不安と回答している（「とても不安」(20%)と「少し不安」(52%)の合計）。さらに、進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞るという点については約9割が不安と回答した（「とても不安」(32%)と「少し不安」(54%)の合計）。

進学後にアルバイトで得たい毎月の収入としては、「5～10万円」(49%)、「3～5万円」(30%)との回答が多い。学費や生活費などお金に困った場合の相談先では、「親や兄弟、親戚」(78%)が約8割と特に多く、「大学や専門学校の学生課・教員」(24%)、「友人」(19%)が続く。「相談する人はいない・相談しない」との回答は4%であった。

現在抱えている悩みや困りごととしては、授業料、教材やパソコン、通学費、生活費等、進学後にかかるお金を払い続けられるのかという不安が多く挙げられた。学業とアルバイトの両立、大学での勉強や人間関係の不安を伝える回答も複数あった。また、親が必死に働くことで給付型奨学金が少なくなることを懸念する回答もあった。

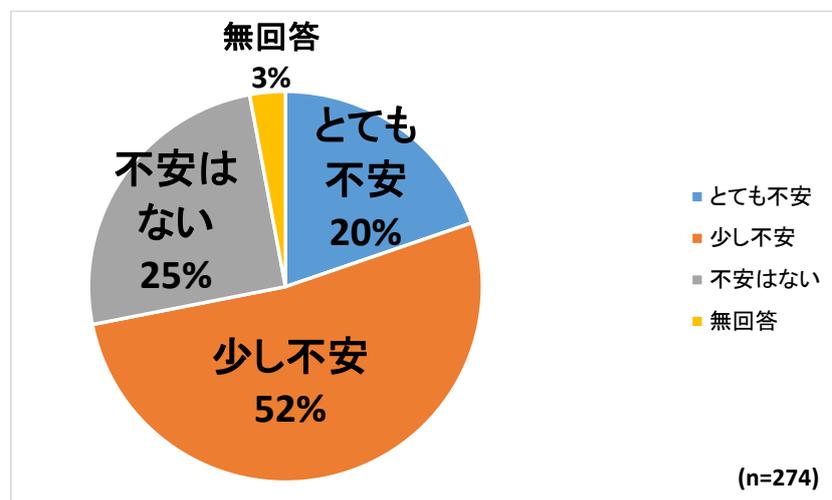


図 8 進学後に学費が支払えずに退学してしまうという不安<sup>2</sup>

<sup>2</sup> 2025年4月以降の進路で、「大学」・「短大・3年制大学」・「専門学校」のいずれかと回答した方が対象。

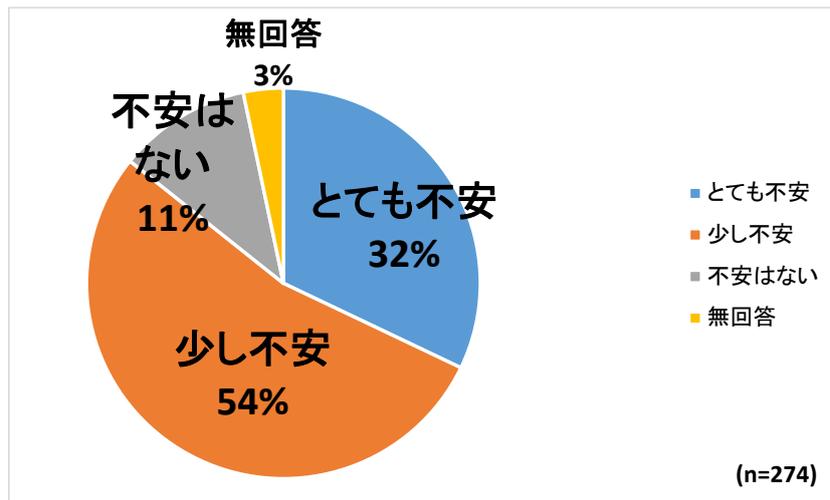


図 9 進学後に学費や生活費のためのアルバイト等で勉強が滞るという不安<sup>3</sup>

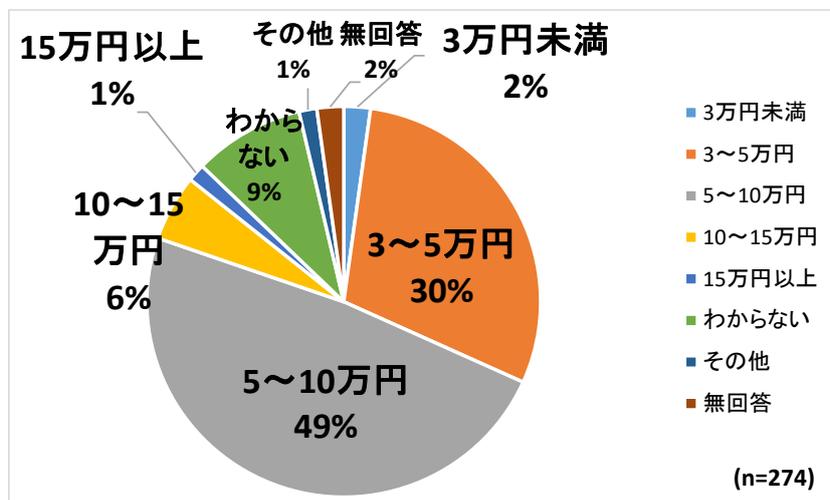


図 10 進学後にアルバイトで得たい毎月の収入<sup>4</sup>

<sup>3</sup> 2025年4月以降の進路で、「大学」・「短大・3年制大学」・「専門学校」のいずれかと回答した方が対象。

<sup>4</sup> 2025年4月以降の進路で、「大学」・「短大・3年制大学」・「専門学校」のいずれかと回答した方が対象。

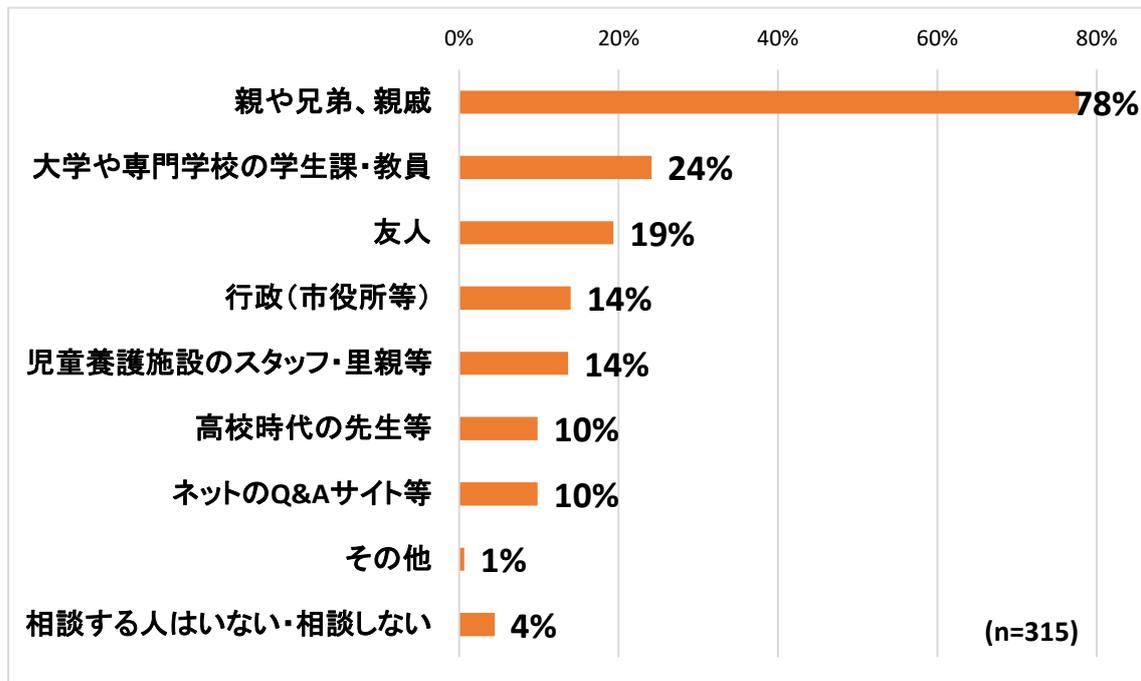


図 11 学費や生活費などお金について困った場合の相談先（複数回答）

表 3 現在抱えている悩みや困りごと  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **大学等の授業料**

- これからの学費をしっかりと自分で支払えるかという点です。
- 授業料を親に負担がかからず払えるかが心配。
- 今奨学金やバイトでお金を集めているけど、授業料が高すぎて払い切れるかどうかすごく不安。
- 私は、日本学生支援機構の授業料減免制度で、授業料の免除を受けていますが、免除額を超える分の費用や、施設費等の負担が不安です。
- 進学後、国公立でも私立でも授業料の値上げが話題となっているため今以上に学費が上がるのではないかと不安です。
- 大学の費用を払いきれるのか。とても不安です。奨学金もなかなか貰えず、大学への楽しみより金銭面での不安が大きいです。
- 薬学部の学費が 1200 万円なのでそれに対しての不安は絶えない。

➤ **授業料以外の費用**

- iPad やパソコンなどの通信機器を揃えなければならず、大学の要求に合ったものだと高額になってしまうこと。
- パソコン必須のため生協で購入予定でしたが、本体だけで 30 万円を超えることを知り、あまりに高額なために経済的負担が大きすぎます。
- 大学に入学してから教科書や物品にかかる費用が不安。看護学なので、課題や実習が多く、並行してアルバイトを入れることができなそう。
- 病院実習が始まる前に免許を取らなければならなかったり、白衣の費用などこれからの費用に対する不安。
- 学校が遠いので交通費が高く払えるか心配。

- これから生活して行く上でバイトなどをしては行くつもりなのですがやはり仕送りなどもないと思うので、生活のお金が足りるか心配です。
- 仕送りはしてもらえないため初めての一人暮らしに加え大学生活を奨学金とバイトで稼いだお金で足りるのかという悩み。
- 大学生活で一人暮らしするにおいて、食費や光熱費など、限られたお金の中でやりくりしていけるのか少し不安です。

#### ➤ 学業とアルバイトの両立

- アルバイトと学業を両立できるか不安。
- 一番下の子ども高校生になって三人兄弟でこれからが一番お金がかかる四年間になり、いつ金銭問題で学校に通えなくなってもおかしくないのバイトと勉強の両立をととても不安に思っています。
- 高校では禁止されていたので、大学ではアルバイトを始める予定です。ただ、自宅から学校が遠いことと、環境が大きく変わることから、両立ができるか不安があります。
- 学業とバイト。バイトが初めてだから。

#### ➤ 大学での勉強や人間関係、一人暮らしなどの不安

- 周囲の学生のレベルが高そうで、講義についていけるか不安。
- 大学に進むにあたって講義の進行方法など、高校と違うのでついていけるか少し不安です。
- jasso の奨学金を給付して貰える予定だが、成績が上位レベルじゃないと継続して貰えないので、大学のテストが自分に出来るのか、どのくらい難しいのかが分からなくて不安。
- 大学進学後高校に比べてより専門的な内容の勉強についていけるのか。
- 進学後の勉強についていけるかわからない。友達ができるかどうかや一人暮らしが不安。
- 私立大学に通うので友達と金銭感覚が合うかどうか。
- 進学して、勉強や友人関係がうまくいくかどうか。
- 一人暮らしがしっかりできるのか、友達や先輩との関係をしっかり築けるのか。

#### ➤ 浪人生活

- これから浪人する予定ですが、浪人の費用によって経済的に苦しくなることが不安です。
- 親と相談した結果予備校に通わせてくれることとなったが、自身のせいでこのようなことになってしまい、またそれでも進学したいという夢を応援してくれる親の優しさが心に沁み、申し訳なさでとてもつらい。
- 浪人する事になったが、塾や予備校に通えない為、周りに浪人生がおらず、情報収集も不安です。
- 一年間の予備校に通っての浪人にかかる費用をバイトでまかなえるかどうか。また、バイトと受験勉強の両立が上手くできるかどうか。

#### ➤ その他

- 大学で一人暮らししますが、親に負担かけたくないです。給付型奨学金はありますが、親が必死に働くと給付が下がる。
- 学力が高い大学に進学出来なかったの、就職への影響が不安です。

### 3.4 自身の気持ちと変化

本調査では、受験期間を終えた受給生に自身の気持ちについて質問している。これらの質問項目については、2024年6～7月の奨学金受給決定時にも同様の内容を聴取しており、その結果についても併せて掲載する。自身の気持ちについては、8つの質問に対し、それぞれ4段階で回答してもらっている（「とてもそう思う」/「まあそう思う」/「あまりそう思わない」/「全くそう思わない」など）。

まず、受給決定時と本調査の両方に回答した314名のグループを対象に回答結果を比較した。その結果、ほとんどの質問で、受給決定時と比べて前向きな回答の割合が低下していることが分かった（表4表4）。

次に、回答者一人一人の回答の変化に着目した。8つの質問項目全体で見ると、ポジティブな変化をした回答者が約3割、ネガティブな変化をした回答者が半数超となっている（図20図20）<sup>5</sup>。

この1年での自身や気持ちの変化を直接尋ねた質問では、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」（61%）が約6割、「人に相談したり、助けてもらったりすることが増えた」（43%）が約4割と、前向きな変化があったとする回答者も一定程度いる（図22図22）。

表4 各質問への前向きな回答の割合

	第1回 （受給決定時）	第2回 （本調査）	差分
周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	86%	76%	-10
自分には夢や目標を叶える力があると思うか （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	90%	87%	-3
自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか （「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」）	63%	52%	-11
自分の将来に不安を感じているか （「あまりそう思わない」・「全くそう思わない」）	26%	27%	+1
大人になるのが楽しみか （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	75%	66%	-9
今の社会は公正だと思うか （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	38%	31%	-7
困っているとき、周囲の大人や友人が助けてくれると思うか （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	91%	90%	-1
困ったときに人に相談することはどのくらいあるか （「必ず相談する」・「ときどき相談する」）	78%	71%	-7

<sup>5</sup> 各質問に対する4段階の回答を、最も前向きな回答を「4」として、「1」～「4」で得点化し、第1回（受給決定時）と第2回（本調査）の得点の比較を行った（例：「自分には夢や目標を叶える力があると思うか」に対して、「とてもそう思う」→4、「まあそう思う」→3、「あまりそう思わない」→2、「全くそう思わない」→1）。同一の回答者で、第1回に比べて第2回の得点が上昇した場合に、ポジティブな変化があったとしている。

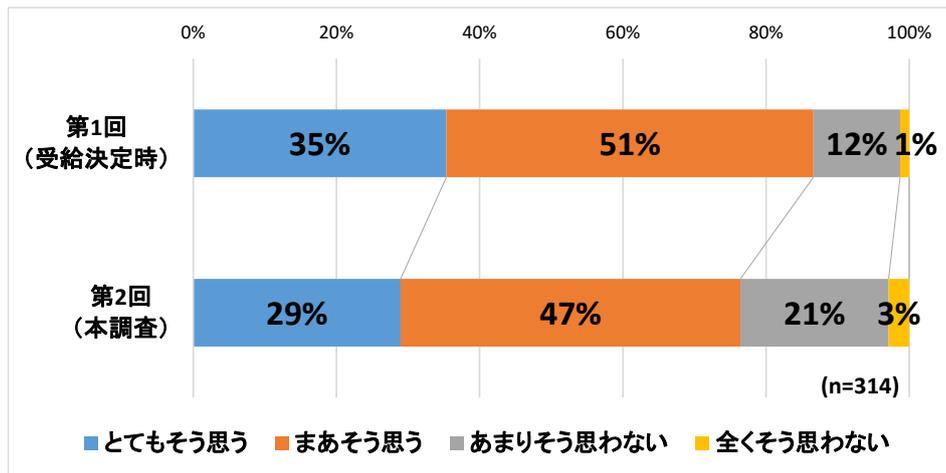


図 12 周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか<sup>6</sup>

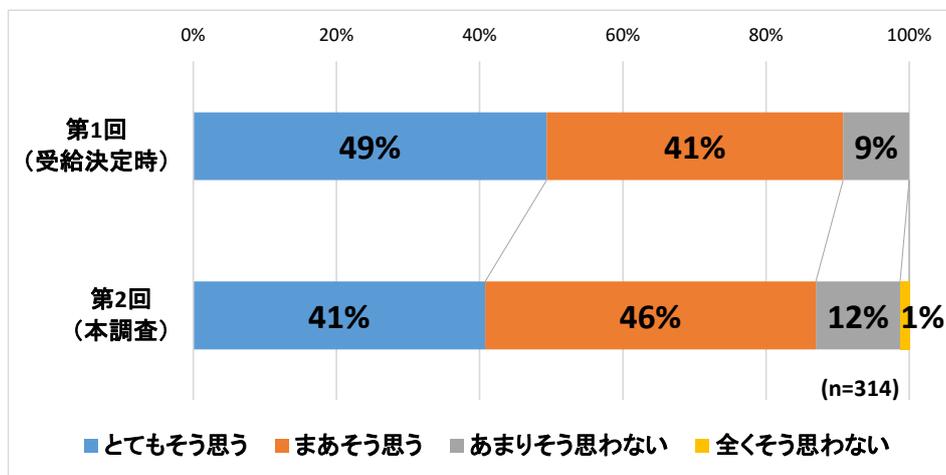


図 13 自分には夢や目標をかなえる力があると思うか<sup>7</sup>

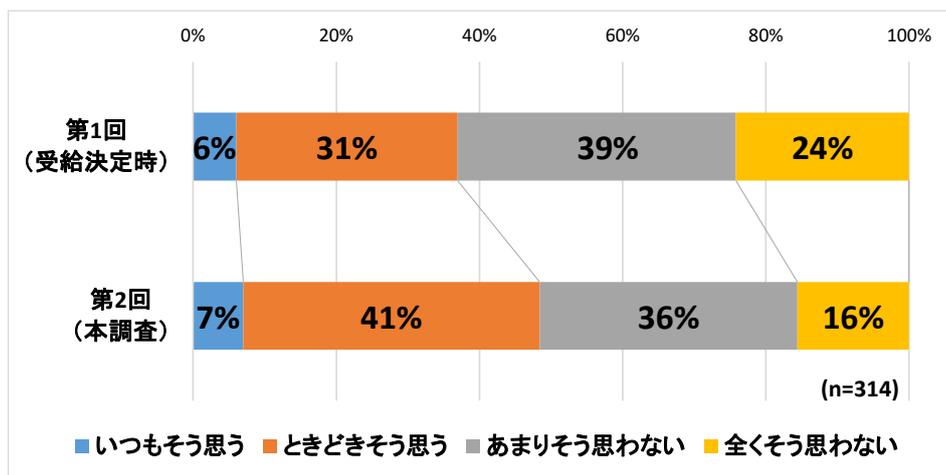


図 14 自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか<sup>8</sup>

<sup>6</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>7</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>8</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

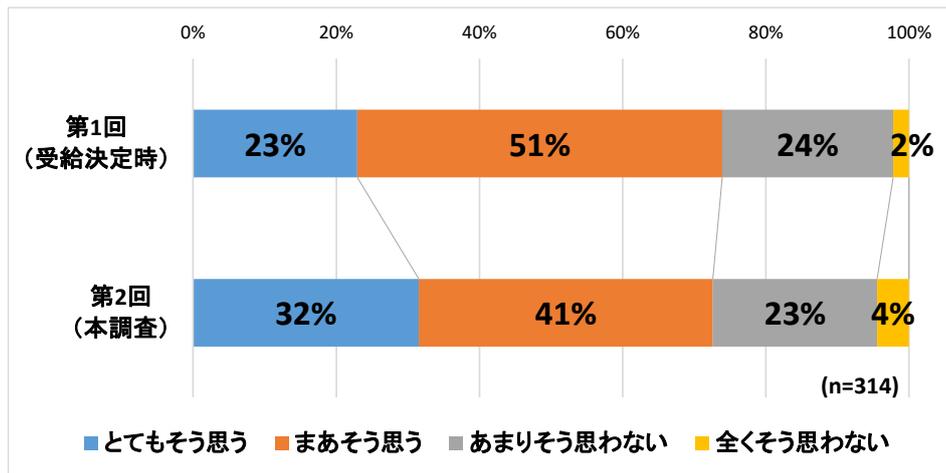


図 15 自分の将来に不安を感じているか<sup>9</sup>

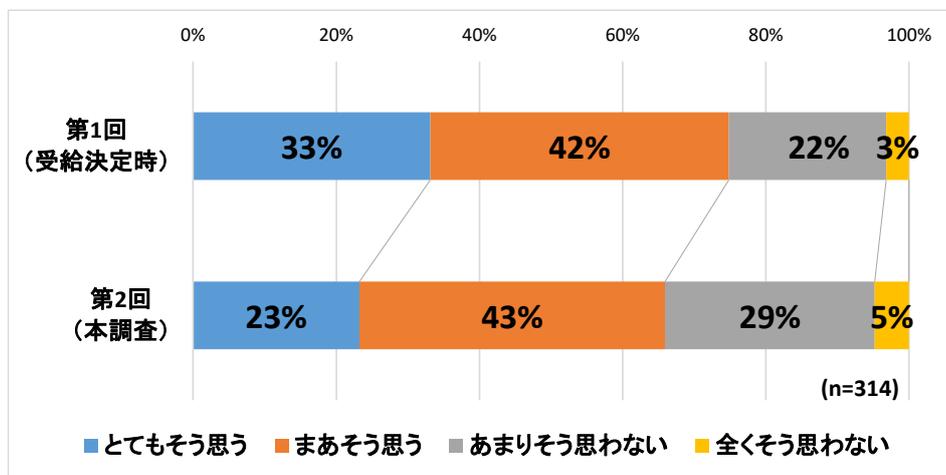


図 16 大人になるのが楽しみか<sup>10</sup>

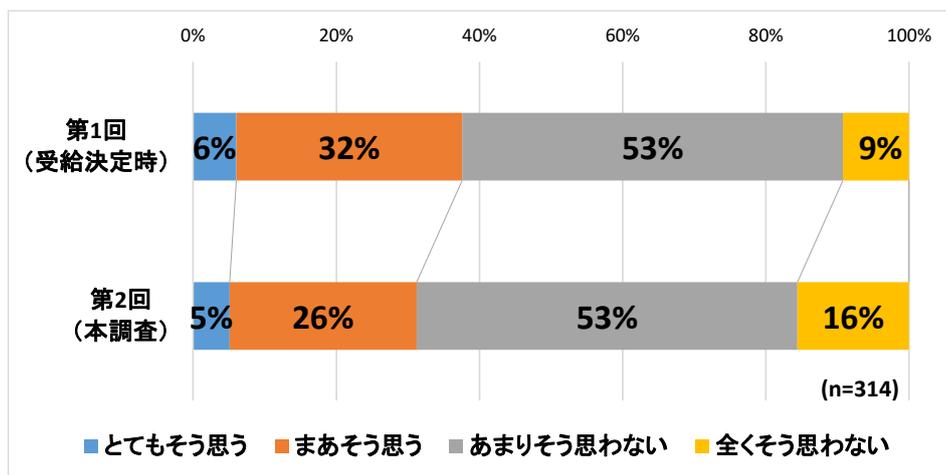


図 17 今の社会は公正だと思うか<sup>11</sup>

<sup>9</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>10</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>11</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

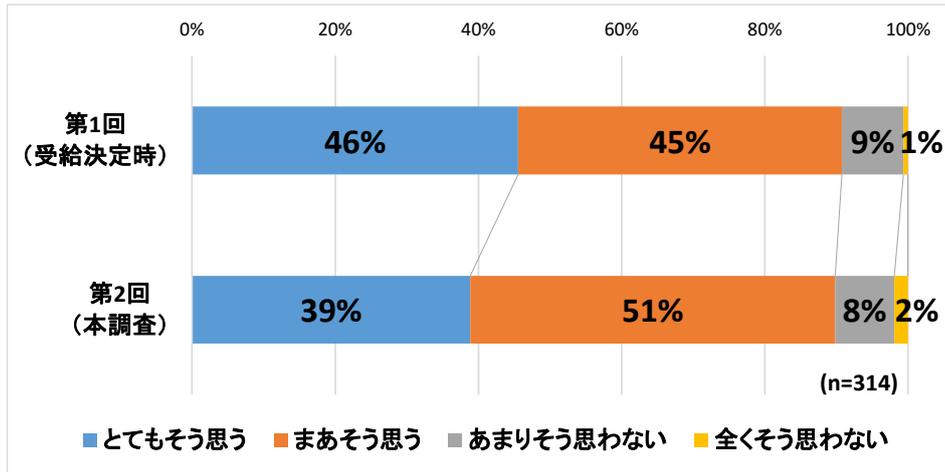


図 18 困っているとき、周囲の大人や友人が助けてくれると思うか<sup>12</sup>

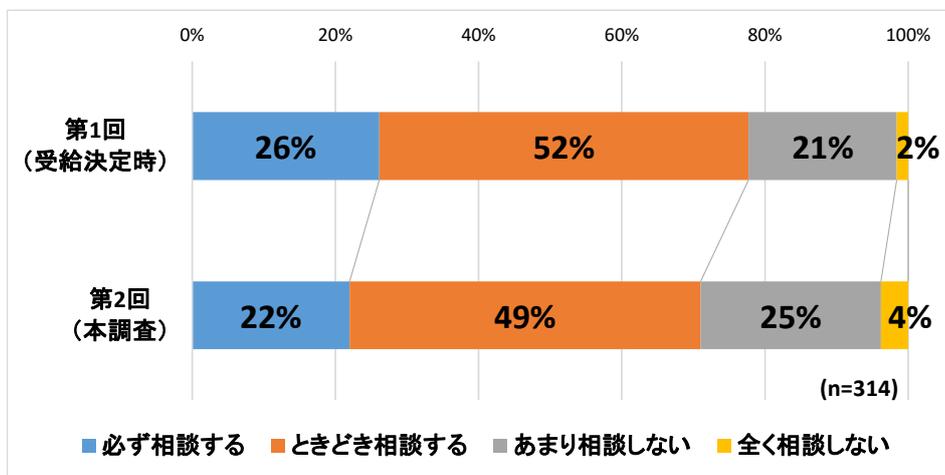


図 19 困ったときに人に相談することはどれくらいあるか<sup>13</sup>

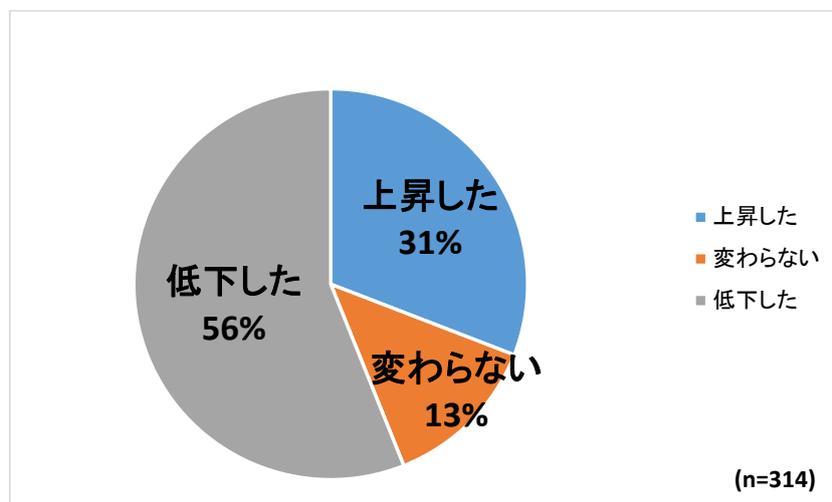


図 20 受給決定時と比べた回答の変化 (8つの質問項目合計)<sup>14</sup>

<sup>12</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>13</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>14</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

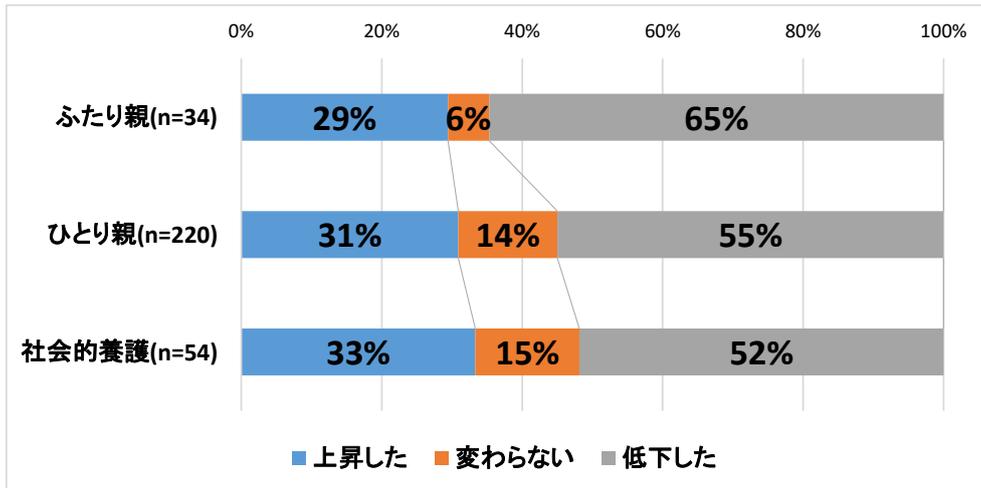


図 21 【世帯種類別】 受給決定時と比べた回答の変化（8つの質問項目合計）<sup>15</sup>

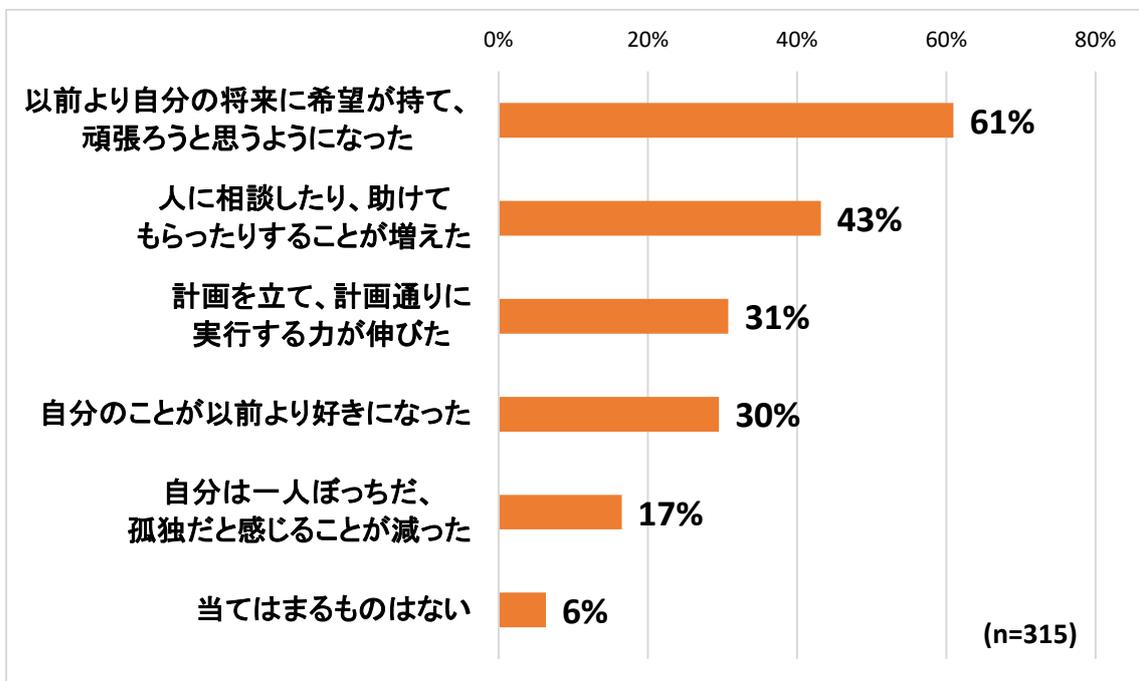


図 22 この1年での自身や気持ちの変化（複数回答）

### 3.5 受験をしてよかったと思うこと

「受験をしてよかったと思うか」という質問に対しては、約8割が「とてもそう思う」（78%）と回答した。「まあそう思う」（21%）と合わせると、ほぼすべてが受験をしたことを肯定的に捉えている。

受験をしてよかったと思うことの内容としては、将来の夢の実現や、選択肢の広がりやを挙げる回答が多い。また、受験を通して努力の大切さを学んだ、自分に自信が持てるようになった、自分に対する理解が深まったなど、自らの様々な成長を感じたことを挙げた回答者も多かった。周囲の人に支えられていることに気がついた、人間関係が広がったといった、他者とのつながりを伝える声もあった。

<sup>15</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

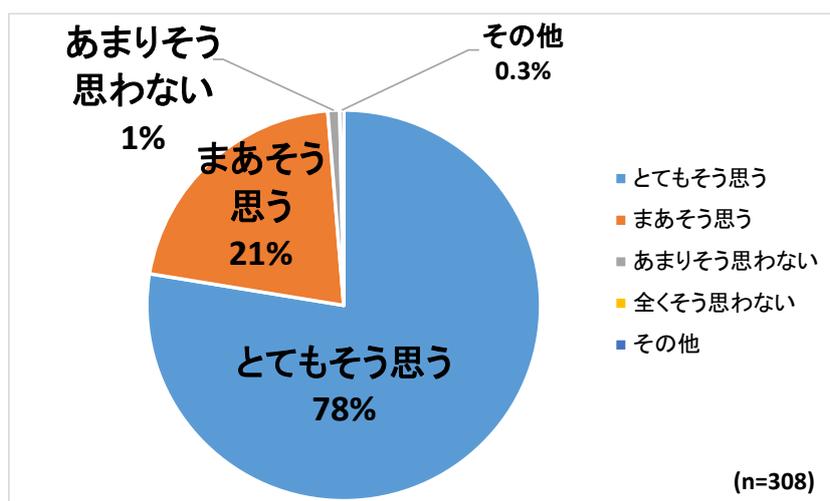


図 23 受験をしてよかったと思うか<sup>16</sup>

表 5 受験をしてよかったと思うことの具体的内容  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- **将来の夢に近づくことができた**
  - ・ 医師になりたいという夢があったため、受験をできて医学部に合格できたことがよかったと思う。
  - ・ 管理栄養士という将来の夢に近づけるように学べるから。
  - ・ 教師になるために突破しなければならないから。将来の夢を叶えるために大学に進学して免許をとりたいから。
  - ・ 自分のなりたい職業に近づいた。希望の学校には受験できなかったが、目標の科には入れたのでスタートライン立てて頑張ろうと思っている。
  - ・ 自分がなりたい職業につくための専門的な学校なので、そこで大学生活を終えて自分がどんな人間になるか楽しみだから。
  - ・ 保育士になるという夢への第一歩へとつながったため。
- **将来の選択肢が広がった**
  - ・ 人生の選択肢を増やす機会を得られたから。
  - ・ 大学進学はその先にある人生を豊かにしてくれると信じています。
  - ・ 将来に希望が持てるようになったし、将来やりたいことの幅が広がった。例えば、社会貢献で見ても、高卒程度で会社に勤めた場合と、大卒で社会に出た場合とでは、社会貢献の方法やその規模が異なると思います。高卒で得られる経験やスキルも十分に価値がありますが、大卒という学歴を得ることで、より専門的な知識を活かしたり、リーダーシップを発揮したりできると思います。
  - ・ 大学に進学したことで就職しやすくなると思うので、将来が少し明確になると思う。
- **これからの生活を楽しみに感じる**
  - ・ これから、より専門的な知識を学ぶことができるという楽しみが出来たから。
  - ・ これからの大学生活を考えた時、どんな4年間になるのだろうかとうわくわくしてる時。
  - ・ 大学や一人暮らしについて調べる時ワクワクしながら期待するため。

<sup>16</sup> 受験をしたかどうかとの質問に「はい」と回答した方が対象。

- 大学に進学することでいろいろな価値観の人に出会うことができると思うからです。

➤ **努力の大切さを学んだ**

- 努力の大切さや裏切られないことを改めて感じさせて頂きました。
- 今まで、長期的に本気で取り組むことができていなかったのも、大きな目標のために少しずつ努力する経験を得られて良かったと思いました。
- 努力をする過程と経験を手に入れたから。
- 志望校合格という目標に向かって努力する力をつけることができたので、受験をしてよかったと思っています。「合格」の文字を見た時は特に達成感がありました。
- 努力する大切さを学べたのと、赤本を解いている時に勉強したところが出ると勉強して良かったとおもえて、勉強が前よりも好きになれたから。
- 辛いことにも真正面から努力する力が身についたと思うからです。これは大学受験だけでなく、これから社会人の生活などでも非常に重要な能力だと思います。

➤ **自分に自信が持てるようになった**

- 第一志望の大学を決めた時は到底叶うはずもなかった目標でしたが、自力で挑戦して、第一志望に合格ができたことで、自分に自信が持てるようになったから。
- 合格がわかるまではずっと不安でしたが合格がわかりホッとしました。ギリギリまで志望校をどこにするかを迷いましたが、その大学に決めて合格ができた自分に自信が持てました。
- 最後まで頑張って取り組み、その頑張りが結果に表れたため、この先何かあっても自分の努力を信じる事が出来ると思うからです。
- これから何かを勉強したいと思ったときに計画を立て、勉強できる習慣を作り、効率的に勉強することができるという自信を持てた。
- 前期試験不合格だったが、最後まで諦めずに頑張り続けることができ、自分はどんな状況でも最大限の努力が絶対にできるという自信がついた。

➤ **自分と向き合えた、自分に対する理解が深まった**

- 自分自身としっかり向き合うことが出来たから。
- 自分に足りないものがよくわかった。ストレスが自分にかかった時、自分の体調がどうなるのかを知ることが出来た。人への相談の仕方が分かった。
- 自分の性格(どんなときに緊張するか、どんな風に動揺するのかなど)や苦手な科目・分野を知る機会となったため。
- 受験は改めて自分のダメなところに気づけたきっかけにもなれたし、今回受験で学んできた学力知識以外にも精神の安定を調節する仕方を、また大学でも社会に出ても活用していくことができると思ったからです。
- 受験を通して、自分の性格や特徴、考え方などを知ることができ、追い込まれた時などの対応の仕方を自分なりに見つけることができたからです。また、進学先が見つかったことで今後も学び続けられることが嬉しく思います。
- 受験の中でも特に受験勉強を通して、大きく成長出来た部分があったこと。私は受験勉強で、目標を実現させることの難しさや厳しさを知った。しかし、自分の能力を把握し自分が何をすれば学力を伸ばせるかを考えることで、自分と向き合う力を伸ばすことができたことは、私にとって良い糧となった。この力は、今後の大学での能動的な学びにも繋がるし、社会に出た時に自分の持ち味を活かして効率よく仕事をこなせる武器にも

なると感じる。

➤ **自分自身の様々な成長を感じた**

- ニュースを見ている時に分からない言葉が出て来た時に調べる癖がつき、自分の考えを持つようになったから。
- 三月まで受験を続けたことで精神的な耐久性が著しく向上した。
- ある程度実力がついたことと、受験の大変さを身をもって体験できたことです。同じ施設に住む年下の子も一般受験を考えているため、自分の経験を活かしてアドバイスできると思うからです。
- モヤモヤしなくて済みました。受験をせず後悔するのは嫌だと感じていたため、受験の機会を得られたこと自体がとても良かったです。受かってからは前向きに物事を考えられるようになりました。
- 受験をすることで、ひとつのことに向かって、1年という長い期間頑張る粘り強さ、前向きさを持ってました。以前は、何事もどうせ私ならうまくいかないだろうとネガティブ思考を持っていましたが、今はとにかく頑張ってみなきゃ分からないと考えられるようになりました。また、大学入学後に頑張りたいことを考えるようになったり意欲的に取り組むようになったと思います。

➤ **周囲への感謝の気持ちが生まれた、人間関係が広がった**

- 身近な友達とともに、将来に向けた精一杯な努力をできたこと。
- 不安から始まった受験でしたが、良い結果を得られて自信にも繋がり、将来の目標を明確にすることができました。また、自分を取り囲む人たちが親身になって考え接してくれたことで、強いつながりを感じる事ができたからです。
- 受験勉強の中で自分を律さなければいけない時、計画や生活習慣の大切さや、周囲の人々にいかに自分が助けられて今生活し、勉強できているのかを以前よりも実感することができたからです。これからもこの感謝の気持ちは忘れないようにしようと思うようになりました。
- 自分の一つの目標を達成するために努力し、またそれを実現し、自分に自信がついたこと。周りの人にたくさん助けられ、恩返ししたいという新たなモチベーションができたこと。
- 浪人の1年間の自分の頑張りが間違いではなかったと証明された時、生まれて初めて自分で自分のことを褒めてあげたいと思った。また、飛んで喜ぶ母や兄の姿を間近で見ることができた時、19年間の人生で1番幸せを感じました。この2つの気持ちは受験を通してしか経験できなかったと思うので、僕は受験をして良かったと心から思います。
- 人と関わる機会が増えたこと。面接練習や受験などでは先生方との関わりが増えたり、友達と進路について話すことが増えたから。
- 自分の第1志望校には合格することができなかったが、志望校を目指し頑張る過程で沢山の人の支えてもらい、切磋琢磨し合える友達、仲間が受験を通して出来たこと。

### 3.6 高校生活の満足度、勉強、家庭の経済状況

高校生活の満足度については、「とても満足している」が49%、「まあ満足している」が39%と全体の約9割が満足しているとの結果となった。

「PCを持っているか」では、「自分専用PCあり」との回答が、第1回（受給決定時）の29%と比べて本調査では48%に増加している。受給生の保護者を対象としたアンケートでは、GS奨学金の用途として大学等で使うパソコンの購入を挙げている回答者も多く、PC所有率が上昇した理由の一つだと考えられる。

家庭の経済的な状況については、苦しいと感じている回答者が約8割であり（「大変苦しい」（27%）と「苦しい」（51%）の合計）、第1回調査よりもわずかに増加していた。

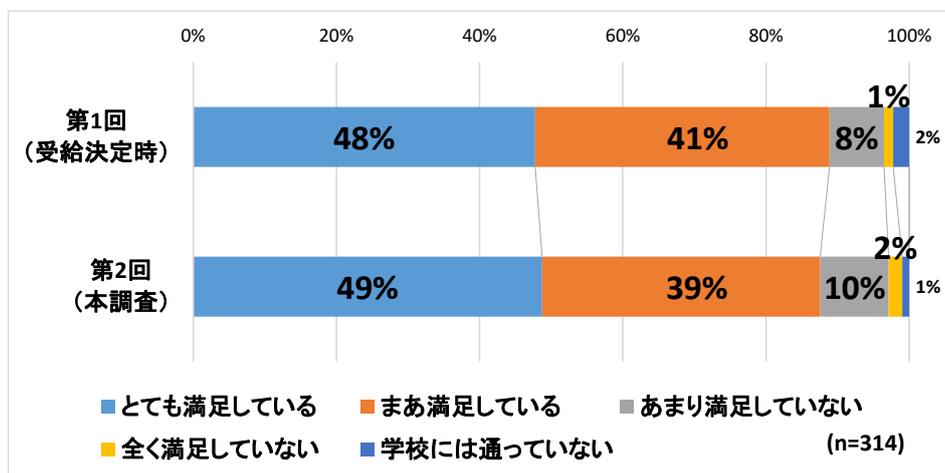


図 24 高校生活の満足度<sup>17</sup>

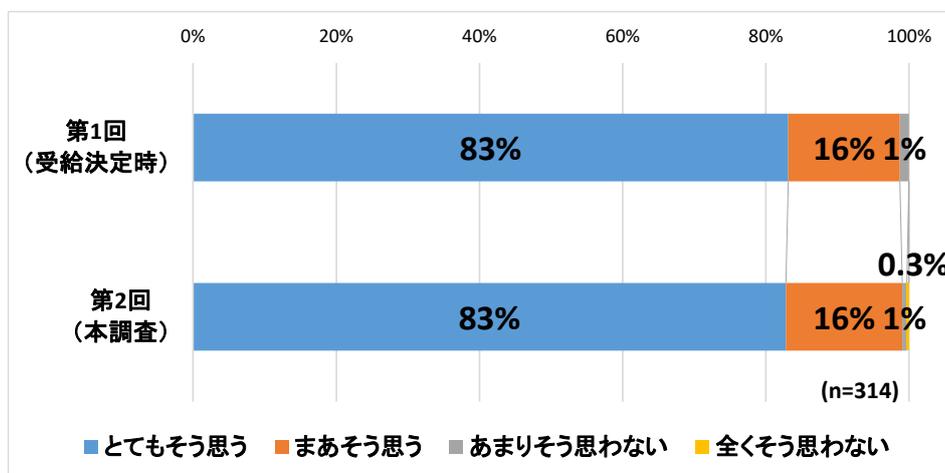


図 25 勉強を頑張りたいと思うか<sup>18</sup>

<sup>17</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>18</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

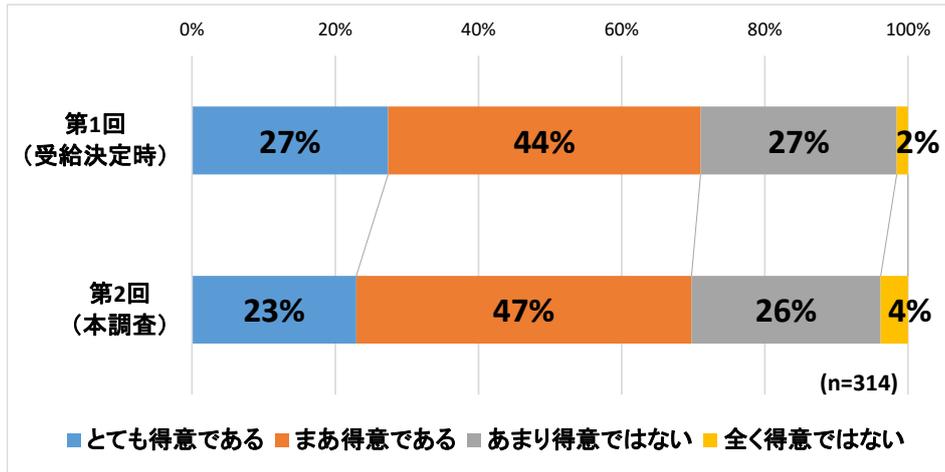


図 26 目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意か<sup>19</sup>

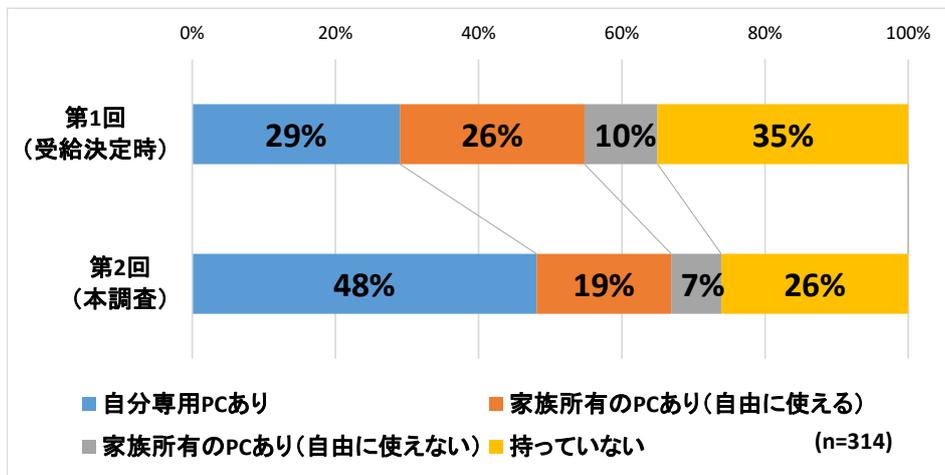


図 27 PCを持っているか<sup>20</sup>

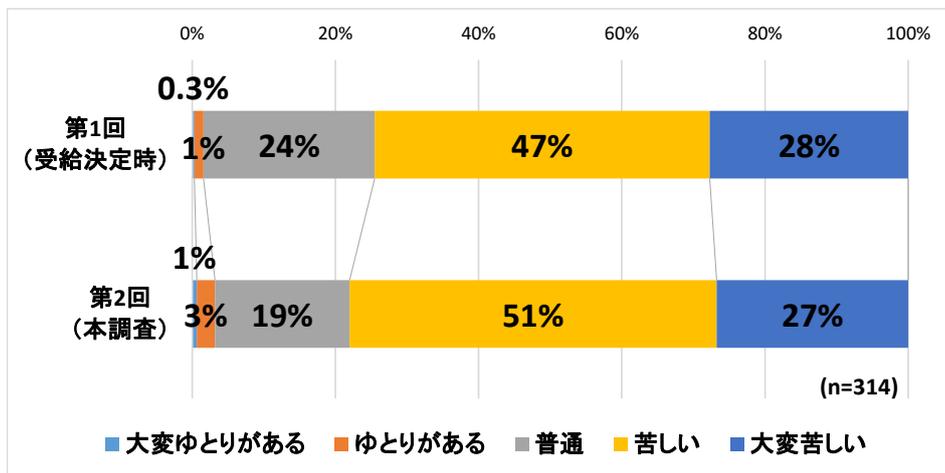


図 28 現在の家庭の経済的な状況をどのように感じているか<sup>21</sup>

<sup>19</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>20</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

<sup>21</sup> 2024年6～7月の奨学金受給決定時の調査と本調査の両方に回答した方が対象。

### 3.7 GS 奨学金と受給生伴走支援

ほぼ全ての回答者が、GS 奨学金は受験の後押しになったと回答した。受給生に文房具等を送る応援パックや受験関連情報の配信といった伴走支援に対しても、「とても満足」・「まあ満足」との回答が多数を占めた。

支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージでは、給付型奨学金という支援に対する感謝の声が多数寄せられた。進学を諦め、就職も考えたが、夢を諦めなくてよかった、早い時期からの支援で安心感を得ながら勉強できた、精神的にも身体的にもきつかった時期に心が救われたといった回答があった。また、今後も、経済的に苦しい子どもたちのために奨学金を続けてほしい、将来は受けた支援を社会に還元したい、支援をする側に回りたいといったメッセージも多く見られた。

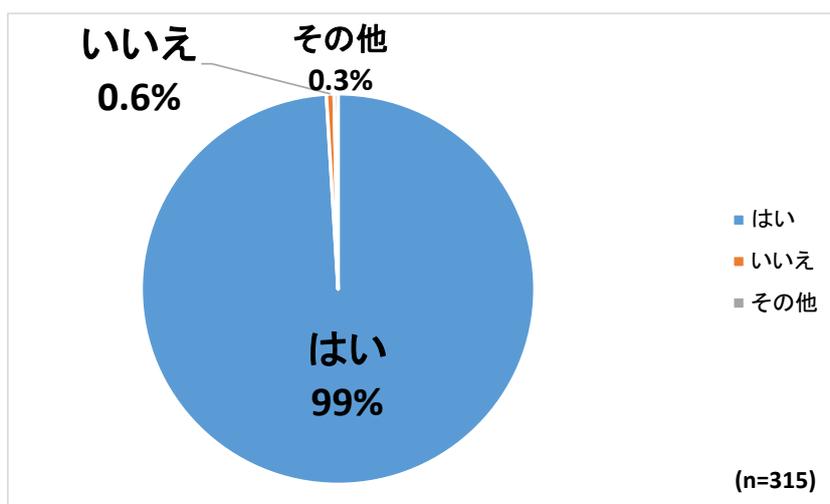


図 29 GS 奨学金は受験の後押しとなったか

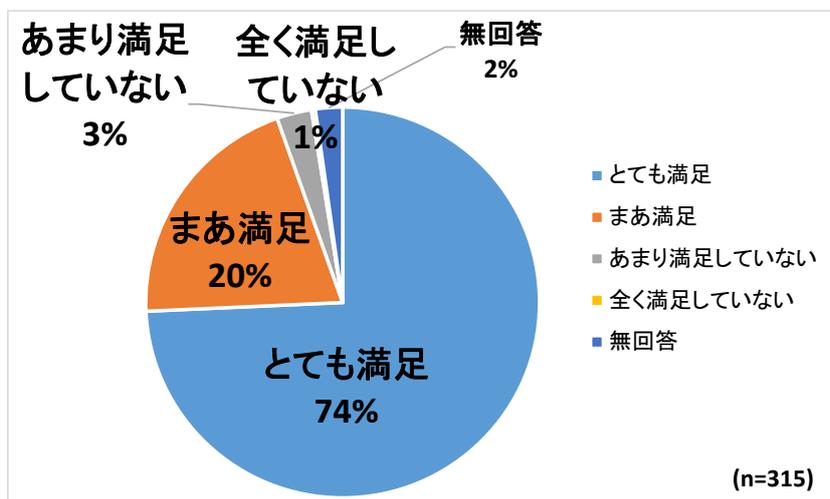


図 30 応援パックの満足度

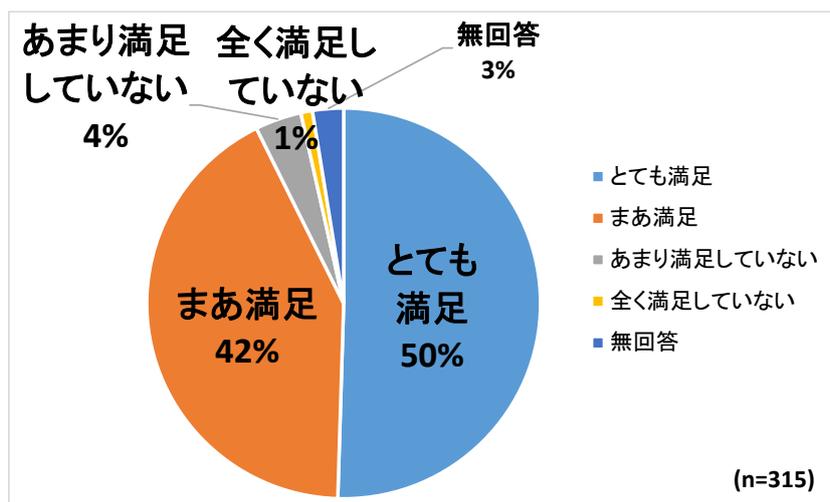


図 31 LINE での情報配信の満足度

表 6 支援企業のゴールドマン・サックスへのメッセージ  
(自由回答、一部抜粋・引用者にて編集)

- 身近に経済面での拠り所がなく、不安が大きかったのですが、ご支援のおかげで、将来を真剣に考え、本気で夢を叶えにいこうと思えるようになりました。本当にありがとうございます。これからの人生様々なことにチャレンジし、貴重な経験を積み重ねていきたいと考えています。
- 高校三年生になった時点で、受験の費用や大学でかかる費用が予想より多いことがわかり、今まで以上に親に負担をかけることが心配でした。大学進学を諦め、就職も考えました。しかし、いただいた奨学金を活用して安心して、集中して大学受験をすることができました。第一志望の大学に合格した今、夢を諦めなくてよかったと思っています。これからも支援を受けたことを常に心の中に置き、勉強を頑張ろうと思います。
- お金の支援だけでなく、受験期に文房具の支給や、温かいメッセージを本当にありがとうございました。精神的にも身体的にもキツかったあの時期に心が救われました。私も将来ゴールドマン・サックスの方のような温かい素敵な大人になれるよう、大学4年間そして社会に出ても、誠心誠意ひたむきに努力していきます。
- 高校3年の早い時期から支援をしてもらって、安心感を得ながら勉強できて嬉しかったです。夏に支援金をもらって、早くから模試を受けられたのでモチベーションも保てて良かった。すごくよい文房具が嬉しかったです。
- 支援してくださりありがとうございました。大学入学前に支援して頂けるという事もあり、受験料や入学に向けての参考書等に使うことができ、とても助かりました。今回支援して下さった経験を忘れずに、大学では勉学に励みます。
- 支援して頂き本当にありがとうございます。これからの寮生活の中でお金のありがたみをひしひしと感じることも沢山あると思います。その度に支援していただいていることに感謝して生きていきたいです。
- 自分は施設で育って大学に進学するため、お金が足りないことがすごく不安でした。それでも御企業からの支援で出来ることの幅が広がり助かりました。ありがとうございます。
- 受験期のサポート、また受験後のパーティーへのご招待ありがとうございました。受験中は文房具やメッセージによりとても励まされましたし、パーティーでは奨学金制度など様々な情報が知れました。このご恩を忘れずに、夢に向かって頑張ります。
- 奨学金という支援をしてくださりありがとうございました。奨学金を受給できたことで体調が悪いにもかかわらずひとり親のためパートをしてくれた母の負担を減らすことができました。

- 大学受験にあたり、ゴールドマン・サックスの奨学金を受給することができて、非常に助かりました。大学受験の受験料は非常に高く、簡単に払えるものではありませんが、奨学金のおかげで少しでも家庭の負担を減らすことができて良かったです。また、奨学金に限らず、文房具などを初めとした支援もしていただいたことで繋がりも感じられて良かったです。
- この奨学金で受験への気持ちが大きく後押しされました。今後も、お金のことで進学出来ない子供たちが減らせるよう、この奨学金を続けていってもらえると嬉しいです。
- これからも未来の可能性のあるよい大人のために支援がつづいてほしいです。頑張ったら世界がかわるくらい影響がある支援がこれからもどうか続きますように。
- 支援のおかげで勉強を頑張れました。文房具などの支援も助かりました。ぜひこの活動を続けてほしいです。
- ゴールドマン・サックスからの奨学金で受験に必要な参考書や問題集を購入することができました。入学金も支払うことが出来ました。とても感謝しています。僕も大学を卒業し、社会人になったら、ゴールドマンの様に困っている学生を支援できる様な大人になりたいです。本当にありがとうございました！
- このお金が実際に受験と入学準備に大変役立ち、支援をしてくれる人がいるということが心の支えになりました。今はこれだけの応援を受けて大学に進むことができたので今度は次の世代や社会に還元できるようにしなければならぬという思いです。これは決して重圧ではなく、僕のモチベーションになっています。
- 受験したどちらの大学でも、入学後にはノートパソコンを購入しなければいけなかったのですが、合格後にいただける奨学金はとても心強かったです。ご支援いただいた御社のお気持ち背くことが無いよう、大学では専門知識を深め、将来は弱者側の立場で物事を考えられるような人間になれるよう学習に励みます。本当にありがとうございました。
- これまでご支援くださり本当にありがとうございました。お陰で塾に通いはじめることができました。心より感謝申し上げます。今後私がいただいてきた様々な形での支援を広く社会に還元できるよう努めます。
- 受験期では大変お世話になりました。文房具などを送ってくださったことが特に私の勉強のモチベとなって、より一層勉強に集中することが出来たと思っています。片親であったり双子であったり金銭的に厳しい状況であったのですが、ゴールドマン・サックスのおかげで自分の志望する大学に進学することが出来ました。本当にありがとうございました。将来、私も多くの人の支えとなれるようにより勉強に励んでいきます。

以上

# 認定 NPO 法人キッズドア ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金 追跡調査

2025 年 7 月 認定 NPO 法人キッズドア

2023 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生を対象に、2024 年度の状況、生活や気持ち、現在困っていること等についてアンケート調査を実施した。調査及び結果について、以下のとおり報告する。

## 1. 調査概要

- 目的：高校を卒業した困窮家庭の子どもに対し、高校卒業後の生活や気持ち、悩み等を調査することで、進路選択の影響を把握し、奨学金事業の長期的な効果検証、高校卒業後に求められる支援策の検討につなげること。
- 対象：2023 年度ゴールドマン・サックス大学受験給付型奨学金の受給生
- 調査期間：2025 年 4 月 18 日～5 月 11 日
- 回答数：112 件

## 2. 調査結果まとめ

- 回答者の属性
  - 2024 年度の状況は「大学生・短大生・3 年制大生」が最も多く、全体の 9 割超を占める。
  - 全体の約半数が親と同居、3 割が一人暮らし。
- 大学での状況
  - 「大学生・短大生・3 年制大生」の全てが、大学に進学したことを肯定的に捉えている。
  - 「大学生・短大生・3 年制大生」のうち、大学での勉強に取り組んでいるのは 98%（「十分取り組んでいる」（42%）と「まあ取り組んでいる」（56%）の合計）、大学生活が充実しているのは 94%であった（「とても充実している」（44%）と「まあ充実している」（50%）の合計）。
  - 大学生になった自身の気持ちや行動の変化として最も多く挙げられたのは、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」（63%）であり、「将来に向けて専門的な勉強や資格取得に向けた勉強を始めた」（48%）が続いた。
  - 自由記述では、大学に進学してよかったと思うこととして、以下の例のように、大学でしかない学びや人間関係の広がりやを挙げる回答が多く見られた。
    - ✓ より専門的にやりたいことについて学べることです。私は化学と生物が高校の時から好きだったので、実験とレポートを毎週のようにやれてすごく楽しいです。
    - ✓ 実験や実習、栄養学に関する専門的な学習に加えて、教養科目といった専門外の学びにも触れられ以前よりも見識を深めることができたこと。
    - ✓ 人の輪が広がり、色々な境遇や地域で生きてきた人との交流が増え、新しい視点や立場、活動を知れたから。
    - ✓ 大学の友達と将来について話している時に、進学して良かったと思います。似た将来の夢に向かって努力できる仲間がいるのは心強いです。

- 現在の自身の気持ち
  - 周囲との関わりや孤独感に関する質問からは、多くの回答者が周囲と良好な関係を築いていることが分かった。「周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか」との質問に対しては、肯定的な回答が全体の **79%**を占めた。さらに、「困っているとき周囲の大人や友人たちが助けてくれると思うか」に対しても **87%**が肯定的な回答をしている。
  - 「自分には夢や目標を叶える力があると思うか」との質問に対しては、約 **8**割が肯定的な回答をしているものの、その割合は、受給決定時、受験終了後、本調査と低下が続く。「大人になるのが楽しみか」でも同様に低下しており、自身の力や大人になることについて不安を感じる回答者が増えていることが分かる。
- 困っていることや苦勞していること
  - 経済的な不安が最も多く、物価高騰で食事に影響がある、学費や留学費用等の工面が難しいといった声があった。生計維持に必須のアルバイトでは、学業との両立の問題で、学業が忙しくアルバイト収入に限られる、アルバイトに時間が取られ勉強の時間が削られるという両方のケースが伝えられた。この他に、教科書代が高いことなども困っていることとして挙げられた。

### 3. 調査結果

#### 3.1 回答者の属性

2024年度の状況として最も多いのは、「大学生・短大生・3年制大生」(93%)で、全体の9割超を占めた。現在の家庭の状況は、親との同居が約半数(「ひとり親と同居」(41%)と「ふたり親と同居」(13%)の合計)、「一人暮らし」(30%)が3割となっている。

また、現在の暮らしの経済状況については、「苦しい」(46%)が最も多く、「大変苦しい」(12%)と合わせると、経済的な苦しさを感じている回答者が約6割を占めた。

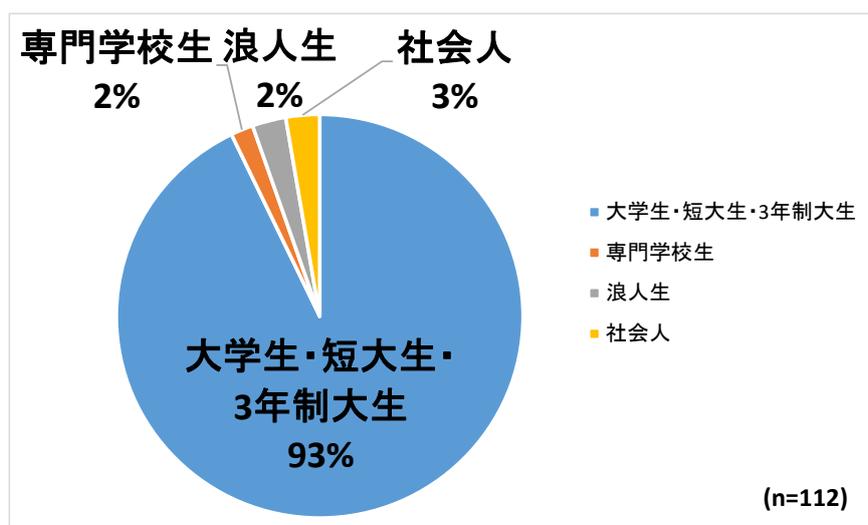


図 1 2024年度の状況

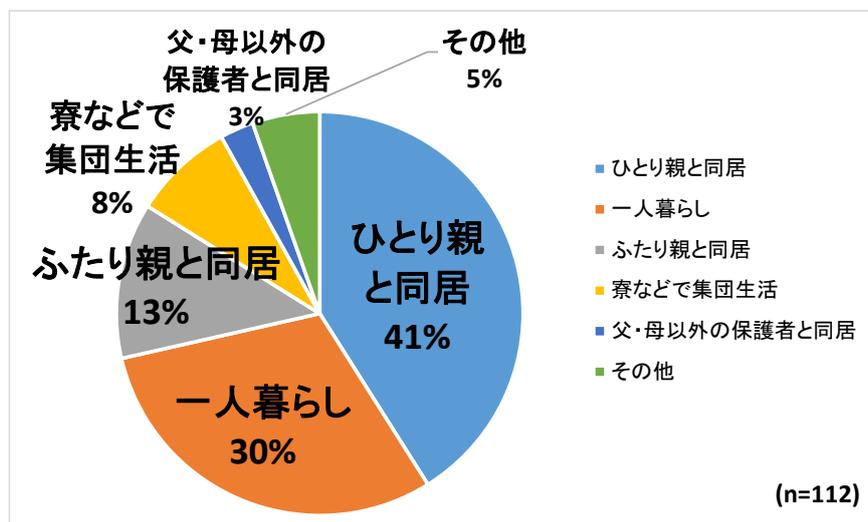


図 2 現在の家庭の状況 (同居者)

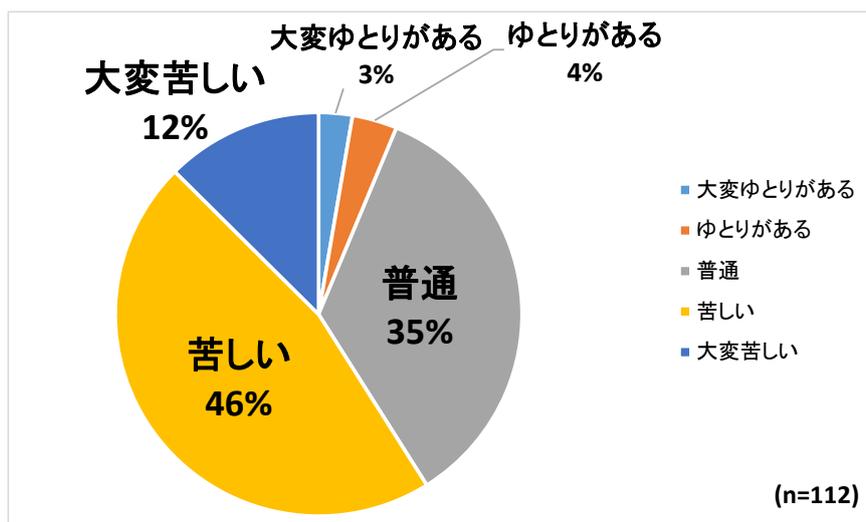


図 3 現在の暮らしの経済状況

### 3.2 大学での状況

2024年度の状況で「大学生・短大生・3年制大生」を選択した回答者に対して、大学での状況を尋ねた結果は以下のとおり。

まず初めに、ほとんどの回答者が大学での勉強に取り組んでいることが分かった（「十分取り組んでいる」（42%）と「まあ取り組んでいる」（56%）の合計）。同様に、大学生活についても、全体の94%が充実を感じているとの結果が得られた（「とても充実している」（44%）と「まあ充実している」（50%）の合計）。さらに、大学に進学してよかったと思うかとの質問に対しては、「とてもそう思う」が77%と最も多く、「まあそう思う」（23%）も合わせると、全ての回答者が進学を肯定的に捉えていることが明らかとなった。

大学生になった自身の気持ちや行動の変化としては、「以前より自分の将来に希望が持て、頑張ろうと思うようになった」（63%）が約6割と最も多く、「将来に向けて専門的な勉強や資格取得に向けた勉強を始めた」（48%）が続く。「計画を立て、計画通り実行する力が伸びた」（35%）「卒業後に就きたい職業など目標ができた」（31%）も3割超が選択した。

大学に進学してよかったと思うことを自由記述で尋ねたところ、専門的な知識、実験や実習といった大学でしかできない学びを挙げる回答者が多かった。中には、留学プログラムに向けて期待でいっぱいの気持ちであることを一番よかったこととして伝える回答もあった。また、人間関係の広がりやを挙げる回答も多く、「心から信頼出来る友人が増えた」、「いた将来の夢に向かって努力できる仲間がいるのは心強い」、「色々な境遇や地域で生きてきた人との交流が増え、新しい視点や立場、活動が知れた」など、進学後の出会いが、より生活を充実したものに行っていることが伺える。この他に、アルバイトや一人暮らしを通して、世界の広がりや自身の成長を感じているとの回答もあった。

大学生になってからの自身の変化としては、積極的になった、前向きになった、将来に向けて自分で行動できるようになった、社交的になったといった回答が寄せられた。「諦める前に、どのようにしたら出来る！に変えられるかを考えるようになりました」、「自分なんてと思うマイナスな考え方をしないようになった」、「将来の目標やそれに向けて何をしていきたいかを考えられるようになった」など、ポジティブな変化があったことを伝える声が多くあった。

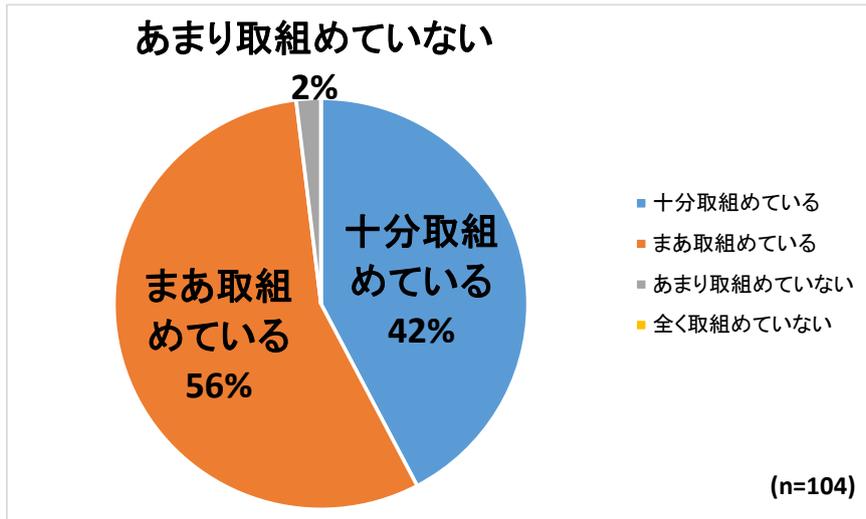


図 4 大学での勉強にどの程度取り組んでいるか<sup>1</sup>

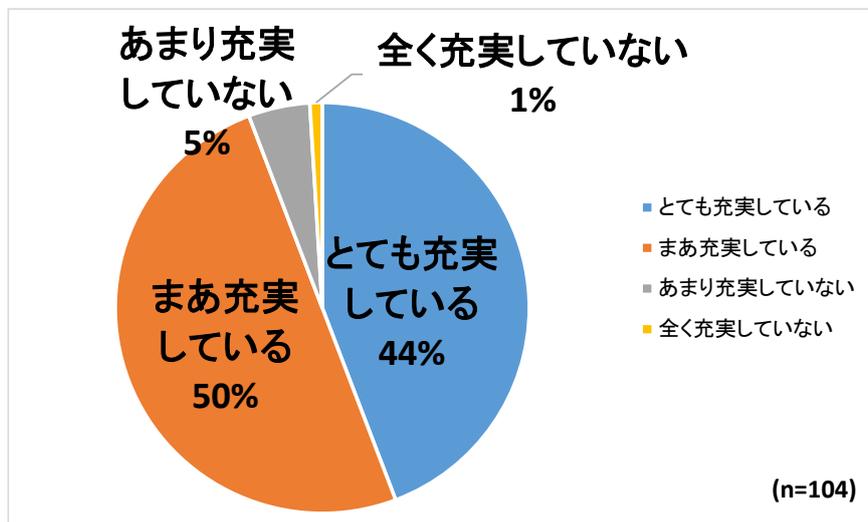


図 5 大学生活の充実度<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 2024 年度の状況で「大学生・短大生・3 年制大生」を選択した回答者が対象。

<sup>2</sup> 2024 年度の状況で「大学生・短大生・3 年制大生」を選択した回答者が対象。

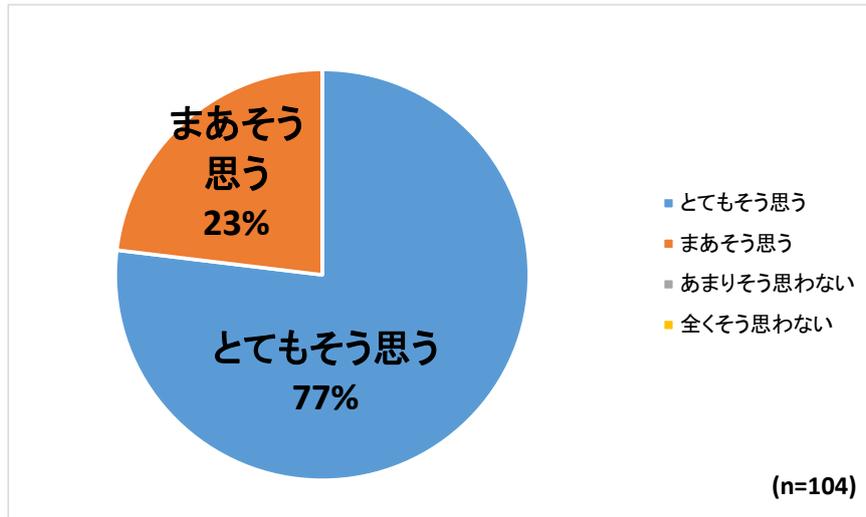


図 6 大学に進学してよかったと思うか<sup>3</sup>

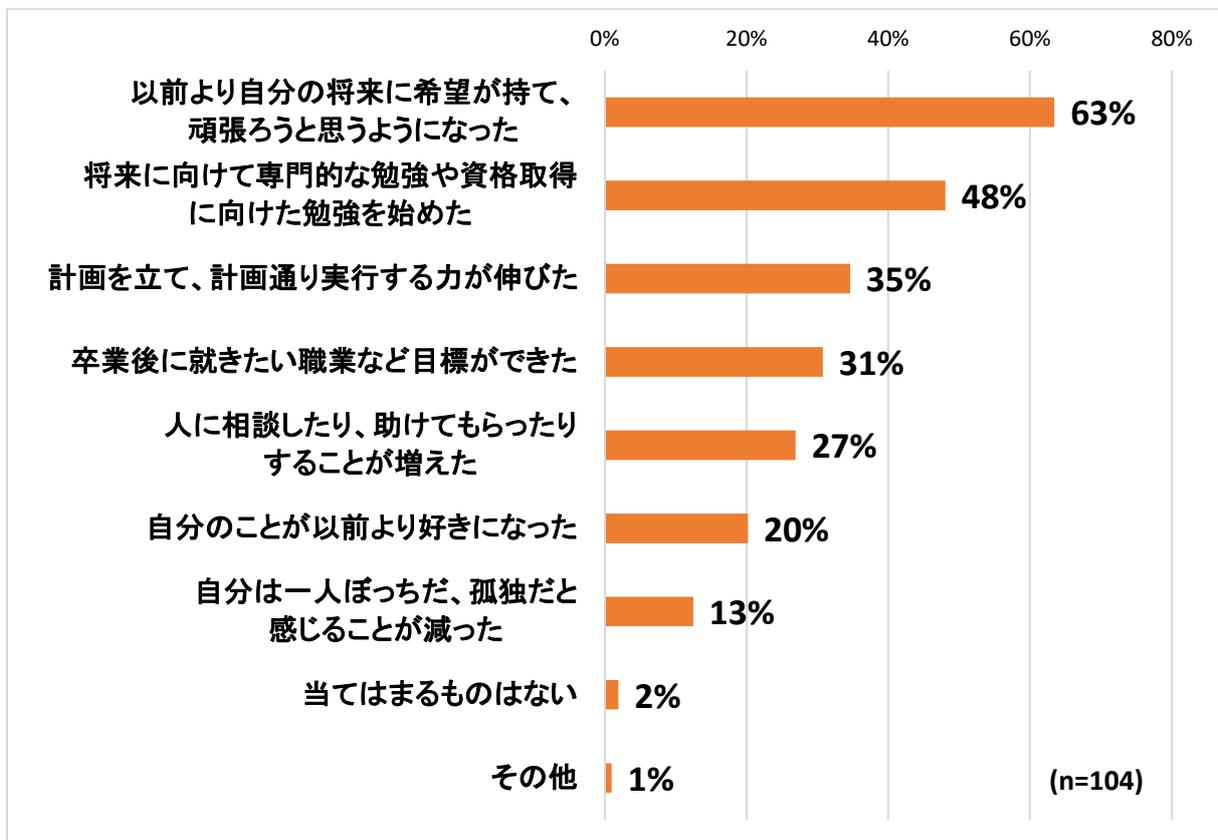


図 7 大学生になった自身の気持ちや行動の変化（複数回答）<sup>4</sup>

<sup>3</sup> 2024 年度の状況で「大学生・短大生・3 年制大生」を選択した回答者が対象。

<sup>4</sup> 2024 年度の状況で「大学生・短大生・3 年制大生」を選択した回答者が対象。

表 1 大学に進学してよかったと思うこと  
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **大学でしかできない学び**

- ・ より専門的な知識を得ることができたり、現役で活躍されている講師の方のお話を聞けたりと、将来のキャリアに活かせることを沢山学べているため。
- ・ より専門的にやりたいことについて学べることです。私は化学と生物が高校の時から好きだったので、実験とレポートを毎週のようにやれてすごく楽しいです。
- ・ 希望していた学部に進学したので、学びたい分野の勉強が系統的にできている。大学では就職に関する情報も多く得られるし、資格取得への支援サポートがあったりと目標視野を広げることができるから進学してよかった。
- ・ 教育に関する専門的なことを学べること。小学校の各教科の授業だけでなくダイバーシティ教育などの授業もあって、そう思う。
- ・ 専門的な学習をしたことでより将来の目標が明確になった。
- ・ 専門的な事を学べて楽しい。実習では、授業では学べない貴重な体験ができる。
- ・ 大学でゼミに入り法科大学院に向けての勉強をするなどより専門的な学びを得られたから。
- ・ 大好きな微生物の研究は楽しいし、学ぶ事で知識が広がり良かったです。
- ・ 実験や実習、栄養学に関する専門的な学習に加えて、教養科目といった専門外の学びにも触れられ以前よりも見識を深めることができたこと。
- ・ 私の将来の目標が、教師として働くことがあるのですが、その目標に向かい日々勉学に励むことができていることや、法学部に所属しているので、法関係の知識・社会学系など、教育に関するチャットだけでなく、幅広い分野を学ぶことができ、将来の選択の幅が広がったと感じています。
- ・ 講義や実習の時間を通してより自分の興味がある事柄について深く学ぶことができ、知らなかったことを知ることが出来た瞬間や新たに学んだ知識を活用できた瞬間などにおいて、進学していなければ出会うことの出来ない瞬間であるため改めて進学をして良かったと強く感じる。
- ・ 高校までの教育では得られなかった分野の知見が深まってきたので、大学に進学してよかったと思う。大学で学んだことが日々の生活で役立つときや大学での経験が自分の思考過程に入り込み自分の感性が豊かになっていると感じる時に思う。大学に進学していなければ絶対得られなかった財産だからそう思う。
- ・ 留学プログラムがあるので、それに向けて英語を重点的に勉強しています。8月に出国で私の人生にとって実りある期間になることに期待でいっぱいの気持ちでいます。それが今一番大学に入ってよかったと思えることです。
- ・ 自分だけでは考えつかないような沢山の価値観や思想、アイデアなどがとても刺激的であり、やりたい研究にも教授の知識を借りることができるから。

➤ **人間関係の広がり**

- ・ 心から信頼出来る友人が増えた。
- ・ 意識の高い友達ができたり、留学に行ったことがある友達などと出会えて、今まで出会ったことの無いような人に出会えたり話を聞いたりすることが多く、刺激を受けるから。
- ・ 高校までとは違い、いろんな個性あふれる人がたくさんおり、日々発見の連続だから。
- ・ 人の輪が広がり、色々な境遇や地域で生きてきた人との交流が増え、新しい視点や立場、活動を知れたから。
- ・ 大学の友達と将来について話している時に、進学して良かったと思います。似た将来の夢に

向かって努力できる仲間がいるのは心強いです。

- ・ 同じ目標に向かって学ぶ人ばかりと学ぶことができるのと、サークルに入り先輩と交流できること。
- ・ 今まで関わりのなかったようなタイプの人たちとさまざまな活動を通して交流したり、意見を交換したりできるのが楽しい。毎日が充実している。
- ・ 生まれも育ちも違った日本全国&留学生などのたくさんの人に出会うことが出来て刺激をもらっている。

➤ **その他**

- ・ 世界が広がりました。いろいろなことを学べて、挑戦できることを知りました。
- ・ 将来の選択肢が増えた。大学で専門的な授業を受講したり、アルバイトでの社会経験を通して、世界が広がった。
- ・ 自分のことを自分でやるようになった。家から出ているので親に頼るより自分でやらないといけないと意識するようになった。
- ・ 親元を離れ生活力が身につく、お金の計画的な使い方を考えるようになった。将来就きたい職業のアルバイトを始めた。社会的なコミユカも勉強している。
- ・ 一人暮らしなどの、高校の頃にできなかった体験が多く、人としてだいぶ成長したから。
- ・ 自分の考え方が成長して、今やるべきことにしっかりと集中できるようになったこと。
- ・ 自由な時間が増える為その時間の使い方を通じて、自立する力をつけられること。

表 2 大学生になってからの自身の変化  
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

➤ **積極的になった、前向きになった**

- ・ 以前より前向きになれたと思う。夢に向かって頑張ろうと強く思いました。
- ・ 前向きに考える事ができるようになりました。諦める前に、どのようにしたら出来る！に変えられるかを考えるようになりました。
- ・ 想定よりも意外と自分がいろいろ出来ることに気がつき、自分に自信がもて、以前よりも前向きに物事を考えられるようになった。
- ・ 自分なんてと思うマイナスな考え方をしないようになった。経済格差を感じつつも嫉妬しなくなった。
- ・ 勉強への姿勢が大きく変わり、やらなきゃいけないという義務感から好奇心を持って意欲的に変わりました。
- ・ なんでも諦めるようにしていましたが、自分で進んで選んでもいいことを知りました。人に怯えず挑戦をできるようになりました。
- ・ 積極的に新しいことに挑戦したいと思い始めた。

➤ **将来に向けて自分で行動できるようになった**

- ・ 主体的に学ぶ姿勢が身についた。自己管理能力が高まった。
- ・ 自分の本当にやりたいことに目を向けるようになった。将来のことを前よりもよく考えるようになった。
- ・ 将来に向けて、新たに関連する資格の取得や自ら進んで調べるなど自分の今後について考える機会がとて増えた。
- ・ 将来の目標やそれに向けて何をしていきたいかを考えられるようになった。
- ・ 自立性を高く意識して先々のことを考え行動できるようになったところです。

➤ **社交的になった**

- ・ コミュニケーション能力が上がった。人と話したり遊んだりすることに積極的になってきた。
- ・ さらに社交的になった気がします。交友関係が広がり、たくさんの友達ができ、大学生活がとて充実しています。
- ・ 色々な人と話すことが出来るようになったし、やる気も出た。
- ・ 人との関わり方。自らコミュニケーションをとろうと思っている点。
- ・ 人と会話、他者と協力できるような社会性がついてきました。
- ・ 多くの人と関わる中でコミュニケーション能力を磨くことが出来た。

➤ **その他**

- ・ なんでも頑張ろうと、諦めないよう努力したいと思うようになった。
- ・ いろいろな考えを持つ人と関わるようになったことで、自分自身の成長に繋がった。そのため、大学生という期間のありがたみに気づき、将来のために今しか出来ないやるべきことに取り組むようになった。自炊をしたり朝起きたりできるようになった。
- ・ 自分で学費を払うようになり、より一層お金の大切さや価値に気づくことができた。
- ・ 接客業のアルバイトを始めたことで、ビジネスマナーを身につけることが出来ました。働き始めは何度もメモをとって、その内容を覚えるのが必死な状態でしたが、1年たった今では仕事のフローやお客様への対応がスムーズに行えるようになりました。
- ・ 勉強とはあまり関係ないのですが、身だしなみに気をつけるようになりました。
- ・ 大学では、自ら主体的に学ぶことが必要とされます。そして、大学生活では講義・ゼミなど学習的側面だけでなくサークル活動やアルバイトなど様々な物事との両立が必要となります。このように、大学内外で社会的に様々な役割を持つことが増えたことで、多くの人との繋がりをを感じる機会が多くなったことで、新たな自分を見つけることができたと考えています。

### 3.3 現在の自身の気持ち

周囲との関わりや孤独感に関する質問からは、多くの回答者が周囲と良好な関係を築いていることが分かった。「周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか」との質問に対しては、肯定的な回答が全体の79%を占めた（「とてもそう思う」（18%）と「まあそう思う」（61%）の合計）。さらに、「困っているとき周囲の大人や友人たちが助けてくれると思うか」に対しても、87%が肯定的な回答をしている（「とてもそう思う」（29%）と「まあそう思う」（58%）の合計）。また、全体の約6割は「自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか」に対して、そう思わないと回答した（「あまりそう思わない」（47%）または「全くそう思わない」（12%）の合計）。

自身の力を肯定的に捉えている回答者が多いものの、その割合は減少傾向にあり、背景には将来や社会に対する不安があることが推察される。「自分には夢や目標を叶える力があると思うか」との質問に対しては、約8割が肯定的な回答をしているものの、その割合は、受給決定時、受験終了後、本調査と低下を続けている。「大人になるのが楽しみか」でも同様に低下しており、自身の力や大人になることについて不安を感じる回答者の割合が増えていることが分かる。また、「今の社会は公正だと思うか」との質問については、「あまりそう思わない」（53%）が約半数、「全くそう思わない」（15%）が約2割と、厳しい認識を持っていることも分かった。この他に、「勉強を頑張りたいと思うか」との質問に対しては、全体の97%が肯定的な回答をした（「とてもそう思う」（62%）と「まあそう思う」（35%）の合計）。

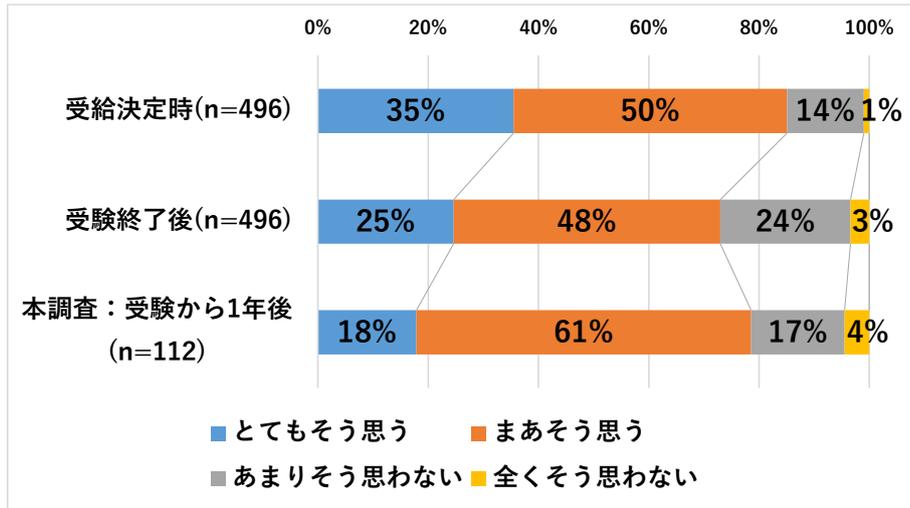


図 8 周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えているか

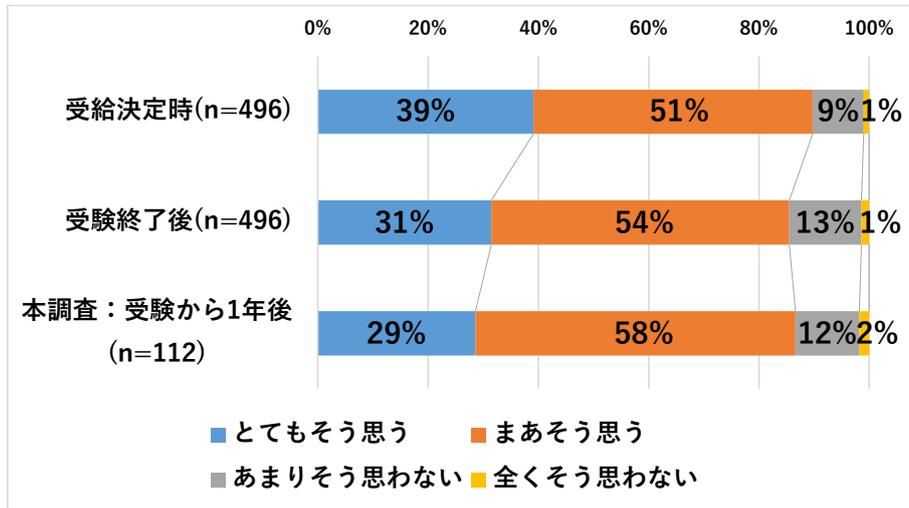


図 9 困っているとき周囲の大人や友人たちが助けてくれると思うか

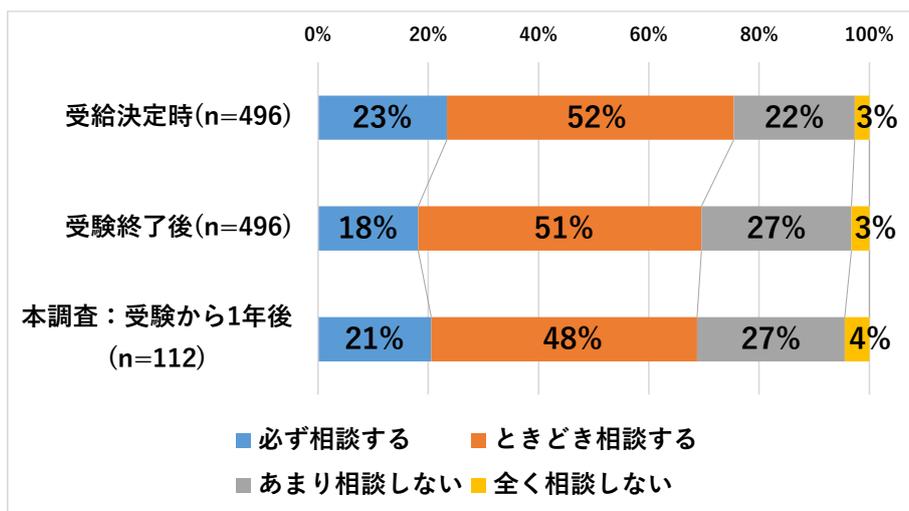


図 10 困ったときに人に相談することはどれくらいあるか

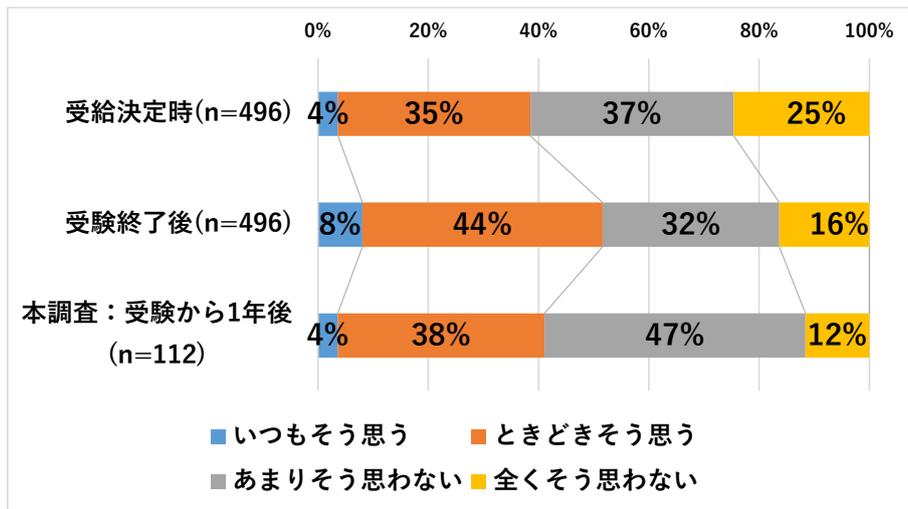


図 11 自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもあるか

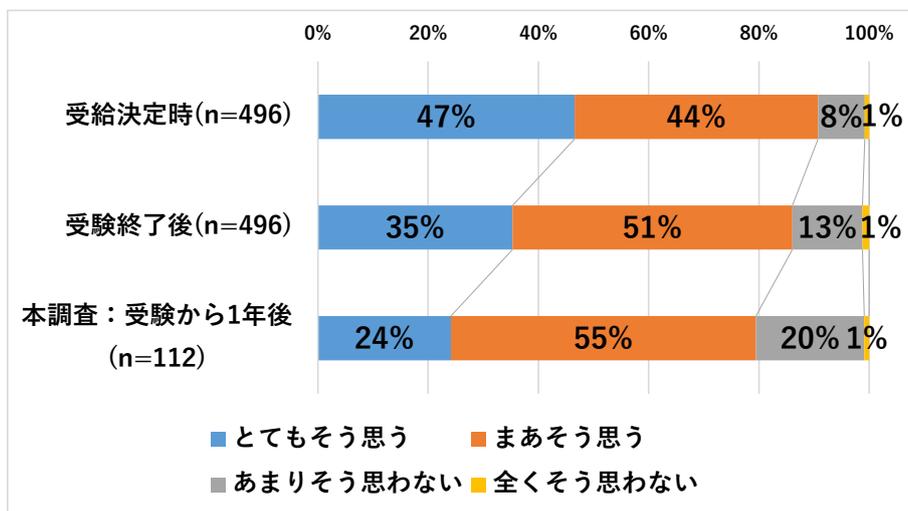


図 12 自分には夢や目標を叶える力があると思うか

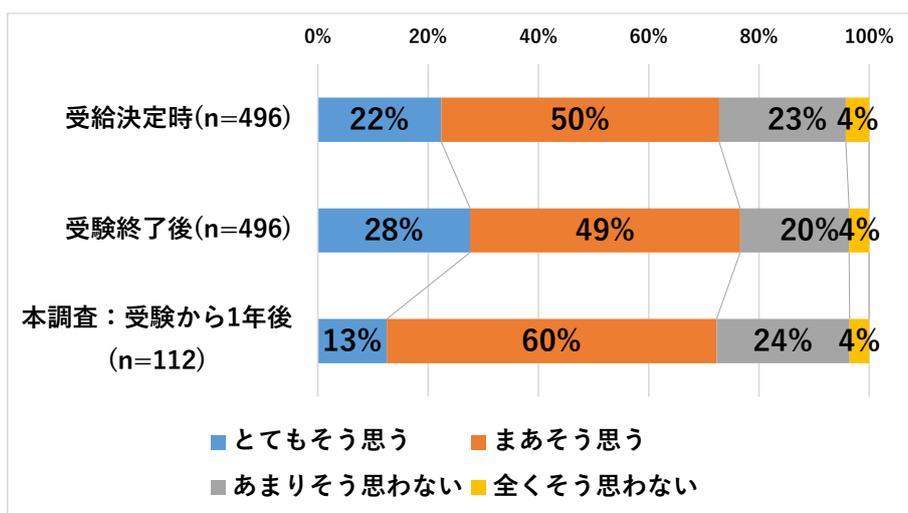


図 13 自分の将来に不安を感じているか

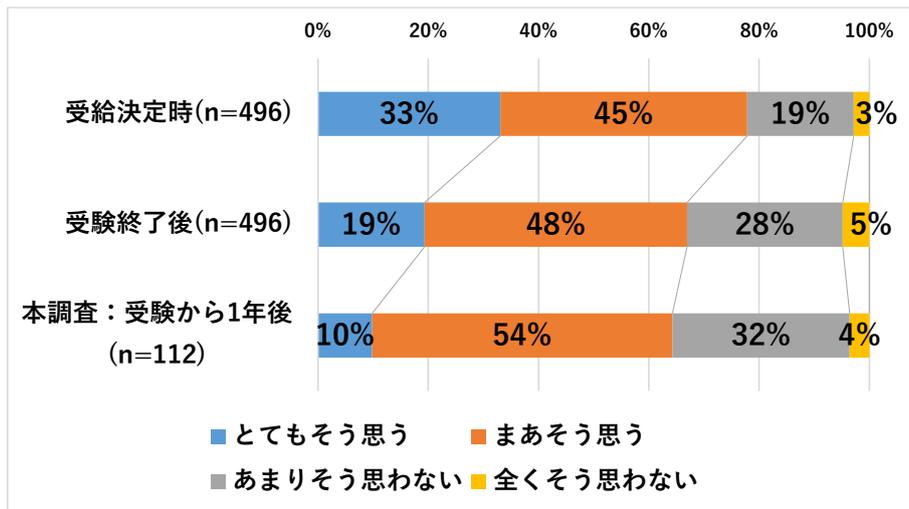


図 14 大人になるのが楽しみか

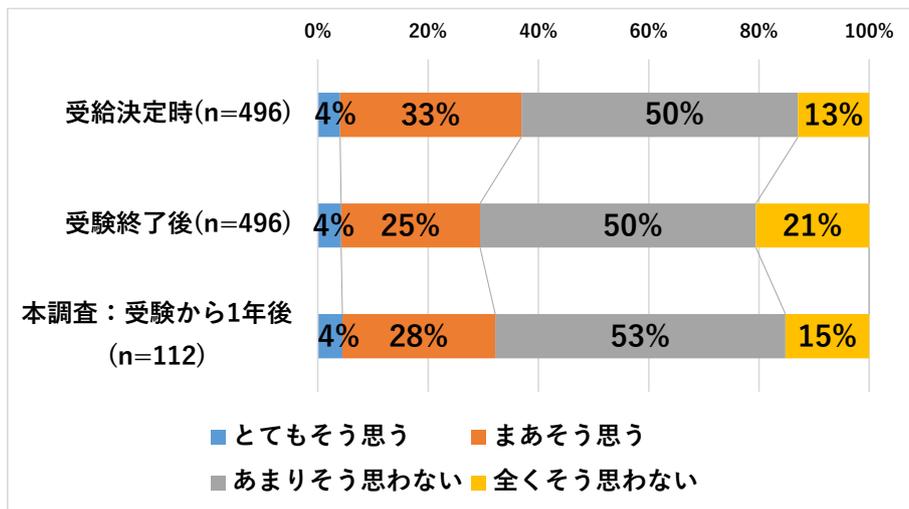


図 15 今の社会は公正だと思うか

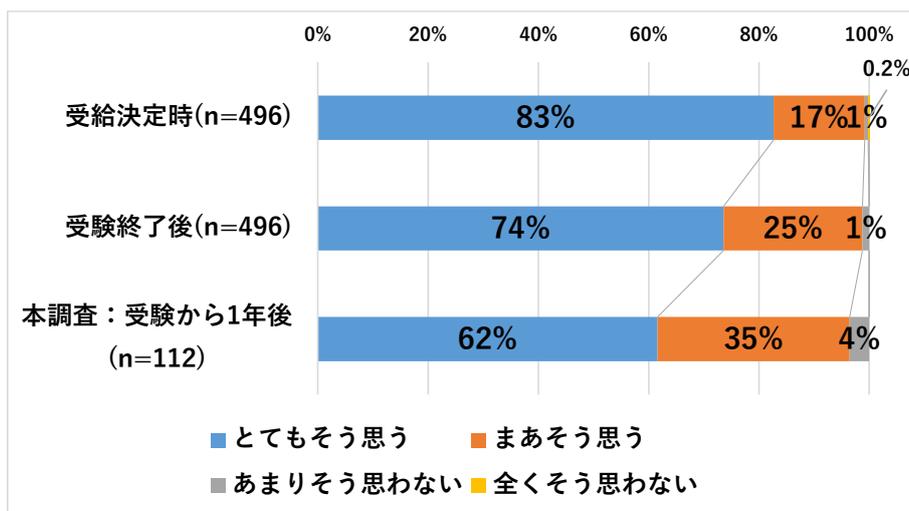


図 16 勉強を頑張りたいと思うか

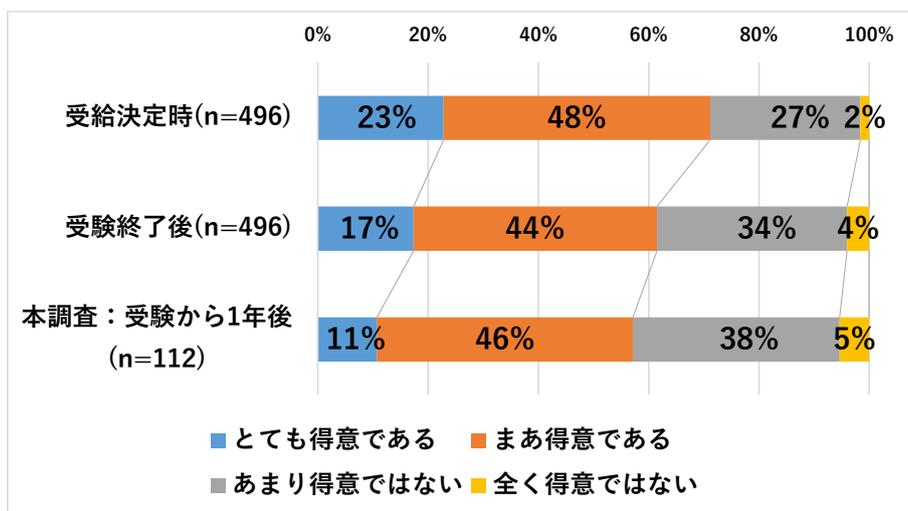


図 17 目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意か

表 3 各質問への前向きな回答の割合（）内の数字は前回調査比）

質問項目	受給決定時 (2023. 6~8)	受験終了後 (2024. 3~4)	本調査 (2025. 4~5)
周りの人に自分の気持ちや情報を素直に伝えている （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	85%	73% (-12)	79% (+6)
困っているとき周囲の大人や友人たちが助けてくれると思う （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	90%	85% (-5)	87% (+2)
困ったときに人に相談する （「必ず相談する」・「ときどき相談する」）	75%	69% (-6)	69% (±0)
自分は一人ぼっちだ、孤独だと感じることもある （「全くそう思わない」・「あまりそう思わない」）	62%	48% (-14)	59% (+11)
自分には夢や目標を叶える力があると思う （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	91%	86% (-5)	79% (-7)
自分の将来に不安を感じている （「全くそう思わない」・「あまりそう思わない」）	27%	24% (-3)	28% (+4)
大人になるのが楽しみ （「とてもそう思う」・「まあそう思う」の合計）	78%	67% (-11)	64% (-3)
今の社会は公正だと思う （「とてもそう思う」・「まあそう思う」の合計）	37%	29% (-8)	32% (+3)
勉強を頑張りたいと思う （「とてもそう思う」・「まあそう思う」）	100%	99% (-1)	97% (-2)
目標に向けて計画を立て、計画通り実行することは得意 （「とても得意である」・「まあ得意である」）	71%	61% (-10)	57% (-4)

### 3.4 困っていることや苦勞していること

困っていることや苦勞していることでは、経済的な不安が最も多く挙げられた。物価高騰で食事に影響がある、学費や留学費用等の工面が難しいといった声があった。経済状況を改善するためのアルバイトで困っているとの回答も寄せられた。学業とアルバイトの両立の問題では、学業が忙しくアルバイト取

入に限られる、アルバイトに時間が取られ勉強の時間が削られるという両方のケースが伝えられた。この他に、教科書代が高いこと、将来についてはっきり決まっていないことなどが困りごととして挙げられた。

表 4 困っていることや苦勞していること  
(自由記述、一部抜粋・引用者にて編集)

- **経済的な不安**
  - ・ お昼ご飯を食べるには値段が高過ぎて、思うように食べられません。何をすることも物価が高くて困っています。
  - ・ 物が高くて昼食にパンしか食べられない。
  - ・ 物価高で生活が苦しくて、学費を払うのが苦しい。
  - ・ 留学に行きたいがお金が足りない。
  - ・ 研究の一環で海外へフィールドワークに行きたいが資金集めに難航している。
  - ・ 家庭の事情もあり、直接母には言えませんが金銭的な面で常に不安はあります。ずっと学生でいたいという気持ちと早く就職したい気持ちが混合していて、たまに胸が苦しくなります。
  - ・ 頑張っても常に経済的に苦しいのは相変わらずです。他大学生よりは、やはり衣食住が貧しいと思います。しかし、将来に希望があるので頑張っています。家族を含め、僕が筆頭になって将来養えるぐらいになると決意しています。
- **アルバイトに関する悩み**
  - ・ お金が足りなくて、アルバイトをもっとやりたいが、アルバイト先の店長の気分次第で、シフトを増やしたり、減らされたりする。
  - ・ アルバイトを詰めることで収入を得ているが、単位のかかったテストが2週間に1回ある忙しい学部に入ったために想定した収入が得られる見込みがないこと。
  - ・ 大学生活では、交通費や教科書、飲食費等、以前より出費が増え、アルバイトから出しています。理系なので課題が多く、勉強時間を確保する為、アルバイトの時間は限られています。出費を抑える為、節約に励んでいます。毎月大変厳しいです。
  - ・ 物価高騰で親が苦勞していること。早く一人前になって家庭を助けたい。勉強が忙しく、思うようにアルバイトができない。
  - ・ 学業とバイトの両立が難しく、健康的な食事が取れない。遊ぶ時間を惜しんでバイトをしている。親に負担をかけないように仕送りからはみ出る生活費は自分で賄っている。
  - ・ 経済的に余裕がなく、アルバイトに時間が取られ、勉強をする時間が削られている。
  - ・ アルバイトと資格試験勉強との両立に日々葛藤している。
- **その他**
  - ・ 大学が理系なので難しく GPA が低いこと。
  - ・ 大学の教科書代が高いので何か支援があれば、ありがたいです。サークルに入り先輩から譲ってもらった友達もいますが、私はバイトに行かなくては行けなく、なかなか大学の友達もできません。メルカリで同じ教科書を探して買ったりして、なんとか乗り切りました。
  - ・ 時間管理をしっかりし、勉強をする時間を確保したい。
  - ・ 将来つきたい職業などがまだはっきりとは決まっていないこと。
  - ・ 将来何になりたいのかまだ分からず、本当に必要なことは何なのかまだ探しているところ。

以上

